



慶應義塾大学病院
病院年報

2024 年度

Keio University Hospital

Annual Report 2024

慶應義塾大学病院の理念

患者さんに優しく患者さんに信頼される

患者さん中心の医療を行います

先進的医療を開発し質の高い安全な医療を提供します

豊かな人間性と深い知性を有する医療人を育成します

人権を尊重した医学と医療を通して人類の福祉に貢献します

理 念 実 施 方 針

1. 患者さんの立場で

私たちは、患者さんの立場になって考え、ともに疾病の克服に努めます。

2. 質の高い安全な医療

私たちは、質の高い安全な医療を持続できるよう努めます。

3. 不断の自己点検

私たちは、不断の自己点検と評価によって、病院機能の改善に努めます。

4. 独立自尊の医療人

私たちは、独立した一個人として責任をもって社会的使命を果たします。

5. 総合的なチーム医療

私たちは、各職種が一体となった総合的なチーム医療を展開します。

6. 新しい医療

私たちは、基礎と臨床が一体となって、積極的に新しい医療に挑戦します。

7. 倫理と人権

私たちは、高い倫理性を持って、人権を尊重した医療を推進します。

目 次

I. 概要

病院概要	2
沿革	9
組織の構成	14
教職員数	15
財務	17

II. 病院としての取り組み

2024 年度の主な取り組みと出来事	19
--------------------------	----

III. 統計・実績

外来患者数（科別）	24
救急外来患者数（科別）	26
入院患者延数（科別）	27
入院患者延数（病棟別）・病床稼働率	28
新入院・退院・死亡・在院患者延数・平均在院日数	29
分娩件数・出生児数・死産児数	29
手術件数（科別）	30
手術全身麻酔件数（科別）	32
薬剤・輸血関連実績	32
画像・検体・生理機能検査実績	32
公開講座・講演会・セミナー	33

IV. 診療科・部門の活動

<診療科部門>

呼吸器内科	54
循環器内科	55
消化器内科	56
腎臓・内分泌・代謝内科	58
神経内科	59
血液内科	60
リウマチ・膠原病内科	61
小児科	62

精神・神経科.....	63
一般・消化器外科.....	64
呼吸器外科	66
心臓血管外科.....	67
小児外科	68
脳神経外科	69
整形外科	70
形成外科	71
産科	72
婦人科.....	73
眼科	74
皮膚科.....	75
泌尿器科	76
耳鼻咽喉科・頭頸部外科.....	77
歯科・口腔外科	78
放射線診断科.....	79
放射線治療科.....	79
リハビリテーション科	80
麻酔科.....	81
救急科.....	81
総合診療科	82
臨床検査科	83
病理診断科	85
<診療施設部門>	
内視鏡センター	85
腫瘍センター.....	86
がんゲノム医療センター	87
血液浄化・透析センター	88
輸血・細胞療法センター	88
スポーツ医学総合センター	89
漢方医学センター	90
臨床遺伝学センター.....	92
免疫統括医療センター	93
緩和ケアセンター	93
手術・血管造影センター	94
集中治療センター	95

救急センター	95
臨床感染症センター（感染症外来）	96
予防医療センター	97
<診療支援部門>	
看護部	97
薬剤部	100
滅菌管理部	101
食養管理室	102
医用工学室	104
放射線技術室	105
臨床検査技術室	106
<臨床研究・教育部門>	
臨床研究推進センター	107
臨床研究監理センター	109
卒後臨床研修センター	110
<管理部門>	
医療安全管理部	111
感染制御部	112
病院情報システム部	114
患者総合相談部	115
医療連携推進部	116
放射線安全管理室	118
医療保険指導部	119
国際診療部	120
<病院事務局>	
経営企画室	120
医事統括室	122
秘書室	123
総務課	123
人事課	124
管財課	125
経理課	126
キャリア開発室	127
学術研究支援課	128
調達会計課	128

I 概要

■ 病院概要

(2024 年 11 月 1 日時点)

名称	慶應義塾大学病院	
所在地	〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地 TEL (03)3353-1211 (代表)	
病院長	松本 守雄	
副病院長	志水 秀行／陣崎 雅弘／佐々木 淳一／福永 興壱／金子 祐子／内田 裕之	
病院長補佐	藤澤 大介／鳴海 覚志／朝倉 啓介	
診療科	○内科（呼吸器、循環器、消化器、腎臓・内分泌・代謝、神経、血液、リウマチ・膠原病）○外科（一般・消化器、呼吸器、心臓血管）○脳神経外科 ○小児外科 ○整形外科 ○リハビリテーション科 ○形成外科 ○小児科 ○産科 ○婦人科 ○眼科 ○皮膚科 ○泌尿器科 ○耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ○精神・神経科 ○放射線治療科 ○放射線診断科 ○麻酔科 ○救急科 ○歯科・口腔外科 ○総合診療科 ○臨床検査科 ○病理診断科	
許可病床数	950 床	
承認指定（法令等による医療機関の指定等）	○開設許可（承認）○特定機能病院 ○臨床研究中核病院 ○日本医療機能評価機構認定病院（一般病院 3） ○東京都災害拠点病院 ○日本 DMAT 指定医療機関 ○地域周産期母子医療センター ○地域がん診療連携拠点病院 ○エイズ中核拠点病院 ○臓器移植登録施設（肝臓、小腸、腎臓） ○臨床修練指定病院（外国医師・外国歯科医師） ○東京都アレルギー疾患医療拠点病院 ○がんゲノム医療中核拠点病院 ○地域リハビリテーション支援センター ○結核患者収容モデル事業実施病院 ○臨床研修病院（基幹型・協力型） ○歯科医師臨床研修施設 ○東京都難病診療連携拠点病院	
施設基準	基本診療科	
	情報通信機器を用いた診療 医療 DX 推進体制整備加算 地域歯科診療支援病院歯科初診料 歯科外来診療環境体制加算 歯科外来診療感染対策加算 4 特定機能病院入院基本料 救急医療管理加算 超急性期脳卒中加算 診療録管理体制加算 3 医師事務作業補助体制加算 2 急性期看護補助体制加算 2	患者サポート体制充実加算 重症患者初期支援充実加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 ハイリスク妊娠管理加算 ハイリスク分娩等管理加算 呼吸ケアチーム加算 術後疼痛管理チーム加算 病棟薬剤業務実施加算 1、2 データ提出加算 2（200 床以上） 入退院支援加算 2 医療的ケア児（者）入院前支援加算

看護職員夜間配置加算 療養環境加算 無菌治療室管理加算 1、2 放射線治療病室管理加算 緩和ケア診療加算 精神科身体合併症管理加算 精神科リエゾンチーム加算 摂食障害入院医療管理加算 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算 1 感染対策向上加算 1	認知症ケア加算 1、2 せん妄ハイリスク患者ケア加算 精神疾患診療体制加算 精神科急性期医師配置加算 2 のイ 排尿自立支援加算 地域医療体制確保加算 地域歯科診療支援病院入院加算 特定集中治療室管理料 2、3 ハイケアユニット入院医療管理料 1 総合周産期特定集中治療室管理料 小児入院医療管理料 1
特掲診療科	
ウイルス疾患指導料 遠隔モニタリング加算（ペースメーカー指導管理料） 糖尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ 外来緩和ケア管理料 移植後患者指導管理料（臓器移植後）（造血幹細胞移植後） 糖尿病透析予防指導管理料 小児運動器疾患指導管理料 乳腺炎重症化予防ケア・指導料 婦人科特定疾患治療管理料 腎代替療法指導管理料 一般不妊治療管理料 生殖補助医療管理料 1 二次性骨折予防継続管理料 1、3 下肢創傷処置管理料 慢性腎臓病透析予防指導管理料 院内トリアージ実施料 救急搬送看護体制加算 1 外来放射線照射診療料 外来腫瘍化学療法診療料 1 連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料） がん薬物療法体制充実加算（外来腫瘍化学療法診療料） ニコチン依存症管理料	補聴器適合検査 全視野精密網膜電図 ロービジョン検査判断料 コンタクトレンズ検査料 1 小児食物アレルギー負荷検査 内服・点滴誘発試験 経頸静脈の肝生検 経気管支凍結生検法 センチネルリンパ節生検（片側） 有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査 精密触覚機能検査 画像診断管理加算 1、4 遠隔画像診断 ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイド PET イメージング剤を用いた場合に限る。） CT 撮影及び MRI 撮影 冠動脈 CT 撮影加算 血流予備量比コンピューター断層撮影

相談支援加算（療養・就労両立支援指導料） がん治療連携計画策定料 外来排尿自立指導料 ハイリスク妊産婦連携指導料 1 肝炎インターフェロン治療計画料 プログラム医療機器等指導管理料 薬剤管理指導料 医療機器安全管理料 1、2、歯科 精神科退院時共同指導料 1、2 歯科治療総合医療管理料 禁煙治療補助システム指導管理加算 遠隔モニタリング加算（在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料） 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料 在宅経肛門的自己洗腸指導管理料 持続血糖測定器加算 遺伝学的検査 染色体検査の注 2 に規定する施設基準 骨髄微小残存病変量測定 BRCA1/2 遺伝子検査 がんゲノムプロファイリング検査 先天性代謝異常症検査 抗アデノ随伴ウイルス 9 型 (AAV9) 抗体 抗 HLA 抗体（スクリーニング検査）及び抗 HLA 抗体（抗体特異性同定検査） HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定） ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（SARS-Cov-2 核酸検出を含まないもの） ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液） 検体検査管理加算（Ⅰ）、（Ⅳ） 国際標準検査管理加算 遺伝カウンセリング加算 遺伝性腫瘍カウンセリング加算 心臓カテーテル法による諸検査の血液内視鏡検査加算 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	心臓 MRI 撮影加算 乳房 MRI 撮影加算 頭部 MRI 撮影加算 全身 MRI 撮影加算 肝エラストグラフィ加算 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算 1 無菌製剤処理料 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ） 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） 運動器リハビリテーション料（Ⅰ） 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） がん患者リハビリテーション料 リンパ浮腫複合的治療料 歯科口腔リハビリテーション料 2 経頭蓋磁気刺激療法 療養生活環境整備指導加算（通院・在宅精神療法） 療養生活継続支援加算（通院・在宅精神療法） 救急患者精神科継続支援料 認知療法・認知行動療法 1、2 精神科ショート・ケア（小規模なもの） 抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。） 医療保護入院等診療料 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1 静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの） 人工腎臓 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算 導入期加算 3 及び腎代替療法実績加算 下肢末梢動脈疾患指導管理加算 移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法 ストーマ合併症加算 歩行運動処置（ロボットスーツによるもの） 手術用顕微鏡加算 歯科技工士連携加算 1 及び光学印象歯科技工士連
--	---

胎児心エコー法 ヘッドアップティルト試験 皮下連続式グルコース測定 長期継続頭蓋内脳波検査 単線維筋電図 光トポグラフィー 脳波検査判断料 1 神経学的検査 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。） 後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの） 椎間板内酵素注入療法 腫瘍脊椎骨全摘術 緊急穿頭血腫除去術 脳腫瘍覚醒下マッピング加算 原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算 内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術 頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。） 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術 癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの） 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 角結膜悪性腫瘍切除手術 治療的角膜切除術（エキシマレーザーによるもの（角膜ジストロフィー又は带状角膜変性に係るものに限る。）） 角膜移植術（内皮移植加算） 羊膜移植術 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）） 緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術） 緑内障手術（濾過胞再建術（needle 法）） 網膜再建術 経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	携加算 歯科技工士連携加算 2 光学印象 CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー 有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算 皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。） 皮膚移植術（死体） 組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。） 処理骨再建加算 緊急整復固定加算及び緊急挿入加算 骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法 腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状によるもの） バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの） 胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。） 体外衝撃波胆石破碎術 腹腔鏡下肝切除術 腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 移植用部分肝採取術（生体）（腹腔鏡によるもの） 生体部分肝移植術 同種死体肝移植術 体外衝撃波膵石破碎術 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 腹腔鏡下膵中央切除術
---	---

人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの） 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（経口蓋悪性腫瘍手術を含む。） 内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの） 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療以外の診療に係るものに限る。）、 下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療以外の診療に係るものに限る。）、 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、 乳癌悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。） 乳癌悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの）） ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後） 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 気管支バルブ留置術 胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器	生体部分小腸移植術 同種死体小腸移植術 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 内視鏡的小腸ポリープ切除術 腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 腹腔鏡下副腎摘出手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出手術（褐色細胞腫）（内視鏡手術用支援機器を用いるもの） 副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術 腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの） 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの） 腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法 腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 同種死体腎移植術 生体腎移植術 膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道） 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 尿道狭窄グラフト再建術 人工尿道括約筋植込・置換術 膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの） 精巣温存手術 精巣内精子採取術 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器
--	---

器を用いる場合) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は 1 肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除) 肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 内視鏡下筋層切開術 食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腎 (腎盂) 腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの) 及び膣腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの) 経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの) 胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術 胸腔鏡下弁形成術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 経カテーテル弁置換術 (経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術) 経カテーテル弁置換術 (経皮的肺動脈弁置換術) 経皮的僧帽弁クリップ術 胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術 不整脈手術 左心耳閉鎖術 (胸腔鏡下によるもの) 不整脈手術 (左心耳閉鎖術 (経カテーテル的手術によるもの) に限る。) 経皮的中心筋焼灼術 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 両心室ペースメーカー移植術及び両心室 ペースメーカー交換術 植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法) 経皮的循環補助法 (ポンプカテーテルを用いたもの)	器を用いるもの) 腹腔鏡下仙骨腔固定術 腹腔鏡下仙骨腔固定術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 腹腔鏡下腔式子宮全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに限る。) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮頸がんに限る。) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術 胎児胸腔・羊水腔シャント術 胎児輸血術 体外式膜型人工肺管理料 手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。) 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器摘出術に限る。) 輸血管理料 I 輸血適正使用加算 コーディネート体制充実加算 同種クリオプレシビテート作製術 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 歯周組織再生誘導手術 広範囲顎骨支持型装置埋入手術 歯根端切除手術の注 3 レーザー機器加算 麻酔管理料 (I)、(II) 周術期薬剤管理加算 放射線治療専任加算 外来放射線治療加算 高エネルギー放射線治療 1 回線量増加加算
---	--

	補助人工心臓 経皮の下肢動脈形成術 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）（傍大動脈） 骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法 内視鏡的逆流防止粘膜切除術 腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの） 腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）） 腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）） 腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））	強度変調放射線治療（IMRT） 画像誘導放射線治療（IGRT） 体外照射呼吸性移動対策加算 定位放射線治療 定位放射線治療呼吸性移動対策加算 画像誘導密封小線源治療加算 保険医療機関間の連携による病理診断 病理診断管理加算 2 悪性腫瘍病理組織標本加算 口腔病理診断管理加算 2 クラウン・ブリッジ維持管理料 看護職員処遇改善評価料 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ） 歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ） 入院ベースアップ評価料	
先進医療 （2024 年 8 月 1 日時点）	先進医療 A		診療科
	子宮内膜擦過術		産婦人科
	子宮内膜刺激術		産婦人科
	子宮内膜受容能検査 1		産婦人科
	子宮内細菌叢検査 1		産婦人科
	内視鏡的胃局所切除術		腫瘍センター
	血中循環腫瘍 DNA を用いた微小残存病変量の測定		一般・消化器外科
	膜構造を用いた生理学的精子選択術		産婦人科
	内視鏡的憩室隔壁切開術		腫瘍センター／ 内視鏡センター
	先進医療 B		診療科
	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検／早期胃がん※新規患者受入は終了		一般・消化器外科
	テモゾロミド用量強化療法／膠芽腫（初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。）※新規患者受入は終了		脳神経外科
	反復経頭蓋磁気刺激療法／薬物療法に反応しない双極性障害の抑うつエピソード		精神・神経科
	イマチニブ経口投与及びベムブロリズマブ静脈内投与の併用療法／進行期悪性黒色腫（KIT 遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。）		皮膚科
	抗腫瘍自己リンパ球移入療法／子宮頸癌（切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものにおいて、プラチナ製剤に抵抗性を有するものに限る。）		産婦人科

	る。)	
	ネシツムマブ静脈内投与療法／切除が不可能な E G F R 遺伝子増幅陽性固形がん（食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。） ※新規患者受入は終了	腫瘍センター
	生体肝移植術／切除が不可能な肝門部胆管がん	一般・消化器外科
	生体肝移植術／切除が不可能な転移性肝がん（大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。）	一般・消化器外科
患者申出療養	名称	診療科
	マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく分指標的治療（※通称 受け皿試験）/根治切除が不可能な進行固形がん（遺伝子プロファイリングにより、治療対象となる遺伝子異常が確認されたものに限る。）	腫瘍センター他
	経皮的胸部悪性腫瘍凍結融解壊死療法／肺悪性腫瘍、縦隔悪性腫瘍、胸膜悪性腫瘍又は胸壁悪性腫瘍	呼吸器外科

■ 沿革 ～慶應義塾大学医学部・病院のあゆみ～

1835 年	福澤諭吉、大阪中津藩蔵屋敷で誕生	 福澤諭吉
1855 年	福澤諭吉、緒方洪庵の適塾に入門	
1858 年	慶應義塾開塾 江戸築地鉄砲洲に蘭学塾を開く	
1860 年	福澤諭吉、はじめての外遊 咸臨丸で渡米	
1862 年	福澤諭吉、遣欧使節として欧州各国を巡歴	
1868 年	慶應義塾と命名	
1871 年	慶應義塾、三田に移転	
1873 年	三田山上に「慶應義塾医学所」設立（～1880 年）	
1890 年	大学部を発足し、文学・理財・法律 3 科を設置	
1892 年	北里柴三郎博士を所長とする伝染病研究所設立	

	北里柴三郎博士
1893 年	北里柴三郎博士、土筆ヶ岡養生園設立
1901 年	2 月 3 日、福澤諭吉逝去
1917 年	慶應義塾大学部医学科開設 4 月、医学科予科の授業を三田山上で開始 11 月、四谷区信濃町の陸軍用地を購入
1918 年	医学科附属看護婦養成所開設（～2000 年）
1920 年	4 月、文学・経済学・法学・医学の 4 学部からなる総合大学へ 11 月 6 日、医学部開校ならびに大学病院開院式 11 月 8 日、慶應医学会第一回総会開催 翌大正 10（1921）年『慶應医学』創刊 大学病院開院式 関内部 開院当時の病院全景 開院当時の病院玄
1922 年	医学部附属産婆養成所開設
1923 年	関東大震災（火災にあった病院の救済・診療を支援。32 万 4 千人以上の患者を診療）
1924 年	大学病院特別病棟竣工
1926 年	食養研究所設立（～1990 年）
1928 年	多磨墓地に医学研究に献体されたご遺体を葬り冥福を祈るための納骨堂建設

	第一回の解剖諸霊供養法会を芝増上寺で開催
1929 年	ロックフェラー財団寄付により、予防医学校舎竣工
1932 年	新赤倉温泉の地に三四会、赤倉山荘建設 (昭和 35 (1960) 年焼失、平成 6 (1994) 年再建) 病院別館竣工 (鉄筋コンクリート地下 1 階地上 4 階建、219 病床)
1934 年	福澤諭吉生誕 100 年ならびに日吉開校記念祝賀会開催
1936 年	日吉第二校舎竣工、日吉キャンパスで医学部教育開始
1937 年	北里記念医学図書館竣工 特殊薬化学研究所設立
1941 年	月ヶ瀬温泉治療学研究所開設 昭和 33 (1958) 年狩野川台風により流失、同年廃止
1944 年	軍医不足という社会的要請を受け大学附属医学専門部 を開設し、463 名の人材を輩出 (～1951 年)
1945 年	5 月 24 日、空襲により医学部・病院施設の約 6 割焼失 8 月 15 日、終戦
1946 年	基礎医学教室、武蔵野分校へ移転 (～1956 年春)
1948 年	病院本館竣工 (戦後最大の木造建築 2 階建、153 病床)   病院本館玄関 病院本館受付
1950 年	エール大学ロング教授らを招聘し、CPC (臨床・病理症例検討会) 開始 電子顕微鏡研究室開室 医学部附属厚生女子学院開設
1952 年	新制大学医学部発足 “The Keio Journal of Medicine”創刊 北里柴三郎博士生誕 100 年 三四会より第一回北里賞授与
1955 年	進学課程 2 年、専門課程 4 年の戦後の医学教育体系確立
1956 年	大学院医学研究科 (博士課程) 設置
1958 年	慶應義塾創立 100 年記念式典
1961 年	米国チャイナ・メディカル・ボードの寄付を受け、基礎

	医学第二校舎竣工
1963 年	病院中央棟竣工
1965 年	病院 1 号棟竣工 「財団法人慶應がんセンター」発足（～2002 年）
1967 年	医学部創立 50 周年記念式 医学部創立 50 周年記念式
1969 年	「医学部改革委員会」設置、臨床講堂竣工
1970 年	「財団法人慶應健康相談センター」発足（～2008 年）
1972 年	北里記念医学図書館（1971 年より医学情報センター）の情報サービス部門を独立、「財団法人国際医学情報センター」発足
1973 年	病院ボランティア導入（日本病院ボランティア協会に入会）
1974 年	三重県伊勢市の病院の寄付を受け、慶應義塾大学伊勢慶應病院を開院（～2003 年）
1977 年	月が瀬リハビリテーション・センター開設（～2011 年）
1979 年	医学部共同利用 R.I（ラジオアイソトープ）研究棟竣工
1983 年	慶應義塾創立 125 年記念式典
1984 年	米国医科大学での学生臨床研修開始
1986 年	大学病院新棟（現 2 号館）竣工 大学病院新棟開院当時の病院全景 大学病院正面玄関
1988 年	看護短期大学開設（～2000 年）
1990 年	第一回自主学習成果発表会
1994 年	特定機能病院として認定 大学院医学研究科（修士課程）設置
1996 年	医学部新教育研究棟竣工 坂口光洋記念慶應義塾医学振興基金による第一回慶應医学賞授賞式および

	記念講演会開催
2001 年	看護医療学部開設 総合医科学研究棟竣工・リサーチパーク発足
2007 年	クリニカルリサーチセンター発足 「信濃町キャンパス改革・刷新プロジェクト」設置（～2008 年 3 月）
2008 年	共立薬科大学との合併により、薬学部開設 慶應義塾創立 150 年記念式典 臨床研究棟竣工
2010 年	3 号館（北棟）竣工
2011 年	東日本大震災、慶應義塾救援医療団派遣 医療系三学部（医看薬）による合同教育開始
2012 年	総合医療情報システム（電子カルテ）導入 3 号館（南棟）竣工・予防医療センター開設 
2015 年	1 号館（Ⅰ期棟）竣工
2016 年	臨床研究中核病院として認定
2017 年	医学部開設 100 年 JSR・慶應義塾大学 医学化学イノベーションセンター（通称 JKic）開所
2018 年	1 号館（Ⅱ期棟）竣工・1 号館開院 慶應看護 100 年
2020 年	大学病院開院 100 年
2022 年	大学病院グランドオープン
2023 年	大学病院予防医療センターが麻布台ヒルズに移転

■ 組織の構成

(2024年 11 月1日現在)

病院執行部

病院長（管理者）	松 本 守 雄
副病院長	志 水 秀 行
	陣 崎 雅 弘
	佐々木 淳 一
	福 永 興 竜
	金 子 祐 子
	内 田 裕 之
病院長補佐	藤 澤 大 介
	鳴 海 覚 志
	朝 倉 啓 介
病院事務局長	古 田 正
看護部長	加 藤 恵里子

診療科部門

呼吸器内科	診療科部長(教授)	福 永 興 竜	産科	診療科部長(教授)	田 中 守
循環器内科	診療科部長代行(教授)	家 田 真 樹	婦人科	診療科部長(教授)	山 上 亘
消化器内科	診療科部長(准教授)	中 本 伸 宏	眼科	診療科部長(教授)	根 岸 一 乃
腎臓・内分泌・代謝内科	診療科部長(教授)	林 香	皮膚科	診療科部長(准教授)	船 越 建
神経内科	診療科部長(教授)	中 原 仁	泌尿器科	診療科部長(教授)	大 家 基 嗣
血液内科	診療科部長(教授)	片 岡 圭 亮	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科部長(教授)	小 澤 宏 之
リウマチ・膠原病内科	診療科部長(教授)	金 子 祐 子	精神・神経科	診療科部長(教授)	内 田 裕 之
一般・消化器外科	診療科部長(准教授)	尾 原 秀 明	放射線治療科	診療科部長(教授)	武 田 篤 也
呼吸器外科	診療科部長(教授)	朝 倉 啓 介	放射線診断科	診療科部長(教授)	陣 崎 雅 弘
心臓血管外科	診療科部長(教授)	志 水 秀 行	麻酔科	診療科部長(教授)	山 田 高 成
脳神経外科	診療科部長(教授)	戸 田 正 博	救急科	診療科部長(教授)	佐々木 淳 一
小児外科	診療科部長(教授)	藤 野 明 浩	歯科・口腔外科	診療科部長(教授)	中 川 種 昭
整形外科	診療科部長(教授)	中 村 雅 也	総合診療科	診療科部長(教授)	佐々木 淳 一
リハビリテーション科	診療科部長(教授)	辻 哲 也	臨床検査科	診療科部長(教授)	松 下 弘 道
形成外科	診療科部長(教授)	貴 志 和 生	病理診断科	診療科部長(准教授)	大喜多 肇
小児科	診療科部長(教授)	鳴 海 覚 志			

診療施設部門

予防医療センター	センター長(教授)	高 石 官 均	臨床遺伝学センター	センター長(教授)	小 崎 健次郎
血液浄化・透析センター	センター長(教授)	大 家 基 嗣	免疫統括医療センター	センター長(教授)	金 子 祐 子

内視鏡センター	センター長(教授)	加 藤 元 彦	緩和ケアセンター	センター長(専任講師)	竹 内 麻 理
腫瘍センター	センター長(教授)	大 家 基 嗣	手術・血管造影センター	センター長(教授)	志 水 秀 行
輸血・細胞療法センター	センター長(教授)	田野崎 隆 二	集中治療センター	センター長(教授)	佐々木 淳 一
スポーツ医学総合センター	センター長(教授)	佐 藤 和 毅	救急センター	センター長(教授)	佐々木 淳 一
漢方医学センター	センター長(教授)	福 永 興 壱	臨床感染症センター	センター長(教授)	長谷川 直 樹
			がんゲノム医療センター	センター長(教授)	西 原 広 史

診療支援部門

看護部	部長	加 藤 恵里子	医用工学室	室長(教授)	佐々木 淳 一
薬剤部	部長(教授)	大 谷 壽 一	放射線技術室	室長	田 原 祥 子
滅菌管理部	部長(准教授)	尾 原 秀 明	臨床検査技術室	室長	横 田 浩 充
食養管理室	室長代理	大 木 いづみ			

臨床研究・教育部門

臨床研究推進センター	センター長(教授)	長谷川 奉 延	卒後臨床研修センター	センター長(教授)	門 川 俊 明
臨床研究監理センター	センター長(教授)	金 子 祐 子			

管理部門

病院情報システム部	部長(教授)	陣 崎 雅 弘	医療連携推進部	部長(教授)	福 永 興 壱
医療安全管理部	部長(教授)	志 水 秀 行	放射線安全管理室	室長(教授)	井 上 浩 義
感染制御部	部長(教授)	長谷川 直 樹	医療保険指導部	部長(准教授)	小 杉 志都子
患者総合相談部	部長(教授)	内 田 裕 之	国際診療部	部長(専任講師)	八 木 洋

病院事務局

事務局長	古 田 正
------	-------

■ 教職員数

(各年度 3 月 1 日時点)

内 訳	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
臨床系医師(うち研修医)	905(88)	871(82)	875 (77)	894 (79)	883 (75)
歯科医師(うち研修医)	39(15)	43(16)	41 (15)	40 (14)	40 (15)
看護師	1,015	1,030	1,051	1,073	1,111
薬剤師	96	99	106	115	115
臨床検査技師	146	152	155	151	153
診療放射線技師	83	86	85	86	88
管理栄養士	13	13	14	15	15
栄養士	—	—	—	—	—
視能訓練士	14	14	16	18	19

臨床工学技士	29	31	32	34	37
理学療法士	13	13	14	16	17
作業療法士	4	4	4	4	4
言語聴覚士	5	6	6	6	6
その他技師	64	67	68	69	73
事務職員	224	226	223	226	249
技能員	84	71	73	72	74
教職員合計	2,734	2,726	2,763	2,819	2,884

■ 財務

(2024 年度) (単位：千円)

	科目	医学部・大学病院	慶應義塾全体
教育活動収支	事業活動収入の部		
	学生生徒等納付金	2,886,295	57,280,405
	手数料	94,058	2,148,850
	寄付金	1,443,377	4,627,164
	経常費等補助金	3,391,520	16,276,280
	付随事業収入	8,356,699	18,846,371
	医療収入	79,546,939	79,546,939
	雑収入	2,247,760	5,370,788
	教育活動収入計	97,966,649	184,096,798
	事業活動支出の部		
	人件費	31,071,219	80,617,787
	教育研究経費	65,570,682	101,603,966
	(内 医療経費)	40,936,674	40,936,674
教育活動外収支	管理経費	1,115,406	5,862,447
	徴収不能額等	65,241	97,768
	教育活動支出計	97,822,547	188,181,968
	教育活動収支差額	144,101	△4,085,170
	事業活動収入の部		
	受取利息・配当金	553,609	10,451,643
	その他の教育活動外収入	102,816	671,106
	教育活動外収入計	656,425	11,122,749
	事業活動支出の部		
	借入金等利息	0	5,382
	その他の教育活動外支出	0	168,866
	教育活動外支出計	0	174,248
	教育活動外収支差額	656,425	10,948,500
特別収支	経常収支差額	800,526	6,863,330
	事業活動収入の部		
	資産売却差額	0	0
	その他の特別収入	287,135	3,072,940
	特別収入計	287,135	3,072,940
	事業活動支出の部		
	資産処分差額	0	270,324
	その他の特別支出	48,298	62,807
	特別支出計	48,298	333,131
	特別収支差額	238,837	2,739,809
	予備費		
	基本金組入前当年度収支差額	1,039,364	9,603,139
	基本金組入額合計	△3,423,373	△9,800,508
	当年度収支差額	△2,384,009	△197,368
	前年度繰越収支差額		△163,044,280
	翌年度繰越収支差額		△163,241,649
事業活動収入計		98,910,209	198,292,487
事業活動支出計		97,870,845	188,689,347

※千円単位で表示する際に千円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

II 病院としての取り組み

2024 年度の主な取り組みと出来事

■ 自由診療開始

当院では、新たな取り組みとして、多様化する患者さんのニーズに応えるべく、医学的・科学的根拠に基づいたさまざまな医療サービス（自由診療）を開始いたしました。

スポーツ&メディカルフィットネスセンター

スポーツ&メディカルフィットネスセンターでは PRP 療法とメディカルフィットネスという 2 つの医療を展開します。

- ・PRP 療法：アディポシーズ社と技術協力し、既存の PRP よりも血小板回収率が高らかに高く、「中身（血小板やサイトカインなどの量）のわかる」安心な PRP を作製します。この世界的にもユニークな技術により PRP 療法の効能や適応と限界などについて、しっかりとした医学的根拠を構築していきます。
- ・メディカルフィットネス：医師とトレーナーが密に連携し、医科学的に適切な運動療法を提供します。また、予防医療センターや各診療科と連携して、未病の方や疾患をお持ちの方、あるいは手術後の方でも利用できるサービスを提供していきます。



赤ちゃんの頭のかたち外来

当院の小児頭蓋顔面センターでは、頭蓋縫合早期癒合症という病的な頭の形の変形に対する治療に力を入れています。これまでの赤ちゃんの頭蓋変形の診察のうち、多くは病的な頭蓋縫合早期癒合症に伴うものではなく、向き癖などによる頭の歪みです。この変形を位置的頭蓋変形と呼び、ヘルメット治療が必要となります。

赤ちゃんの頭のかたち外来では、複数の診療科が連携して診療に当たり、適切な診断を行います。病気によって歪みが生じているのか、または位置的変形なのか、適切な鑑別診断を受け、状況に応じた治療を受けることが可能です。



美容医療

当院の美容外来では、アフターフォローを含め一貫して当院形成外科の医師が診療を担当し、学問的に検証された安全な美容医療を、厳重な医療安全管理体制のもとに提供します。大学の使命である臨床・研究・教育の観点で、安全・安心の美容医療を提供することが、慶應義塾大学病院で美容医療診療を行う目的です。

まず、痩身、黒子、瘢痕（きずあと）の治療を開始します。これは慶應義塾大学医学部形成外科学教室で長らく研究を行っている創傷治癒・皮膚再生の基礎研究の結果と、それに根差した臨床応用に基づいています。また、当院では合併症に対する治療も安心して受けることができるシステムを作っております。診療は完全予約制で、それぞれのお悩みに対して丁寧にコンサルティングし、施術します。



ニューロモデュレーションセンター

ニューロモデュレーションとは、外部からの刺激により神経活動を調整することを指します。脳卒中や脊髄損傷などによって生じる神経活動の低下や過活動を、この技術により整え、運動練習の効果を高めます。

ニューロモデュレーションセンターでは、中枢神経損傷後の運動機能障害を抱える患者さんに対してニューロモデュレーション治療を行い、機能改善に取り組んでいます。また、先端的な医療機器を活用し、科学的な根拠に基づく治療を安全に提供することで、患者さんご家族の生活がより豊かになることを目指しています。



がんゲノム外来

同じがんでも、がん細胞の遺伝子変化は患者さんごとに異なります。がん遺伝子パネル検査は一度に数百種類の遺伝子変化を検査することが可能です。この検査により、がんの性質をより細かく理解し、一人ひとりに合った治療法を選択できる可能性が広がります。

保険診療によるがん遺伝子検査が適応でない患者さん、詳しい検査を早く行いたい患者さんなどに、自費診療によるがん遺伝子パネル検査をご案内します。



■ メンタルヘルス・リエゾンセンターの開設

2024 年度より、メンタルヘルス・リエゾンセンターを開設いたしました。「リエゾン」とは、連携する、橋渡しをする、こころと体をつなぐという意味があります。体の病気で入院された場合でも、入院によるストレス、病気や手術への心配などから、メンタルヘルスに不調が生じることがあります。また、精神科の病気や認知症をお持ちの方が体の病気で入院されることや、せん妄が生じることがあります。当センターでは、入院中の患者さんが心身ともに安心した入院生活を送れるよう、メンタルヘルスのサポートをします。

精神・神経科では、これまでも入院中の患者さんのメンタルヘルスのサポートに力を入れていましたが、当センター開設により、さまざまな診療科や部門とさらに緊密に連携し、円滑で効率的なチーム医療に努め、総合的な医療サービスの提供に取り組めます。

■ オリゴ転移センターの開設

2025 年 3 月に、診療クラスターの 1 つとして、日本初となるオリゴ転移センターを開設しました。オリゴ転移とは、少数個（おおよそ 5 個以内）のがんの遠隔転移が存在する病態をいいます。従来は、遠隔転移がある場合、原則として全身療法が推奨されてきました。しかし、少数個の転移がある場合、切除、放射線治療、穿刺治療（ラジオ波、マイクロ波、冷凍凝固療法）、およびそれらを組み合わせた局所治療を行うことで根治や延命につながる可能性が報告されており、オリゴ転移に対する局所治療が注目されています。また、抗がん剤治療、ホルモン治療、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、ゲノム医療などの全身療法も日進月歩の勢いで進化しています。しかし、それぞれの患者さんに対する最適な治療法は定まっておらず、個々の病態に応じた慎重な検討が必要です。

従来の日本におけるオリゴ転移の治療は、がん治療に携わるさまざまな診療科が、個別に対応してきました。当センターでは、各診療科の知識と経験を結集し、ガイドラインにて推奨される治療法を参照しつつ、患者さんの価値観や希望、ライフスタイルなど、さまざまな側面から総合的に判断し、より良い治療法を提供していきます。さらに、体系的なオリゴ転移治療を目指していきます。

■ 病院 Web サイト、医療・健康情報サイト KOMPAS のリニューアル

慶應義塾大学病院の公式 Web サイト（病院 Web サイト）を、2025 年 3 月、約 10 年ぶりにリニューアルしました。従来のサイトは、内容は充実していたものの、技術の進歩による見た目の古さや、長期的な更新による構成の複雑化が課題となっていました。また、信濃町メディアセンターが事務局を務める医療・健康情報サイト「KOMPAS（Keio Hospital Information & Patient Assistance Service）」も同様に、コンテンツが高く評価されていながらも、運用開始から 10 年以上が経過し、見た目の古さやレスポンスデザイン（スマートフォンやタブレットへの最適化）への対応が課題となっていました。両サイトを同時にリニューアルし、統一感のあるデザインで、相互に行き来しやすい仕組みを導入することで、より多くの方に有益な情報を提供することを目指しました。

リニューアルは、さまざまな部門のメンバーで構成されたリニューアル検討委員会が主導し、業者の選定、新サイトの検討等を進めました。今回のリニューアルでは、「現行コンテンツを踏襲しつつ、動線を整理し、デザインを一新する」ことを基本方針としました。分散していたコンテンツを整理し、関連するコンテンツへの入口を集約するよう努めました。また、目的の情報に迷わずたどり着けるよう、サイトの階層や動線をシンプルでわかりやすくすることにも注力しました。病院 Web サイトと KOMPAS は、ドメインは分けたまま、トップページでタブを切り替えることで、1つのサイトのようにシームレスに閲覧できるようになりました。

リニューアルを経て、Web サイトの品質は大きく向上しました。今後もコンテンツの追加や修正を継続し、患者さんや医療関係の皆様にとって有益で信頼性の高い情報を掲載できるよう、さらなるサイトの充実に努めてまいります。



■ 医療連携推進フォーラム ハイブリッド開催

医療連携強化に向けた情報交換や交流を行うため、近隣の医師会や医療連携協定締結医療機関（慶應メディカルパートナー）、産業医、関連医療機関、ならびに看護や介護に係る施設をお招きし、2018年8月より「医療連携推進フォーラム」を開催しております。2024年7月12日には第14回「医療連携推進フォーラム」をWebと対面のハイブリッド形式で開催し、慶應産業保健研究会の産業医の先生方を当院へお招きいたしました。

フォーラムのテーマは「医療連携強化の取り組み」について医療連携推進部部長より、「医療の発展的な取り組み」として2024年4月に着任した放射線治療科、麻酔科の新診療科部長により紹介されました。本フォーラムを通して慶應義塾大学病院における強みや新たな取り組みの紹介が行われました。

遠方の医療機関からのご参加もあり、後日配信した動画も多数視聴され、地域の皆様から今回も強い関心が寄せられました。今後も医療連携推進フォーラムを通じて地域の皆様のご意見をうかがいながら、より緊密に連携し、医療連携を推進してまいります。

Ⅲ 統計・実績

■ 外来患者数（科別）

		2024年									2025年			合計	1日平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実日数		23	23	23	24	23	22	24	23	22	21	21	23	272	
呼吸器内科	初	80	91	98	118	90	91	101	102	85	73	69	85	1,083	4
	再	3,045	3,184	3,287	3,207	2,881	3,244	3,295	3,160	3,390	3,155	2,963	3,417	38,228	141
	計	3,125	3,275	3,385	3,325	2,971	3,335	3,396	3,262	3,475	3,228	3,032	3,502	39,311	145
循環器内科	初	113	117	135	116	92	105	107	102	110	93	104	128	1,322	5
	再	3,743	3,505	3,690	3,688	3,297	3,526	3,935	3,531	3,807	3,385	3,383	3,758	43,248	159
	計	3,856	3,622	3,825	3,804	3,389	3,631	4,042	3,633	3,917	3,478	3,487	3,886	44,570	164
消化器内科	初	177	171	183	186	161	192	171	152	156	155	164	158	2,026	7
	再	6,300	5,983	6,373	6,650	5,726	6,450	6,847	6,411	6,695	6,277	5,995	6,988	76,695	282
	計	6,477	6,154	6,556	6,836	5,887	6,642	7,018	6,563	6,851	6,432	6,159	7,146	78,721	289
腎臓・内分泌・代謝内科	初	42	53	55	67	56	54	62	59	39	42	46	58	633	2
	再	4,844	4,632	4,639	4,964	4,195	4,715	4,928	4,438	4,857	4,569	4,258	4,958	55,997	206
	計	4,886	4,685	4,694	5,031	4,251	4,769	4,990	4,497	4,896	4,611	4,304	5,016	56,630	208
神経内科	初	63	59	69	73	66	64	59	67	57	73	59	40	749	3
	再	2,276	2,149	2,365	2,372	2,067	2,373	2,345	2,187	2,351	2,222	2,089	2,275	27,071	100
	計	2,339	2,208	2,434	2,445	2,133	2,437	2,404	2,254	2,408	2,295	2,148	2,315	27,820	102
血液内科	初	22	25	23	24	21	19	15	34	31	21	28	23	286	1
	再	1,309	1,314	1,271	1,345	1,298	1,336	1,376	1,277	1,408	1,244	1,281	1,360	15,819	58
	計	1,331	1,339	1,294	1,369	1,319	1,355	1,391	1,311	1,439	1,265	1,309	1,383	16,105	59
リウマチ・膠原病内科	初	41	48	36	52	46	38	48	39	37	38	34	37	494	2
	再	2,642	2,819	2,823	2,845	2,558	2,911	2,821	2,678	2,830	2,663	2,494	2,902	32,986	121
	計	2,683	2,867	2,859	2,897	2,604	2,949	2,869	2,717	2,867	2,701	2,528	2,939	33,480	123
総合内科	初	27	51	34	41	31	38	40	37	59	45	42	42	487	2
	再	46	69	55	71	61	71	56	45	95	98	56	60	783	3
	計	73	120	89	112	92	109	96	82	154	143	98	102	1,270	5
総合診療科	初	17	27	15	24	24	23	28	22	9	15	26	13	243	1
	再	383	388	381	406	364	415	424	388	391	384	344	422	4,690	17
	計	400	415	396	430	388	438	452	410	400	399	370	435	4,933	18
一般・消化器外科	初	64	59	53	63	44	59	66	58	56	57	61	73	713	3
	再	2,659	2,710	2,543	2,724	2,451	2,723	2,733	2,556	2,565	2,450	2,465	2,653	31,232	115
	計	2,723	2,769	2,596	2,787	2,495	2,782	2,799	2,614	2,621	2,507	2,526	2,726	31,945	117
呼吸器外科	初	51	49	38	62	60	50	65	42	54	35	39	54	599	2
	再	636	617	696	677	622	687	742	639	663	647	626	778	8,030	30
	計	687	666	734	739	682	737	807	681	717	682	665	832	8,629	32
心臓血管外科	初	12	11	10	14	7	14	12	13	14	8	12	12	139	1
	再	498	514	571	571	469	543	521	518	609	500	420	587	6,321	23
	計	510	525	581	585	476	557	533	531	623	508	432	599	6,460	24
脳神経外科	初	67	67	62	76	62	55	51	73	66	59	57	71	766	3
	再	924	862	941	959	939	962	915	977	980	931	897	1,077	11,364	42
	計	991	929	1,003	1,035	1,001	1,017	966	1,050	1,046	990	954	1,148	12,130	45
小児外科	初	23	13	21	13	15	21	10	28	28	22	24	25	243	1
	再	310	298	308	323	387	336	260	351	345	357	284	437	3,996	15
	計	333	311	329	336	402	357	270	379	373	379	308	462	4,239	16
整形外科	初	309	310	333	348	299	309	334	330	286	278	285	306	3,727	14
	再	4,576	4,334	4,654	4,965	4,238	4,538	4,850	4,674	4,742	4,478	4,209	5,029	55,287	203
	計	4,885	4,644	4,987	5,313	4,537	4,847	5,184	5,004	5,028	4,756	4,494	5,335	59,014	217
リハビリテーション科	初	8	13	7	9	9	7	11	6	5	8	2	7	92	0
	再	594	622	634	675	583	640	644	657	690	624	599	744	7,706	28
	計	602	635	641	684	592	647	655	663	695	632	601	751	7,798	29
形成外科	初	76	77	81	90	97	95	103	84	92	96	79	85	1,055	4
	再	918	896	975	1,095	1,165	976	946	890	1,089	974	928	1,169	12,021	44
	計	994	973	1,056	1,185	1,262	1,071	1,049	974	1,181	1,070	1,007	1,254	13,076	48
小児科	初	183	169	178	196	193	176	164	153	176	154	143	151	2,036	7
	再	1,596	1,543	1,623	1,874	2,069	1,726	1,728	1,618	1,783	1,633	1,636	2,088	20,917	77
	計	1,779	1,712	1,801	2,070	2,262	1,902	1,892	1,771	1,959	1,787	1,779	2,239	22,953	84
産婦人科	初	217	205	217	214	216	193	201	243	200	199	195	224	2,524	9
	再	4,355	4,577	4,841	4,706	4,244	4,831	4,876	4,534	4,654	4,512	4,246	4,814	55,190	203
	計	4,572	4,782	5,058	4,920	4,460	5,024	5,077	4,777	4,854	4,711	4,441	5,038	57,714	212
眼科	初	295	285	297	290	239	244	306	310	281	299	253	272	3,371	12
	再	4,506	4,398	4,428	4,612	4,104	4,128	4,896	4,483	4,467	4,457	4,320	4,826	53,625	197
	計	4,801	4,683	4,725	4,902	4,343	4,372	5,202	4,793	4,748	4,756	4,573	5,098	56,996	210
皮膚科	初	141	157	132	157	125	149	162	149	125	112	117	136	1,662	6
	再	3,451	3,480	3,446	3,498	3,183	3,442	3,624	3,274	3,558	3,293	3,093	3,560	40,902	150
	計	3,592	3,637	3,578	3,655	3,308	3,591	3,786	3,423	3,683	3,405	3,210	3,696	42,564	156
泌尿器科	初	85	97	80	92	72	70	77	72	84	74	89	102	994	4
	再	3,444	3,269	3,476	3,566	3,013	3,334	3,600	3,173	3,617	3,182	2,904	3,458	40,036	147
	計	3,529	3,366	3,556	3,658	3,085	3,404	3,677	3,245	3,701	3,256	2,993	3,560	41,030	151
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	初	168	131	162	153	144	136	160	152	156	115	149	154	1,780	7
	再	2,542	2,289	2,461	2,560	2,447	2,427	2,574	2,413	2,543	2,363	2,325	2,615	29,559	109
	計	2,710	2,420	2,623	2,713	2,591	2,563	2,734	2,565	2,699	2,478	2,474	2,769	31,339	115

		2024年									2025年			合計	1日平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実日数		23	23	23	24	23	22	24	23	22	21	21	23	272	
精神・神経科	初	78	76	83	54	62	65	81	59	49	49	38	59	753	3
	再	3,020	2,975	2,957	3,199	2,904	3,021	3,285	3,164	3,227	3,059	2,945	3,210	36,966	136
	計	3,098	3,051	3,040	3,253	2,966	3,086	3,366	3,223	3,276	3,108	2,983	3,269	37,719	139
放射線治療科	初	7	7	12	6	6	6	8	6	8	15	9	5	95	0
	再	1,147	1,125	1,234	1,375	1,135	1,279	1,378	1,296	1,351	1,235	1,226	1,127	14,908	55
	計	1,154	1,132	1,246	1,381	1,141	1,285	1,386	1,302	1,359	1,250	1,235	1,132	15,003	55
放射線診断科	初	45	39	43	32	29	37	45	40	39	31	21	27	428	2
	再	48	44	51	59	58	57	62	48	41	57	64	65	654	2
	計	93	83	94	91	87	94	107	88	80	88	85	92	1,082	4
麻酔科	初	11	13	9	9	21	15	22	5	18	10	11	6	150	1
	再	1,625	1,708	1,645	1,696	1,591	1,693	1,802	1,747	1,658	1,625	1,557	1,708	20,055	74
	計	1,636	1,721	1,654	1,705	1,612	1,708	1,824	1,752	1,676	1,635	1,568	1,714	20,205	74
救急科	初	369	382	418	478	431	398	339	314	383	339	326	452	4,629	17
	再	219	214	232	245	211	224	219	197	245	245	186	233	2,670	10
	計	588	596	650	723	642	622	558	511	628	584	512	685	7,299	27
歯科・口腔外科	初	426	455	424	426	466	413	429	393	421	425	415	456	5,149	19
	再	2,868	2,881	2,986	3,268	2,555	2,834	3,281	2,970	2,908	2,771	2,770	3,226	35,318	130
	計	3,294	3,336	3,410	3,694	3,021	3,247	3,710	3,363	3,329	3,196	3,185	3,682	40,467	149
血液浄化・透析センター	初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再	71	82	74	80	79	72	68	75	83	78	72	82	916	3
	計	71	82	74	80	79	72	68	75	83	78	72	82	916	3
スポーツ医学総合センター	初	43	37	18	18	19	21	30	18	30	22	20	40	316	1
	再	321	310	343	359	245	356	324	311	442	329	317	440	4,097	15
	計	364	347	361	377	264	377	354	329	472	351	337	480	4,413	16
漢方医学センター	初	6	3	7	5	2	8	7	5	7	4	4	5	63	0
	再	462	552	563	507	508	554	540	545	573	529	521	429	6,283	23
	計	468	555	570	512	510	562	547	550	580	533	525	434	6,346	23
感染症外来	初	3	5	2	3	4	1	2	6	2	3	2	2	35	0
	再	203	157	160	166	171	174	183	165	186	153	175	196	2,089	8
	計	206	162	162	169	175	175	185	171	188	156	177	198	2,124	8
輸血・細胞療法センター	初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内視鏡センター	初	20	24	14	15	7	15	16	18	16	16	15	19	195	1
	再	13	15	7	7	15	12	13	12	15	12	16	15	152	1
	計	33	39	21	22	22	27	29	30	31	28	31	34	347	1
免疫統括医療センター	初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再	63	71	69	44	56	24	39	29	29	30	38	26	518	2
	計	63	71	69	44	56	24	39	29	29	30	38	26	518	2
腫瘍センター	初	105	90	99	107	76	90	87	109	105	105	92	114	1,179	4
	再	2,010	1,998	1,998	1,976	1,822	1,939	2,097	1,893	1,909	1,894	1,792	1,934	23,262	86
	計	2,115	2,088	2,097	2,083	1,898	2,029	2,184	2,002	2,014	1,999	1,884	2,048	24,441	90
メモリー外来	初	24	12	12	9	18	18	13	15	15	16	15	10	177	1
	再	338	366	394	429	356	393	456	423	446	432	390	454	4,877	18
	計	362	378	406	438	374	411	469	438	461	448	405	464	5,054	19
緩和ケアセンター	初	0	1	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	6	0
	再	74	72	79	92	82	62	88	84	77	63	69	78	920	3
	計	74	73	80	93	82	62	88	85	79	63	69	78	926	3
臨床遺伝学センター	初	3	9	10	6	12	11	8	7	3	13	3	8	93	0
	再	63	68	64	62	71	78	86	63	67	70	73	95	860	3
	計	66	77	74	68	83	89	94	70	70	83	76	103	953	4
予防医療センター	初	14	6	10	2	0	4	0	2	3	3	2	1	47	0
	再	35	34	40	41	35	51	63	44	53	48	44	63	551	2
	計	49	40	50	43	35	55	63	46	56	51	46	64	598	2
保健管理センター	初	50	46	46	40	32	58	91	59	58	49	54	55	638	2
	再	122	130	138	121	118	115	162	164	169	147	142	142	1,670	6
	計	172	176	184	161	150	173	253	223	227	196	196	197	2,308	8
その他	初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	初	3,485	3,490	3,527	3,689	3,354	3,362	3,531	3,384	3,365	3,171	3,104	3,515	40,977	151
	再	68,299	67,254	69,515	72,079	64,373	69,272	73,082	68,102	71,608	67,175	64,212	73,498	828,469	3,046
	計	71,784	70,744	73,042	75,768	67,727	72,634	76,613	71,486	74,973	70,346	67,316	77,013	869,446	3,196
1日平均	初	152	152	153	154	146	153	147	147	153	151	148	153	151	
	再	2,970	2,924	3,022	3,003	2,799	3,149	3,045	2,961	3,255	3,199	3,058	3,196	3,046	
	計	3,121	3,076	3,176	3,157	2,945	3,302	3,192	3,108	3,408	3,350	3,206	3,348	3,196	

■ 救急外来患者数（科別）

	自力受診					救急車搬入					合計				
	受診数	初診	受け科 入院数	実入院科 患者数	転送	受診数	初診	受け科 入院数	実入院科 患者数	転送	受診数	初診	受け科 入院数	実入院科 患者数	転送
呼吸器内科	73	5	35	111	1	28	3	27	207	0	101	8	62	318	1
循環器内科	93	4	38	94	0	43	7	40	180	0	136	11	78	274	0
消化器内科	116	8	52	212	0	40	5	38	281	0	156	13	90	493	0
腎臓・内分泌・代謝内科	35	5	21	45	0	11	1	10	79	0	46	6	31	124	0
神経内科	53	7	31	74	1	20	3	15	251	0	73	10	46	325	1
血液内科	54	1	11	37	0	4	0	4	31	0	58	1	15	68	0
リウマチ・膠原病内科	14	0	5	15	0	12	0	10	29	1	26	0	15	44	1
総合内科	1,587	299	388	0	5	217	7	150	0	2	1,804	306	538	0	7
総合診療科	10	1	3	0	3	0	0	0	0	0	10	1	3	0	3
一般・消化器外科	201	6	80	92	2	28	1	23	64	0	229	7	103	156	2
呼吸器外科	73	15	25	31	0	14	6	14	30	0	87	21	39	61	0
心臓血管外科	15	0	4	8	0	5	0	4	16	0	20	0	8	24	0
脳神経外科	122	41	10	14	0	19	2	13	47	0	141	43	23	61	0
小児外科	93	20	36	46	1	7	2	5	10	0	100	22	41	56	1
整形外科	156	45	20	20	0	14	2	11	21	1	170	47	31	41	1
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	136	55	3	3	0	1	1	1	0	0	137	56	4	3	0
小児科	685	208	113	103	5	62	21	41	80	0	747	229	154	183	5
産婦人科	576	9	298	300	1	51	12	39	82	1	627	21	337	382	2
眼科	131	48	23	24	0	9	5	3	8	0	140	53	26	32	0
皮膚科	223	106	15	19	0	6	4	6	23	0	229	110	21	42	0
泌尿器科	247	30	41	49	0	26	6	18	55	0	273	36	59	104	0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	97	21	16	21	0	10	3	3	23	0	107	24	19	44	0
精神・神経科	47	0	4	4	2	4	0	3	6	0	51	0	7	10	2
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急科	1,726	156	107	44	8	6,854	4,140	1,336	279	238	8,580	4,296	1,443	323	246
歯科・口腔外科	348	223	17	15	0	10	8	0	8	0	358	231	17	23	0
血液浄化・透析センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ医学総合センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漢方医学センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
免疫統括医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メモリー外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケアセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6,911	1,313	1,396	1,381	29	7,495	4,239	1,814	1,810	243	14,406	5,552	3,210	3,191	272

■ 入院患者延数（科別）

	2024年									2025年				1日
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
呼吸器内科	1,691	1,668	1,438	1,630	1,590	1,601	1,773	1,677	1,585	1,999	1,672	1,664	19,988	55
循環器内科	1,484	1,443	1,662	1,685	1,500	1,320	1,641	1,339	1,636	1,811	1,748	1,932	19,201	53
消化器内科	2,571	2,292	2,214	2,339	2,140	2,410	2,812	2,563	2,310	2,326	2,248	2,877	29,102	80
腎臓・内分泌・代謝内科	711	671	555	735	768	650	690	621	699	633	639	570	7,942	22
神経内科	1,312	1,089	1,172	1,352	1,485	1,421	1,475	1,220	1,334	1,364	1,345	1,390	15,959	44
血液内科	1,141	1,394	1,589	1,646	1,581	1,498	1,665	1,426	1,530	1,545	1,613	1,547	18,175	50
リウマチ・膠原病内科	570	697	753	768	795	795	672	561	527	672	624	592	8,026	22
一般・消化器外科	2,311	2,345	2,812	2,376	2,662	2,122	2,351	2,610	2,661	2,386	2,249	2,659	29,544	81
呼吸器外科	615	685	553	509	599	530	556	523	519	451	510	492	6,542	18
心臓血管外科	689	683	608	661	643	640	600	560	660	715	757	944	8,160	22
脳神経外科	778	787	780	962	852	1,044	825	715	881	798	676	566	9,664	26
小児外科	277	267	227	269	258	192	248	228	203	236	243	295	2,943	8
整形外科	2,513	2,448	2,742	2,783	2,706	2,284	2,691	2,719	2,652	2,360	2,552	2,980	31,430	86
リハビリテーション科	132	150	155	128	117	125	132	152	114	98	116	129	1,548	4
形成外科	399	316	364	369	352	328	425	437	411	382	440	428	4,651	13
小児科	1,517	1,548	1,648	1,487	1,561	1,595	1,688	1,489	1,628	1,548	1,390	1,284	18,383	50
産婦人科	2,167	2,243	2,281	2,262	2,347	2,036	2,199	2,043	2,208	1,852	1,826	1,953	25,417	70
眼科	749	612	682	686	598	565	763	683	626	638	699	708	8,009	22
皮膚科	450	389	429	548	505	404	442	512	546	577	339	507	5,648	15
泌尿器科	1,051	1,069	957	992	1,191	1,138	1,305	1,214	1,329	1,081	895	1,100	13,322	36
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	733	843	805	875	884	888	891	781	835	643	680	805	9,663	26
精神・神経科	465	423	480	424	439	423	463	421	494	466	358	456	5,312	15
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	6	7	8	0	4	4	6	18	10	6	4	29	102	0
救急科	514	515	535	571	493	570	536	654	488	653	487	510	6,526	18
歯科・口腔外科	213	259	184	182	221	208	153	159	235	250	218	233	2,515	7
スポーツ医学総合センター	7	28	17	26	26	5	20	8	32	20	10	16	215	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	25,066	24,871	25,650	26,265	26,317	24,796	27,022	25,333	26,153	25,510	24,338	26,666	307,987	844

■ 入院患者延数（病棟別）・病床稼働率

	2024年									2025年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3号館南棟5階	651	565	642	722	696	693	842	649	797	765	725	838	8,585
3号館南棟6階	682	690	659	601	582	651	677	617	582	636	577	705	7,659
1号館10A	1,176	1,079	1,186	1,227	1,195	1,115	1,265	1,234	1,188	1,184	1,132	1,266	14,247
1号館10B	1,138	1,205	1,184	1,265	1,253	1,174	1,281	1,197	1,237	1,196	1,127	1,252	14,509
1号館10C	800	823	832	872	897	845	874	862	896	848	794	838	10,181
1号館10D	414	401	396	324	431	394	467	382	335	428	367	414	4,753
1号館9A	1,186	1,160	1,198	1,215	1,193	1,132	1,269	1,231	1,220	1,189	1,148	1,273	14,414
1号館9B	1,156	1,119	1,199	1,192	1,197	1,093	1,242	1,194	1,186	1,150	1,146	1,235	14,109
1号館9C	1,123	1,169	1,196	1,231	1,253	1,138	1,231	1,199	1,234	1,140	1,115	1,252	14,281
1号館9D	1,077	1,115	1,198	1,199	1,240	1,150	1,189	1,159	1,194	1,104	1,126	1,212	13,963
1号館8A	966	1,026	968	1,052	1,061	999	1,087	1,061	1,051	1,037	993	1,100	12,401
1号館8B	1,012	987	993	1,048	1,019	944	1,074	1,019	1,043	1,030	1,004	1,118	12,291
1号館8C	1,034	1,004	1,021	1,037	1,028	1,008	1,110	1,044	1,083	1,060	1,013	1,128	12,570
1号館8D	1,085	1,100	1,103	1,118	1,155	1,067	1,184	1,125	1,147	1,155	1,073	1,195	13,507
1号館7A	1,219	1,198	1,215	1,255	1,284	1,161	1,286	1,253	1,264	1,231	1,175	1,344	14,885
1号館7B	1,179	1,136	1,214	1,218	1,236	1,138	1,258	1,187	1,227	1,186	1,149	1,245	14,373
1号館7C	1,108	1,094	1,124	1,186	1,147	1,151	1,184	1,115	1,198	1,133	1,114	1,193	13,747
1号館7D	1,152	1,101	1,143	1,205	1,166	1,147	1,194	1,082	1,174	1,092	1,133	1,224	13,813
1号館6A・1	882	904	1,018	1,088	1,029	802	890	850	1,032	940	902	1,008	11,345
1号館6A・2	379	377	375	481	388	446	461	401	456	450	327	340	4,881
1号館6A・3	98	100	103	104	106	110	108	107	111	115	166	155	1,383
1号館6C	731	678	742	730	745	636	705	567	674	642	589	527	7,966
1号館6C MFICU	161	112	147	140	184	113	151	128	144	143	122	108	1,653
1号館6D GCU	511	527	632	516	583	580	598	471	413	456	416	323	6,026
1号館6D NICU	253	276	242	215	263	269	267	263	263	258	219	251	3,039
1号館4B	392	406	441	411	438	415	450	412	454	423	348	432	5,022
1号館4D ICU	466	472	454	467	472	437	468	466	457	460	427	471	5,517
1号館4C HCU	717	730	727	699	668	718	740	695	696	768	664	730	8,552
2号館5S	1,197	1,198	1,203	1,237	1,225	1,171	1,264	1,225	1,225	1,147	1,156	1,279	14,527
2号館5N	1,120	1,119	1,094	1,209	1,182	1,099	1,205	1,138	1,172	1,144	1,090	1,209	13,781
2号館6N	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	7
合計	25,066	24,871	25,650	26,265	26,317	24,796	27,022	25,333	26,153	25,510	24,338	26,666	307,987
病床稼働率	88.0%	84.5%	90.0%	89.2%	89.4%	87.0%	91.8%	88.9%	88.8%	86.6%	91.5%	90.5%	平均 88.8%

■ 新入院患者数・退院患者数・死亡患者数・在院患者延数・平均在院日数

	2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	合計
実日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
新入院患者数	2,325	2,216	2,238	2,531	2,296	2,250	2,390	2,222	2,413	2,424	2,224	2,388	27,917
退院患者数	2,277	2,170	2,303	2,406	2,466	2,140	2,355	2,283	2,583	2,214	2,214	2,421	27,832
死亡患者数	25	24	26	28	33	28	31	33	36	40	24	33	361
在院患者延数	22,789	22,701	23,347	23,859	23,851	22,656	24,667	23,050	23,570	23,296	22,124	24,245	280,155
平均在院日数	10.4	11.0	11.0	10.3	10.5	10.8	11.1	10.9	10.1	10.9	10.9	10.9	年間平均 10.7

*平均在院日数は、基本診療料の施設基準において定められた対象外患者を除いた患者数で算出。

■ 分娩件数・出生児数・死産児数

	2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	合計
分娩件数	76	74	78	81	78	66	75	60	67	64	56	43	818
(帝王切開)	28	35	41	35	39	24	34	30	35	20	31	20	372
出生児数	76	75	78	83	82	67	76	60	70	67	57	43	834
(早期産児)	5	5	8	7	13	9	8	6	12	4	6	5	88
(低出生体重児)	11	10	7	10	17	9	13	9	12	8	6	9	121
(多胎児)	2	4	0	4	8	2	6	6	8	8	4	4	56
死産児数	1	1	0	2	0	0	2	2	1	1	1	2	13

■ 手術件数（科別）

(1) 入院

	2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	合計
内科	54	43	36	43	59	52	65	46	45	42	54	45	584
一般・消化器外科	125	153	145	136	134	123	148	148	140	141	121	131	1,645
呼吸器外科	53	51	44	57	58	61	55	52	57	54	48	62	652
心臓血管外科	39	45	34	31	35	34	36	29	34	34	37	35	423
脳神経外科	29	39	32	36	36	28	33	28	30	30	34	25	380
小児外科	14	17	8	19	16	13	14	14	13	13	19	23	183
整形外科	150	149	153	168	151	138	170	156	165	150	149	170	1,869
形成外科	63	49	50	67	60	59	63	61	57	61	67	60	717
小児科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
産婦人科	154	175	171	183	167	153	168	164	185	146	159	163	1,988
眼科	260	213	223	251	208	190	263	243	236	243	252	249	2,831
皮膚科	17	8	13	17	16	14	11	14	16	11	10	12	159
泌尿器科	106	114	94	102	107	96	115	107	93	92	88	105	1,219
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	56	64	57	57	70	64	63	68	59	52	56	64	730
精神・神経科	31	30	43	58	27	24	47	52	39	11	46	44	452
麻酔科	3	5	2	1	0	1	1	0	2	1	2	2	20
救急科	21	15	12	19	16	21	27	17	4	18	18	15	203
歯科・口腔外科	14	14	12	21	17	16	23	17	17	19	19	18	207
その他	9	10	8	13	7	5	6	8	16	9	5	7	103
合計	1,198	1,194	1,137	1,279	1,184	1,092	1,309	1,224	1,208	1,127	1,185	1,230	14,367

(2) 外来

	2024年									2025年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	17	15	17	20	15	15	21	17	13	16	14	21	201
一般・消化器外科	1	1	2	1	3	1	2	1	1	2	0	6	21
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	16	26	23	31	15	27	24	26	22	27	20	23	280
形成外科	16	18	14	18	26	15	19	22	21	27	12	20	228
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	34	39	39	39	28	31	28	28	34	36	44	35	415
眼科	86	105	64	92	64	66	89	94	100	87	77	95	1,019
皮膚科	27	33	25	26	31	22	30	27	23	32	26	32	334
泌尿器科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2	3	6	6	2	3	3	1	3	4	2	4	39
精神・神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
歯科・口腔外科	18	14	10	19	20	20	20	19	14	19	17	19	209
その他	2	1	1	2	0	0	1	2	0	1	2	4	16
合計	219	255	201	254	204	201	238	237	231	252	214	260	2,766

■ 手術全身麻酔件数（科別）

	2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	合計
内科	26	23	22	27	29	27	37	22	25	25	29	26	318
一般・消化器外科	108	114	109	111	108	104	123	121	116	115	106	106	1,341
呼吸器外科	50	47	42	57	56	58	54	51	55	53	47	58	628
心臓血管外科	35	35	32	28	34	31	35	26	30	30	33	33	382
脳神経外科	24	33	26	31	31	24	29	26	26	24	28	19	321
小児外科	14	16	7	19	16	13	13	14	12	12	19	23	178
整形外科	146	142	149	165	151	134	166	155	160	149	146	166	1,829
形成外科	46	29	35	49	43	44	45	37	39	41	45	45	498
小児科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
産婦人科	81	80	79	78	84	79	81	91	85	73	77	92	980
眼科	13	5	9	10	7	4	7	12	8	9	11	9	104
皮膚科	8	6	5	7	7	8	6	7	8	5	5	8	80
泌尿器科	65	70	65	68	73	69	72	72	67	63	61	63	808
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	46	55	49	54	63	55	56	62	54	48	51	58	651
精神・神経科	31	30	43	58	27	24	47	52	39	11	46	44	452
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
救急科	21	13	11	19	15	20	24	16	3	16	18	14	190
歯科・口腔外科	14	12	10	18	15	14	21	13	16	16	15	16	180
その他	8	10	8	13	7	5	6	8	16	9	5	7	102
合計	736	720	701	812	766	713	823	785	760	699	743	787	9,045

■ 薬剤・輸血関連実績

内訳	件数等
処方せん枚数（枚）	外 来： 413,983 / 入 院： 381,178
入院注射薬調製件数（件）	抗がん剤： 10,834 / 一般注射薬： 93,247
外来注射薬調製件数（件）	抗がん剤： 25,427 / 抗体製剤： 12,776 / 一般注射薬 14,051
薬剤管理指導件数（件）	33,218
輸血用血液製剤使用数（単位）	55,921
輸血検査件数（件）	88,169

■ 画像・検体・生理機能検査実績

内訳	件数
単純撮影（健診含む）	174,393
CT	66,083
MRI	35,015
超音波（健診含む）	37,761
核医学 PET+SPECT	12,811
IVR（画像下治療）+血管造影	4,526
検体検査（輸血検査含まず）	10,242,815
生理機能検査	113,823

■ 公開講座・講演会・セミナー

診療科・部門	名称	開催場所	開催日
呼吸器内科	呼吸器内科サタデーレクチャー	Web	2024/4/13
			2024/4/27
			2024/5/11
			2024/5/25
			2024/6/8
			2024/6/22
			2024/6/29
			2024/7/13
			2024/7/27
			2024/8/24
			2024/9/14
			2024/9/28
			2024/10/12
			2024/10/26
			2024/11/9
			2024/11/30
			2024/12/14
			2024/12/28
			2025/1/11
			2025/1/25
			2025/2/8
			2025/2/22
			2025/3/8
			2025/3/22
	Inflammatory cell SEM 2024	Web	2024/4/18
	令和の呼吸器疾患を考える会	Web	2024/4/19
	広島重症喘息講演会	ホテルグランヴィア広島/Web	2024/4/26
循環器内科	こころとからだの健康	早稲田大学	2024/5/19 2024/11/8
	新宿区喫煙防止教室	四谷第六小学校	2024/9/19
	新宿区民講演会	東新宿保健センター	2025/2/21
	ラジオ NIKKEI ドクターサロン	東京	2024/4/18
	交詢社主催 2024 年度公開医療講座	東京	2024/6/5
	新潟県心不全診療ネットワークセミナー	新潟	2024/9/20

消化器内科	IBD Forum in Sano	佐野厚生総合病院	2024/4/17
	KyorinWEB サロン	Web	2024/4/25
	第3回関東消化管セミナー	Web	2024/4/26
	第110回日本消化器病学会総会 モーニングセミナーC	アスティとくしま/Web	2024/5/10
	第107回日本消化器内視鏡学会総会教育講演	グランドプリンスホテル新高輪 /Web	2024/5/31
	消化器内科 春季学術講演会	明治記念館	2024/6/4
	オブジーボ胃がん WEB ライブセミナー	Web	2024/6/7 2024/11/25
	第11回九州門脈圧亢進症研究会 特別講演	Web	2024/6/14
	オンコロ夜間学校 大阪オンコロジーセミナー	Web	2024/6/14
	日本肝臓学会教育講演会	Web	2024/6/15
	Biliary tract cancer expert conference	Web	2024/6/24
	第9回兵医消化器連携の会	ホテルグランヴィア大阪	2024/6/28
	第1回 Future Endoscopists' Seminar	ベイサイドホテル アジュール竹芝	2024/7/6-7
	第46回日本内視鏡学会大会	東京国際交流会館プラザ平成 /Web	2024/7/7
	関東胆膵内視鏡懇話会	不明	2024/7/13
	UC Tokyo seminar	Web	2024/7/26
	東京肝硬変・肝不全治療 Web Seminar	Web	2024/7/27
	上部消化管疾患 診療連携 Web Seminar	Web	2024/7/29
	LEN-TACE Meeting	Web	2024/7/29
	腸内微生物叢研究の最前線 シリーズ	Web	2024/8/1
	うどん県フォーラム	香川大学医学部附属病院 /Web	2024/8/10-11
	信濃町内視鏡フォーラム	明治記念館	2024/8/24
	信濃町リバーカンファレンス	都内ホテル	2024/9/1
	新宿区 HCC セミナー	Web	2024/9/2
	信濃町胆膵技術検討会	学内会議室	2024/9
	大腸がん治療を考える会～外科医・内科医の立場から～	Web	2024/10/11
	Tokyo biliary specialist Conference	東京ガーデンパレス /Web	2024/10/16
	JDDW2024	神戸ポートピアホテル/Web	2024/10/31
	Esophageal cancer I-O seminar	Web	2024/11/7
	Nivolumab 胃癌 Web セミナー-胃癌1次治療適応追加3周年記念-	Web	2024/11/27

	8th AIO-WJOG Joint Conference on Gastrointestinal Cancer	Web	2024/11/30
	第 53 回日本免疫学会学術集会ランチョンセミナー	出島メッセ長崎	2024/12/3
	医療連携オンラインセミナー	Web	2024/12/5
	第 122 回日本消化器病学会中国支部例会	岡山コンベンションセンター	2024/12/14
	信濃町 IBD コンソーシアム	Web	2024/12/20
	腸内微生物叢研究の最前線 シリーズ	Web	2024/12/23
	慶應内視鏡懇談会	明治記念館	2025/1/11
	教えてドクター・Medical DOC	Web	2025/1/29
	第 10 回信濃町上部消化管セミナー	都内配信会場	2025/1
	婦人科における便秘治療を考える会	Web	2025/2/6
	第 4 章腸内微生物叢研究の最前線シリーズ第 9 弾	Web	2025/2/13
	第一三共×WJOG Gastric Cancer Leader's Salon	TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口	2025/2/15
	信濃町胆膵カンファレンス	Web	2025/2/19
	若手医師のための Gastric Cancer Web Seminar	Web	2025/2/20
	第 21 回日本消化管学会総会学術集会ランチョンセミナー	京王プラザホテル /Web	2025/2/21 2025/2/22
	第 8 回信濃町胆膵カンファレンス	現地	2025 年 2
	オブジーボ食道癌 Hybrid Web Live Seminar	Web	2025/3/18
	GastricCancerSeminar : MovingIntoTheNextEra	Web	2025/3/25
	食道がん治療の明日を考える会	Web	2025/3/28
	Total GI Management Forum in Toyono	-	-
	兵庫県内視鏡治療談話会	ANA クラウンプラザホテル神戸	-
	Tokyo GI Seminar for Endoscopist	Web	-
	郡山消化器病研究会	-	-
腎臓・内分 泌・代謝内科	MSD Diabetes Seminar	Web	2024/4/4
	Interprofessional Work	Web	2024/4/10
	公益社団法人日野市医師会 市民公開講座	ひの煉瓦ホール	2024/4/13
	立川 CKD ネットワーク病診連携研究会	たましん RISURU ホール /Web	2024/4/18
	透析予防を目指した治療を考える会	Web	2024/4/25
	岩井幸子先生最終講義	東京医科大学病院	2024/4/27
	National Expert Symposium 2024、Forxiga 10th Anniversary and Beyond	ホテルニューオータニ	2024/5/12
	SLE/ループス腎炎 Otsuka Medical Seminar	Web	2024/5/14
	世界高血圧デーに降圧治療を考える	Web	2024/5/17

	ARNI Seminar ～Hypertension Up to Date～	川崎日航ホテル	2024/5/18
	CKD SYMPOSIUM in MITO	Web	2024/5/22
	第 56 回湘南糖尿病懇話会	藤沢商工会館ミナパーク	2024/6/1
	糖尿病腎臓セミナー	Web	2024/6/14
	Forxiga CKD Symposium	Web	2024/6/25
	K K Nephrology Special Seminar -Aiming for The Development of Nephrology-	慶應義塾大学医学部 /Web	2024/6/26
	第 67 回日本腎臓学会学術総会、ランチョンセミナー2 腎臓病と高血圧	パシフィコ横浜	2024/6/28
	糖尿病教室	慶應義塾大学病院	2024/6/29 2024/7/13 2024/10/12 2024/12/14
	第 82 回関東農村医学会学術総会	仙水閣	2024/7/13
	第 50 回 千葉県腎セミナー	京成ホテルミラマーレ/Web	2024/7/19
	VAIVT Meeting	中野セントラルパークサウス	2024/7/19
	Tokyo IMAGINE Project Web Seminar	Web	2024/7/24
	Diamond Seminar in 大分	Web	2024/7/30
	日野市医師会学術講演会	日野市医師会館/Web	2024/9/3
	Tokyo IMAGINE Project Web Seminar	Web	2024/9/17
	第 54 回日本腎臓学会東部学術大会 ランチョンセミナー3	ライトキューブ宇都宮	2024/9/28
	漢方ネットワークフォーラム、糖尿病治療を中心に	Web	2024/10/16
	Forxiga CKD Expert Symposium 2024	ホテルニューオータニ	2024/10/19
	第 134 回生涯教育研修セミナー	ハイアットリージェンシー東京 /Web	2024/10/26
	Forxiga National Broadcast Symposium	第一ホテル東京	2024/10/30
	Nephrology Expert Seminar	Web	2024/11/6
	第 25 回日本内分泌学会近畿支部学術集会、JES We Can 男女共同参画企画	京都烏丸コンベンションホール	2024/11/9
	第 7 回 RINON JUNTO 研究会	Web	2024/11/14
	糖尿病先制医療研究会	慶應ブラザホテル/Web	2024/11/19
	第 28 回日本心血管内分泌代謝学会学術総会(CVEM2024)スポンサードシンポジウム、CVEM と慢性腎臓病～SGLT2 阻害薬の有用性を含めて～	九州大学医学部	2024/12/7
	腎臓病教室	慶應義塾大学病院	2024/12/13 2025/3/7
	RETINO-DOMINO Conference	Web	2025/1/4

	かかりつけ医のための CKD 治療 update（食事管理・電解質管理も含めて）	Web	2025/1/14
	さの DKD ミーティング	サンルート佐野/Web	2025/1/15
	the 2nd Endocrinology and Metabolism Annual Dialogue	ハイアットリージェンシー東京	2025/1/18
	第 10 回お茶の水サイエンス倶楽部	ソラシティカンファレンスセンター	2025/1/31
	第 60 回インスリン研究会	経団連会館	2025/2/1
	第 57 回 右京コミュニティカンファレンス	右京医師会/Web	2025/2/8
	Science Quartet 2024	住友ファーマ本社	2025/2/22
	糖尿病 WEB セミナー	Web	2025/3/5
	第 18 回慶應腹膜透析カンファレンス	ステーションコンファレンス東京	2025/3/7
	Renal Seminar in Saitama	Web	2025/3/11
	BRB Nephrology Conference	アストラゼネカ東京支社/Web	2025/3/15
	Hypertension Seminar in 杉並中野	中野セントラルパークサウス /Web	2025/3/28
神経内科	Neurology Expert Seminar in 南多摩	エーザイ大宮オフィス/Web	2024/6/19
	第 15 回 Chiba Dementia Conference	エーザイ大宮オフィス/Web	2024/6/26
	Dementia Collaboration Forum in 信濃町	八王子市エルシィ/Web	2024/9/10
	第 3 回埼玉 Clinical Neurology 研究会	エーザイ大宮オフィス/Web	2024/9/13
	Dementia Collaboration Forum in 信濃町	千葉/Web	2024/9/26
	神経難病療養相談	新宿	2024/10/22
	市民公開講座 みんなで考えよう“頭痛退散!”	新横浜プリンスホテル	2024/12/7
	令和 6 年度日本医師会生涯教育講座	東京都医師会/Web	2024/12/12
血液内科	第 20 回京浜血液懇話会	ストリングスホテル東京 インターコンチネンタル	2024/4/5
	BMS Breyanzi Conference in Kanagawa	Web	2024/4/18
	Lymphoma Conference in Osaka	Web	2024/6/24
	新宿 PNH Update Seminar	ベルサール新宿グランド コンファレンス/Web	2024/7/25
	CAR-T Forum in 新宿	京王プラザホテル/Web	2024/7/31
	Young Hematologist Seminar2024	Web	2024/8/19
	第 14 回 Keio Hematology Alliance 研究会	Web	2024/9/4
	Beginning of new-era MDS treatment Seminar	赤坂インターシティコンファレンス /Web	2024/9/11
	Abecma Conference in Tokyo	Web	2024/9/25
	これからの PNH 治療を考える会	Web	2024/9/26

	DLBCL Network Meeting	Web	2024/10/17
	Novartis HSCT Specialist Conference	Web	2024/10/19 2025/3/15
	リンパ腫治療カンファレンス～For one lymphoma patient～	ヒルトン東京	2024/10/30
	ベネクレスタ CLL 全国 Web セミナー	Web	2024/11/6
	Shinjuku Hematology Seminar	Web	2024/11/27
	AZ Hematology Tokyo Young Conference	新宿マインズタワー	2024/12/14
	第 15 回 Keio Hematology Alliance 研究会	Web	2024/12/18
	Epkinly Web Seminar	Web	2024/12/23
	r/rLBCL の新たな治療選択ー現状と展望ー	Web	2024/12/25
	第 7 回リンパ腫分子病態研究会	埼玉医科大学	2025/1/19
	東京造血器腫瘍研究会 2025	Web	2025/1/25
	Young Hematologist Seminar2025	野村コンファレンス新宿	2025/1/29
	CSL Web Seminar	Web	2025/1/31
	造血器腫瘍ゲノムセミナー	アステラス製薬株式会社本社	2025/2/5
	Multiple Myeloma Expert Meeting	明治記念館/Web	2025/2/6
	第 8 回 CLL Expert Seminar	Web	2025/2/14
	Meet The Expert on Hematology	明治記念館/Web	2025/2/20
	骨髄異形成症候群治療の医療経済を考える	Web	2025/3/18
	血液造血器腫瘍・免疫不全における感染症セミナー	Web	2025/3/24
リウマチ・膠原病内科	市民公開講座 リウマチとウエルビーイング	やまぎん県民ホール	2024/5/12
	こんなに面白い！リウマチ・膠原病	神戸/Web	2024/5/25
	T N F 阻害薬 2 0 年	静岡/Web	2024/6/2
	Lilly RA Conference	都内/Web	2024/6/4
	第 13 回膠原病リウマチセミナー in KYOTO	京都市内ホテル/Web	2024/6/8
	JAK WEB Seminar	コモレ四谷/Web	2024/6/3
	先進リウマチ研究会	慶應義塾大学病院/Web	2024/6/18
	Treat to Thrive Local 講演会	新潟県内ホテル	2024/6/24
	第 4 回堺 RA セミナー	ホテルグランヴィア大阪/Web	2024/6/29
	Asahi IL-6 Forum～Sarilumab の未来を考える～ in 広島	広島アンデルセン/Web	2024/7/25
	第 49 回 東京整形外科・内科合同リウマチ性疾患研究会	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター/Web	2024/7/29
	第 11 回 Rheumadvance	歌舞伎座タワー/Web	2024/8/3
	SLE/ループス腎炎 Otsuka Medical Seminar	Web	2024/8/19
	関節リウマチ診療連携講演会 in 城南	エーザイ本社/Web	2024/9/11

	宮崎県アクテムラ学術講演会	MRT micc	2024/10/4
	第 26 回東京リウマチ膠原病研究会	海運倶楽部/Web	2024/10/16
	メトジェクトペン製剤発売記念講演会 in 富山	富山市内ホテル	2024/10/18
	IL-6 研究会	品川プリンスホテル/Web	2024/10/26
	第 134 回大分県リウマチ懇話会	大分県内ホテル/Web	2024/11/7
	リウマチ膠原病セミナー2024	那覇市内ホテル/Web	2024/11/23
総合診療科	第 15 回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2024/5/22
	佐渡地区学術講演会	佐渡総合病院	2024/5/25
	One-day conference at Taoyuan General Hospita	Taoyuan General Hospital, Ministry of Health and Welfare	2024/5/30
	Connecting Health Humanities with Experiential Learning in Medical Education	Kaohsiung Medical University	2024/6/1
	第 16 回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2024/7/18
	第 2 回プライマリ・ケア看護研修	日本医療福祉生活協同組合連合会ビル	2024/7/21
	第 17 回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2024/9/19
	第 18 回 KEIO ジェネラリストセミナー	Web	2025/3/22
一般・消化器 外科	肝臓内視鏡外科ミーティング	ジョンソン・エンド・ジョンソン本社	2024/5/11
	Up to Date Information of LEAD	Web	2024/5/23
	信濃町肝胆膵外科ミーティング	TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター /Web	2024/5/25
	第 13 回大阪血管疾患懇話会	梅田スカイビル	2024/6/10
	第 14 回信濃町乳腺カンファレンス	九段会館テラスコンファレンス /Web	2024/6/20
	Meet the Specialist WEB Conference2024	高崎モノリス/Web	2024/6/20
	第 25 回下関循環器研究会	下関グランドホテル	2024/6/22
	Esophageal Cancer Forum in Tokyo	京王プラザホテル	2024/6/22
	Biliary Tract Cancer Expert Conference	明治記念館/Web	2024/6/24
	第 50 回食道内視鏡外科研究会	大阪国際会議場/Web	2024/6/30
	横浜南循環器談話会	横浜南共済病院講堂/Web	2024/8/24
	心臓血管外科サマースクール 2024 教育セミナー	イービーエム羽田医療技能訓練所 PiO PARK	2024/8/26
	Tokyo Sepsis Forum 2024	明治記念館/Web	2024/8/29
	透析合併症セミナー	カネカメディックス東京事業所	2024/9/6
	東京 Vascular 研究会	Web	2024/9/7
	信濃町フットケア講習会	信濃町キャンパス	2024/9

	AMESA 特別企画 AMG 外科フォーラム	上尾中央総合病院	2024/10/2
	Shinanomachi Meeting	Web	2024/10/12
	興和株式会社 社内研修会	興和株式会社東京支店	2024/10/19
	The 13th Chugai Oncology Seminar in SHINANOMACHI	Web	2024/11/8
	慶應義塾大学・九州大学 Collaboration Seminar	Web	2024/11/10
	第 24 回別府癌治療懇話会	ビーコンプラザ別府/Web	2024/11/21
	第 41 回肝臓内視鏡外科ハンズオンセミナー	インテュイティブサージカル東京 京トレーニングセンター	2024/11/26
	外科感染症フォーラム 2025	ホテルニューオータニ東京 /Web	2025/1/12
	外科フォーラム 2025	ベルサール東京日本橋	2025/1/27
	Keio Breast Cancer Symposium	明治記念館/Web	2025/1/31
	第 19 回 食道・胃外科フォーラム	品川プリンスホテル/Web	2025/2/3
	第 9 回 Supportive Care Conference	Web	2025/2/14
	肝がんクラスター講演会 2025	明治記念館/Web	2025/2/19
	Next Generation Digestive Surgery Forum	高松国際ホテル	2025/2/23
	Tokyo Symposium of Gastric Cancer 2024	九段会館テラス	2025/2/24
	食道がんオブジーボ WEB ライブセミナー	Web	2025/3/11
呼吸器外科	Meet the Expert on Lung Cancer	Web	2024/7/24
	肺病理カンファレンス	明治記念館/Web	2024/9/11
	第 9 回神奈川呼吸器手術手技セミナー	ホテルプラム横浜	2024/9/13
	文京区呼吸器外科研究会 2024 秋	順天堂大学医学部附属順天堂医院	2024/9/21
	第 7 回先進呼吸器外科学セミナー・次世代北信がんプロ FD 講演会	金沢医科大学病院	2024/11/7
	第 6 回東京呼吸器外科ビデオセミナー	ジョンソン・エンド・ジョンソン本社	2024/11/8
	第 3 回呼吸器外科医の肺癌診療と働き方を考える勉強会 in 近畿	梅田スカイビル	2024/11/16
	BD Thoracic Surgery Technical Lecture VATS & RATS における合併症対策	Web	2024/11/19
	NSCLC IO-treatment Expert Seminar	Web	2024/11/28
	Meet The Expert Seminar in 山梨	山梨大学/Web	2024/12/6
心臓血管外科	第 6 回 MACS セミナー	東京ドームホテル	2024/5/14
	信濃町 CARDIOVASCULAR SURGERY 研究会	日本橋	2024/7/27
	エリアハートセミナー	-	2024/7/2
	K-ATS (Keio Aortic Technology Symposium)	Web	-
脳神経外科	第 27 回 Cadaver Dissection Course	慶應義塾大学信濃町キャンパス	2024/8/31 2024/9/1
	SAH Seminar	Web	2024/9

	バイパスハンズオンセミナー 手技コンテスト	慶應義塾大学信濃町キャンパス	2024/9/14
	第 27 回 KNC 脳疾患研究会	エーザイ株式会社/Web	2024/12/7
	脳腫瘍セミナー	Web	2025/2
	Focus 2025	慶應義塾大学病院	2025/2
	Neurosurgery Expert Web Seminer	Web	2025/2
	経鼻内視鏡手術シミュレーションセミナー	慶應義塾大学信濃町キャンパス	2025/3/1
小児外科	新潟大学大学関連病院カンファレンス	Web	2024/2/9
	リンパ系の可視化とその先へ	パシフィコ横浜/Web	2024/4/13
	小児科学会モーニングセミナー	ヒルトン福岡シーホーク/Web	2024/4/21
	第 3 回 Hokkaido LM VM Expert Seminar	グランドメルキュール 札幌大通公園	2024/5/18
	川崎市医師会定時総会	川崎市医師会館	2024/5/25
	第 44 回日本静脈学会総会 ランチョンセミナー 7	軽井沢プリンスホテル/Web	2024/6/14
	第 38 回日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会 共催セミナー	小田原三の丸ホール	2024/6/15
	2024 年度春季総会 講演	慶應義塾大学信濃町キャンパス	2024/6/22
	第 29 回愛媛小児血液・悪性腫瘍研究会特別講演	リジェール松山/Web	2024/7/5
	第 34 回日本小児外科 QOL 研究会特別講演	弘前市立観光館	2024/10/12
	第 40 回日本小児外科学会秋季シンポジウム・PSJM2024 ランチョンセミナー	一橋講堂/Web	2024/10/24 2024/10/25
	第 15 回 小児救急医学会教育セミナー	Web	2024/12/15
	第 15 回信濃町小児がんクラスター症例検討会	慶應義塾大学医学部/Web	2025/2/10
	第 44 回日本画像医学会学術集会	東京ステーションカンファレンス/Web	2025/2/14
	短腸症候群の会 第 41 回交流会	アフラックベアレンツハウス亀戸/Web	2025/2/16
	移植学会認定医教育セミナー	ウインク愛知	2025/10/9
整形外科	地域で診る整形外科疾患 Web セミナー	Web	2024/4/11
	Research Meeting: Toward realizing social innovation	名古屋商科大学ビジネス スクール東京キャンパス	2024/6/3
	【慶應義塾大学×かんぽ生命保険】イノベーションエコシステムに 関する取り組みの全体会合	かんぽ生命本社	2024/6/5
	第 9 回ラグビードクターカンファレンス	難波御堂筋ホール	2024/6/8
	RSA 10 years Anniversary Symposium	Web	2024/6/8
	第 100 回東海脊椎研究会	メルパルク名古屋	2024/6/8
	Orthopedic surgery Web seminar	Web	2024/6/14
	The APEX (All Japan Experts) Web Forum of HALAVEN	エーザイ東京コミュニケー ションオフィス/Web	2024/6/18

第 116 回 会津整形外科医会学術講演会	福島市	2024/6/26
Orthopedic surgery Web seminar	Web	2024/6/26
SMR Reverse HP Advanced Seminar in Tokyo	Web	2024/7/6
Orthopedic surgery Web seminar	第一三共 新宿会場	2024/7/17
旭化成ファーマ株式会社社内講演会	旭化成ファーマ株式会社 西新宿事務所	2024/7/19
医療介護福祉政策研究フォーラム 「月例社会保障研究会」	Web	2024/7/19
明石市医師会外科整形外科医会学術講演会	明石キャッスルプラザ /Web	2024/7/20
手外科医のための末梢神経障害 web セミナー	Web	2024/7/24
第 13 回栃木県脊椎外科研究会	東武ホテルグランデ	2024/7/24
5th Spine Develop Seminar	広島市	2024/7/27
ジクトルテープ 75mg 発売 3 周年記念講演会 in 高崎	ホテルグランビュー高崎	2024/7/30
2024 年第 2 回人間ドック健診専門医研修会	Web	2024/8/19- 2024/9/2 配 信
第 10 回両毛地区痛み WEB 研究会	Web	2024/8/22
ジクトルテープ 75mg 発売 3 周年記念講演会 in 県央	三条ロイヤルホテル	2024/8/29
第 4 回 信濃町上肢の外科セミナー	野村コンファレンスプラザ新宿	2024/9/7
小泉信三記念講座	慶應義塾大学病院	2024/9/13
TAISHO Osteoarthritis WEB seminar	Web	2024/9/19
味の素 講演	味の素 川崎事業所	2024/9/19
高齢者 Total Care Seminar ～多職種連携のこれからを考える～	第一三共 品川サイト会議室	2024/9/24
練馬医療連携 Web セミナー	Web	2024/9/25
二十世紀学会講演	京橋モルチェ	2024/9/25
Pain Diagnosis and Treatment seminar	Web	2024/10/2
BIO JAPAN 2024	パシフィコ横浜	2024/10/11
Walk Again 2024	秋葉原コンベンションホール	2024/10/12
シンポジウム「AI は私の未来の健康を変えるのか？」 ～医療福祉の現場、制度、技術のニーズを語る～	ベルサール三田ガーデン	2024/10/13
第 73 回日本農村医学会学術総会特別講演	朱鷺メッセ	2024/10/14
「第 6 回ヘルスケアベンチャー大賞」最終審査会 特別講演	日本橋ライフサイエンスハブ	2024/10/25
第 1 3 4 回静岡県東部医学会学術講演会	THE GOTEMBAKAN	2024/10/26
鹿慶会	鹿児島シェラトンホテル	2024/10/31
Orthopedics Web Seminar～脊椎疾患治療の最前線～	Web	2024/11/1

	第 19 回信濃町運動器カンファレンス	明治記念館	2024/11/13
	横浜股関節骨粗鬆症研究会	旭化成ファーマ医薬横浜支店	2024/11/15
	第 99 回慶應義塾大学整形外科公開セミナー	明治記念館	2024/11/16
	名整会総会特別講演	ヒルトン名古屋	2024/11/23
	Pain Diagnosis and Treatment seminar ～ターニングポイントで考えるアプローチ～	Web	2024/11/27
	脊髄障害と痙攣治療セミナー	ハイアットリージェンシー東京 /Web	2024/11/28
	板橋区医師会学校医会研修会	板橋区	2024/11/28
	第 17 回新宿区民医療公開講座	牛込筆筈区民ホール	2024/11/30
	骨転移と疼痛を考える会	盛岡市内会場/Web	2024/12/5
	近未来の医療を語る講演会	弘前大学 医学部大講堂	2024/12/12
	KEIO TECHNO-MALL 2024	東京国際フォーラム	2024/12/13
	東京新都心ロータリークラブ例会	ハイアットリージェンシー東京	2024/12/18
	第 52 回日本大学医学部整形外科同門会総会学術講演会	リーガロイヤルホテル東京	2024/12/21
	第 17 回慶應義塾大学整形外科上肢班冬期研修会	目黒雅叙園	2025/1/11
	慶應義塾大学先端研究教育連携シンポジウム 「大学と自治体のパートナーシップ ～スタートアップが飛び出す、慶應義塾×鶴岡市×川崎市のタウンキャンパス～」	鶴岡メタボロームキャンパス /Web	2025/1/27
	Tarlige 5days	Web	2025/2/5
	疾患毎に疼痛診療を考える～母指 CM 関節症編	Web	2025/2/7
	RINK FES2025	羽田空港第 3 ターミナル TIAT SKY HALL	2025/2/14
	Zimmer Biomet Trauma Channel Vol. 35	Web	2025/2/19
	令和 6 年度 Care Show Japan セミナープログラム	東京ビッグサイト	2025/2/28
	第 33 回南多摩七病院整形外科カンファレンス	Web	2025/3/13
リハビリテーション科	第 76 回高知中央・高幡・安芸医療圏脳卒中地域連携の会合同会合	高知大学	2024/6/22
	東京都高次脳機能障害支援普及事業研修会（専門的リハビリテーションの充実事業）	Web	2024/6 月頃
	東京都地域リハビリテーション支援事業研修会	Web	2024/7 月頃
	臨床筋電図・電気診断学入門講習会	慶應義塾大学病院/Web	2024/10/14
	高次脳機能障害のある人への地域支援	Web	2024/10/21
	A D L 評価法講習会	慶應義塾大学病院/Web	2024/11/25
	リンパ浮腫ケア 研修会	慶應義塾大学病院	2025/2/19
	東京都 JRAT 研修会	慶應義塾大学信濃町キャンパス	2025/2/23
	東京都地域リハビリテーション支援事業研修会	Web	2025/3/5
	リンパ浮腫ケア 地域連携セミナー	慶應義塾大学病院	-

形成外科	第 46 回口唇口蓋裂チームアプローチ研究会	Web	2024/7/17
小児科	第 67 回日本形成外科学会学術集会	神戸	2024/4/1
	慶應小児アレルギー班勉強会	Web	2024/4/1～ 2025/3/31
	慶應感染班勉強会（症例検討会）	慶應義塾大学病院/Web	2024/4/1～ 2025/3/31
	内分泌代謝班カンファレンス	Web	2024/4/1～ 2025/3/31
	慶應小児科腎臓班勉強会	Web	2024/4/1～ 2025/3/31
	慶應小児科呼吸器班勉強会	Web	2024/4/1～ 2025/3/31
	第 126 回日本小児科学会学術集会シンポジウム 出生前診断・着床前診断	福岡/Web	2024/4/19
	日本内分泌学会学術集会シンポジウム	横浜	2024/6/6
	日本小児科学会宮城地方会	仙台	2024/6/23
	第 97 回日本整形外科学会学術総会	福岡	2024/5/26
	慶應 PICU 症例検討会	Web	2024/4/26
	ベイフォータスの発売記念 Web seminar	東京オペラシティタワー/Web	2024/5/31
	慶應小児科心臓班勉強会	Web	2024/7/3
	第 60 回日本小児循環器学会学術総会	福岡	2024/7/11～ 2024/7/13
	第 17 回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コース	山口	2024/7
	小児在宅医療を考える会	神奈川	2024/7
	国立障害リハビリテーションセンター講義	栃木	2024/7
	第 26 回京浜新生児医療研究会フレッシュパーソンセミナー	Web	2024/5/18
	南関東小児呼吸器勉強会	慶應義塾大学病院	2024/8/3
	第 65 回日本母性衛生学会総会・学術集会	シーガイアコンベンションセンター	2024/10/18
	第 28 回ディベロップメンタルケア (DC) ベーシックセミナー	Web	2024/10～ 2024/11
	第 68 回 日本新生児成育医学会・学術集会	ホテルブエナビスタ	2024/11/8～ 2024/11/10
	第 27 回京浜新生児医療研究会フレッシュパーソンセミナー	Web	2024/11
	乳幼児親精神療法オンラインセミナー	Web	2025 年 1 月
	慶應 Pediatric Tumor Board	Web	-

	信濃町がんクラスター症例検討会	新宿/Web	-
産科	日本生殖医学会生殖医療従事者講習会	Web	通年
	第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会 専攻医教育プログラム「排卵誘発 新たな方法」	パシフィコ横浜	2024/4/19
	第 19 回 2023 Miss SAKE ナデシコプログラム特別講義	AP 日本橋	2024/4/28
	日本大学医学部産婦人科学教室同窓会総会	-	2024/6/1
	第 37 回長崎県母性衛生学会総会・学術集会	出島メッセ長崎	2024/6/9
	第 3 回香川産婦人科懇話会	-	2024/6/15
	第 147 回 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会	都市センターホテル/Web	2024/6/15- 2024/6/16
	ASKA 周産期 WEB セミナー	Web	2024/6/27
	令和 6 年度岡山県産婦人科専門医会	岡山県医師会館	2024/7/21
	ゼリア新薬社内勉強会	-	2024/7/23
	第 23 回関東甲信越地方会講習会	有明セントラルタワー/Web	2024/10/5
	ランチョンセミナー	石川県立音楽堂 金沢市文化ホール 北國新聞赤羽ホール	2024/10/13
	令和 6 年度千葉県産科婦人科医学会秋季学術研修会	TKP ガーデンシティ千葉	2024/10/27
	令和 6 年度九州大学医学部婦人科学産科学教室同窓会	ホテルニューオータニ博多	2024/11/23
	東京産婦人科ライブ Web 講演会	TKP 新宿カンファレンスセンター /Web	2024/11/29
	みんなで話すプレコンセプションケア	Web	2024/12/5
	第 69 回 日本超音波医学会 東北地方会学術集会 ランチョン セミナー	仙台市中小企業活性化センター	2025/3/2
	エストラーナテープ発売 25 周年記念 Web Seminar	Web	2025/3/7
	第 4 回滋賀県産科婦人科医会 学術研修会	-	2025/3/8
	女性の健康週間セミナー	野村コンファレンス プラザ日本橋/Web	2025/3/23
婦人科	坂本梨紗のヘルシー・メルシー！	ニッポン放送	2024/4/7
	Fuji Women's Webinar on ovarian cancer Vol.2	Web	2024/4/11
	抗がん剤 多職種連携セミナー in 築地	Web	2024/6/6
	Endometrial Cancer Clinical Seminar in 福島	Web	2024/6/13
	Prefs Recurrent Ovarian Cancer Hybrid Conference (北東北婦人科腫瘍研究会)	アイーナ・いわて県民情報 交流センター/Web	2024/6/14
	HBOC 市民公開講座	慶應義塾大学病院	2024/6/29

	慶應 HBOC センター市民公開講座	慶應義塾大学病院/Web	2024/6/29
	城西南ブロック産婦人科講演会	AP 渋谷道玄坂/Web	2024/7/11
	城北ブロック産婦人科医会学術講演会	豊島区医師会館/Web	2024/7/23
	慶應婦人科関連医局セミナー	Web	2024/7/26
	Gynecologic Oncology Web Seminar	ホテル津/Web	2024/9/5
	2 nd CGLS	Web	2024/9/17
	Endometrial Cancer Clinical Seminar in 群馬	ロイヤルチェスター前橋 /Web	2024/9/20
	第 7 回 Ovarian Cancer Seminar in Nagasaki -進行卵巣癌治療 up to date-	出島メッセ長崎/Web	2024/10/7
	レンビマ適応追加 3 周年記念講演会 in 北海道	札幌グランドホテル /Web	2024/10/28
	子宮体癌 Seminar in 青森	アートホテル弘前シティ /Web	2024/11/21
	第 37 回熊本産婦人科桃李会	ホテルメルパルク熊本 /Web	2024/11/28
	婦人科癌の個別化医療を考える会@福井	福井県協ビル/Web	2024/12/5
	第 44 回慶應関連薬剤部長会	明治記念館/Web	2025/1/18
	子宮体がん治療の今後を展望する 2025 in Kagoshima	TKP ガーデンシティ 鹿児島中央	2025/1/22
	令和 6 年度山口県産婦人科医会研修会及び第 3 回研修会	山口県医師会会議室	2025/2/2
	第 35 回埼玉県産婦人科医会婦人科腫瘍研究会	TKP ガーデンシティ PREMIUM 大宮	2025/2/21
	中野・杉並・新宿三合同産婦人科医会学術講演会	中野区医師会館/Web	2025/2/25
	Endometrial Cancer Expert Meeting in Okinawa	ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城 /Web	2025/2/27
	Gynecologic Oncology Seminar	Web	2025/2/28
	第 25 回多摩産婦人科臨床腫瘍研究会	三鷹産業プラザ	2025/3/6
	子宮体癌薬物治療を考える会	マリタール創世久留米	2025/3/21
	女性の健康週間セミナー	野村コンファレンスプラザ日本橋 /Web	2025/3/23
眼科	Shinjuku Ophthalmology club	Web	2025/1/22
	慶大眼科臨床懇話会	慶應義塾大学病院/Web	2025/2/12
皮膚科	信濃町臨床皮膚疾患懇話会	明治記念館	2024/10/24
耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	慶應義塾大学病院 聴覚センター 海外招待講演	慶應義塾大学信濃町キャンパス	2024/5/14
	ハンズオンセミナー	慶應義塾大学病院	2024/5/25
	令和 6 年度 慶耳会学術講演会	慶應義塾大学病院	2024/6/1

	第 4 回「側頭骨 Cadaver Dissection・人工内耳実習」	慶應義塾大学病院	2024/6/22
	第 2・3 回慶應人工内耳茶話会	東京	-
	甲状腺がん治療WEBカンファレンス	エーザイ株式会社/Web	-
	第 6 回慶應耳鼻咽喉科手術手技研究会	東京/Web	2024/7/27
	令和 6 年度教室総会	Web	-
	第 15 回日本耳鼻咽喉科心身医学研究会	東京駅カンファレンスセンター	2024/10/19
	第 23 回 ENT 病診連携カンファレンス	明治記念館/Web	2024/11/27
	第 21 回臨床懇話会	東京	2025/1/18
	慶耳会学術講演会	-	-
	第 30 回東大・慶大ジョイントカンファレンス	東京	2025/2/1
精神・神経科	令和 6 年度精神神経科連携セミナー	3 号館北棟 1 階ラウンジ	2024/12/11
放射線治療科	高知大学医学部 学生講義	高知大学	2024/5/13
	東京医科歯科大学 学生講義	東京医科歯科大学	2024/6/10
	Link Next セミナー	日本ベクトン・ディッキンソン 株式会社	2024/6/29
	医療連携推進フォーラム	慶應義塾大学病院/Web	2024/7/12
	EBC 欧州ビジネス協会 40 周年記念式典	麻布台ヒルズ森 JP タワー	2024/8/22
	診断科カンファレンス	慶應義塾大学病院	2024/9/3
	東海大学医学部 学生講義	東海大学	2024/10/30
	「高精度放射線治療/小線源治療を担う人材の育成」小線源治療演習 2	日本ベクトン・ディッキンソン 株式会社	2024/11/9
	呼吸器疾患ネットワークシンポジウム	Web	2024/11/13
	日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会	パシフィコ横浜/Web	2024/11/21 ～ 2024/11/23
	Gynecologic Cancer Web Seminar	Web	2024/12/26
	VARIAN Oncology Summit	Web	2025/1/11
	肝がんクラスター講演会 2025	新宿パークタワー/Web	2025/2/26
	Link Next テクニカルサポート	多摩北部医療センター	2025/2/28
麻酔科	Pain Live Symposium Web seminar	Web	2024/5/7
	TAVI 麻酔ワークショップ	慶應義塾大学病院	2024/6/4 2024/10/1 2025/3/4
	Pain Management Seminar～痛み治療を再考する～	山口国際ホテル/Web	2024/6/28
	ハートアネスカンファランス～アネレム麻酔を考える～	Web	2024/7/11

	Pain Diagnosis and Treatment Forum2024	Web	2024/7/25
	厚生労働省 令和6年度 慢性疼痛診療システム均てん化等事業 慢性疼痛診療研修会	Web	2024/8/24 2024/9/11
	Meet the Expert～皮膚科診療のトータルマネジメント	Web	2024/8/29
	敗血症セミナー2024 第2回	Web	2024/9/1
	TAVI Optimization Seminar	Web	2024/9/18
	Postoperative Pain Web Seminar～術後疼痛と慢性術後痛への対応～	Web	2024/9/18
	Pain clinical and research conference	コモレ四谷タワーコンファレンス /Web	2024/10/23
	痛みの Up to Date ～身体負担軽減を考える～	Web	2024/10/31
	第19回病診薬連携緩和ケア研究会研究会	Web	2024/11/22
	神経疾患トータルケアシリーズ PartII ～神経変性疾患&慢性疼痛～	Web	2024/12/12
	千葉周術期循環フォーラム	千葉	2024/12/14
	第14回ペインクリニック市民公開講座	御茶ノ水ソラシティ	2025/1/18
	アネレム全身麻酔領域 WEB セミナー	Web	2025/1/20
	城北支部勉強会	Web	2025/1/29
	Peri Clip バーチャルシリーズ	Web	2025/2/27
	両毛緩和ケア・ペインクリニック研究会	Web	2025/3/14
	Pain Live Symposium	アートホテル上越/Web	2025/3/14
	第22回慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬適正使用講習会	Web	2025/3/15
	Kyorin Perioperative Medicine Ground Round	杏林大学医学部付属病院 /Web	2025/3/16
	アミティーザ イブニングセミナー	Web	2025/3/18
救急科	ASSET コース (Advanced Surgical Skills for Exposure in Trauma)	慶應義塾大学病院	-
	救急医療検討会	慶應義塾大学病院	-
	ICLS コース	慶應義塾大学病院	-
歯科・口腔外科	東京歯科大学同窓会渋谷支部学術講演会	東京	2024/10/18
	第2回しずおか口腔ケアフォーラム『ライフステージに応じた口腔ケア』	清水区役所	2024/10/27
	東京歯科大学同窓会栃木県支部学術講演会	栃木	2024/12/1
	榛原・島田歯科医師会主催学術講演会	-	2024/12/14
	口腔がん Web セミナー	Web	2024/12/19
	第11回がん患者を支える歯科衛生士のための講習会 一頭頸部がん放射線治療に対する支持療法一	グランシップ	2025/1/19
	世田谷区歯科医師会口腔がん検診講演会	世田谷区歯科医師会館	2025/1/22
臨床検査科	慶應微生物コンソーシアム	慶應義塾大学病院/Web	2024/10

	シスメックスヘモスタシスセミナー2025 in Tokyo	Web	2025/1/18
	PHC 学術セミナー2024	大手町サンケイプラザ	2025/3/8
	KEMS 研究会	慶應義塾大学病院/Web	2025/2
	慶應血液検査研究会	慶應義塾大学病院/Web	2025/3
血液浄化・透析センター	東京腎透析ワークショップ	Web	2024/9/3
	慶應義塾大学病院腎代替療法研修会	Web	2025/1/17
漢方医学センター	第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会イブニングセミナー	横浜市	2024/4/19
	第 1 回季節の変化と漢方シリーズ～体調を整えるヒント～【メンタル領域】	栃木総合文化センター/Web	2024/4/26
	ゆずの里 KAMPO 研究会 KAMPO 学術講演会	埼玉医科大学/Web	2024/6/17
	第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会ランチョンセミナー	城山ホテル鹿児島	2024/7/18
	第 43 回産婦人科漢方研究会	ホテル日航福岡/Web	2024/9/1
	研修医・若手医師のための漢方勉強会	Web	2024/9/18
	葛飾区産婦人科医会	葛飾区医師会館	2024/9/20
	練馬総合地域連携講演会	練馬総合病院/Web	2024/9/27
	漢方ネットワークフォーラム「腎臓・内分泌・代謝内科」	Web	2024/10/16
	札幌市産婦人科医会学術講演会	札幌プリンスホテル	2024/10/19
	第 61 回阪神周産期勉強会	西宮市民会館	2024/10/24
	東洋医学に関する市民公開講演会	名古屋市立大学	2024/10/26
	葛飾区産婦人科医会	葛飾区医師会館	2024/11/15
	働く世代の“隠れ我慢”を考える KAMPO セミナー	Web	2024/11/19
	第 27 回市民公開漢方セミナー	文京シビックホール	2024/11/27
	相模原市産婦人科医会学術講演会	レンブラントホテル東京町田 /Web	2025/2/19
	第 11 回若手医師のための漢方医学セミナー	ホテルメルパルク熊本	2025/2/23
	戸塚支部二火会学術講演会 漢方セミナー	ワイム貸会議室高田馬場/Web	2025/3/11
	熊本産婦人科二十日会	ホテル日航熊本	2025/3/14
	看護薬理学カンファレンス 2025 in 幕張 共催セミナー	Web	2025/3/20
臨床感染症センター	第 64 回日本呼吸器学会学術講演会	パシフィコ横浜 ノース	2024/4/5 2024/4/6
	北九州インфекション対策セミナー	Web	2024/5/9
	第 99 回日本結核・非結核性分枝菌感染症学会学術講演会	出島メッセ長崎	2024/5/31 2024/6/1
	第 10 回嚢胞性線維症情報交換会	名古屋大学病院	2024/7/1
内視鏡センター	KM オンラインセミナー	東京/Web	2024/6/17
	内視鏡の粘膜評価から考える潰瘍性大腸炎診療	東京	2024/10/4

	第 26 回長野拡大内視鏡研究会	長野	2024/10/5
	第 86 回九州消化器内視鏡技師学会	鹿児島	2024/11/16
	第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会	東京	2024/12/14
	Journey for finding a key (J.F.K.) ～内視鏡診療の最前線～	東京	2025/1/10
	AIxUC 内視鏡の最前線 2025.1.29	Web	2025/1/29
	佐賀・久留米 IBD カンファレンス 2025.1.30	佐賀	2025/1/30
腫瘍センター	正しく知ろう食道がんの事	国立がん研究センター	2024/4/14
	市民講座	Web	2024/6 2024/9 2024/12 2025/3
緩和ケアセンター	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会	慶應義塾大学病院	2024/7/20
	第 7 回慶應サポーターシップケアセミナー	Web	2024/8/16
	緩和ケア連携セミナー	明治記念館	2024/9/11
	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会	慶應義塾大学病院	2024/10/19
	第 8 回慶應サポーターシップケアセミナー	Web	2024/12/13
	第 9 回 Supportive Care Conference	Web	2025/2/12
遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (HBOC) センター	慶應 HBOC センター市民公開講座 遺伝性乳がん卵巣がんを知ろう！2024	慶應義塾大学病院/Web	2024/6/29
薬剤部	薬薬連携 WEB 講演会	Web	2024/11/22
	地域連携 WEB 講演会	Web	2025/1/23
	がん薬物療法の地域医療連携セミナー	Web	2025/3/8
食養管理室	第 8 回新宿栄養連携の会	Web	2024/6/25
感染制御部	第 52～55 回 感染対策向上加算合同カンファレンス	慶應義塾大学病院/Web	2024/4/25 2024/7/11 2024/10/3 2025/1/16
	第 13 回 四谷第六小学校手指衛生指導	四谷第六小学校	2024/10/2
	令和 6 年 度 HIV AIDS 症例懇話会	慶應義塾大学病院/Web	2024/10/31
臨床研究推進センター	第 53～59 回 臨床研究推進啓発セミナー	Web	2024/5/9 2024/6/13 2024/9/12 2024/10/3

			2024/11/14 2024/12/12 2025/2/6
	2024 年度 臨床研究講習会：春期/登記	Web	2024/5/18 2024/12/7
	2024 年度 臨床研究・治験従事者研修	Web	2024/7/6
	有料ワークショップ「臨床研究に活用できる生成 AI ワークショップ」	Web	2024/9/21
	2024 年度 臨床研究プロトコールワークショップ	Web	2024/10/19
	2024 年度 臨床研究プロジェクトマネジメントワークショップ	Web	2025/1/18
	2024 年度 治験・倫理審査委員会委員研修	Web	2025/2/1
医療連携推進 部			2024/7/12
	第 14～16 回 医療連携推進フォーラム	慶應義塾大学病院/Web	2024/10/11 2025/2/21
	第 5 回 看護と介護の意見交換会	慶應義塾大学病院/Web	2024/11/22
医事統括室 (腫瘍センタ ー)			2024/6/26 2024/7/24 2024/8/28 2024/9/25 2024/10/23 2024/11/27 2024/12/25 2025/1/29 2025/2/26 2025/3/26
	2024 年第 1～10 回がんゲノム医療講座	Web	
	食道がん啓発キャンペーン 2024 啓発セミナー	国立がん研究センター	2024/4/14
			2024/6/7
	2024 年度第 1～4 回がん患者サロン	慶應義塾大学病院/Web	2024/8/24 2024/12/16 2025/3/7
	WEB キッズ探検隊	Web	2024/6/22
			2024/7/8
	第 9～11 回 緩和ケア連携カンファレンス	Web	2024/10/7 2025/3/10
	2024 年度第 1,2 回緩和ケア研修会	慶應義塾大学病院	2024/7/20 2024/10/19
	Teens セミナー	-	2024/7/27

	ジャパンキャンサーフォーラム（JCF）2024	国立がん研究センター/Web	2024/8/25
	オンライン 希少がん Meet the Expert	Web	2024/9/6
	緩和連携セミナー	Web	2024/9/11
	東京都がん教育	杉並区立高南中学校	2024/9/14
	グリーフプログラム	-	2024/9/28
	日本脳腫瘍学会 第2回脳腫瘍支持療法研究学術集会	三田キャンパス	2024/9/29
	薬薬連携 WEB 講演会	Web	2024/11/22
	Palliative Care Seminaer	野村コンファレンスプラザ新宿	2024/12/11
	第8回サポーターブケアセミナー	Web	2024/12/13
	がんプロフェッショナルセミナー	慶應義塾大学病院	2024/12/14
	NF2 情報提供会	Web	2024/12/18
	都民フォーラム	東京医科大学病院/Web	2025/1/12
	第15回信濃町小児がんクラスター症例検討会	-	2025/2/10
	第9回 Supportive Care Conference（SCC）	Web	2025/2/12
	リンパ浮腫ケア研修会	慶應義塾大学病院	2025/2/19
	第7回 がん薬物療法の地域医療連携セミナー	Web	2025/3/8
	東京都がん教育	杉並区立井荻中学校	2025/3/11
秘書室	小泉信三記念講座	慶應義塾大学信濃町キャンパス	2024/9/13

IV 診療科・部門の活動

呼吸器内科

1 概要

当診療科では肺の病気や呼吸器症状を有する患者さんに対して、質の高い医療を提供しております。以下の方に対して、経験豊富なチームスタッフが患者さん毎に病状や症状を判断した上で適切かつ質の高い医療を行っております。

<当科で対応している方>

COPD(慢性閉塞性肺疾患)／肺癌／気管支喘息／呼吸器感染症／間質性肺炎／睡眠時無呼吸症候群などの肺の病気をお持ちの患者さん／息切れ、呼吸困難感、咳、痰などの呼吸器症状をお持ちの患者さん／健康診断や人間ドックのレントゲンなどで胸部異常陰影を指摘された患者さん

2 対象疾患

慢性閉塞性肺疾患（COPD）／肺癌／気管支喘息／間質性肺炎／睡眠時無呼吸症候群／非結核性抗酸菌症／結核症／胸膜中皮腫

3 検査

スパイログラム（肺活量・フローボリュームカーブ）／ガス拡散能力（DLCO）／気道過敏性検査／終夜睡眠無呼吸検査／気管支鏡／CTガイド下肺生検／呼気一酸化窒素（NO）測定／モストグラフ／超音波気管支鏡ガイド下リンパ節生検（EBUS-TBNA）

4 実績

2024年度診療実績(延べ人数)	件数
外来患者	約10,000件
入院患者	約1,000件
肺癌化学療法入院	約710件
在宅酸素療法・在宅持続陽圧呼吸療法導入	約280件
気管支鏡検査	約240件
CTガイド下肺生検	約50件

循環器内科

1 概要

特定機能大学病院の循環器診療部門として狭心症、心筋梗塞、不整脈、心臓弁膜症、心筋症、心不全、先天性心臓病、肺高血圧などあらゆる疾患に対して、高い専門性を生かした高度・最先

端の技術を利用した治療を行っています。カテーテルによる心臓病の非薬物的治療は、近年急速に進歩し、従来外科的な治療が必要であった疾患に対しても、より低侵襲な治療での根治が期待できるようになりました。当院循環器内科の特徴はほとんど全ての循環器の治療領域に対し、高度な技術と見識を有する医師を擁していることで、国内でも屈指の陣容です。また、24時間365日いつでも迅速に緊急疾患に対応し、心臓血管外科をはじめとした他診療部門と協力した集約的治療体制を整えています。「かかりつけ医」との連携を充実させ、関東全域にわたる地域関連病院との総合診療を実現しています。

2 対象疾患

虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）／不整脈（頻脈性不整脈[心房細動・心房粗動・上室性頻拍・心室頻拍]・徐脈性不整脈[洞不全症候群・房室ブロック]）／心筋症（拡張型心筋症、肥大型心筋症、拘束型心筋症、不整脈源性心筋症）／心不全／肺高血圧症／肺性心／感染性心内膜炎／心膜疾患／心アミロイドーシス／ファブリー病／サルコイドーシス／ブルガダ（Brugada）症候群／失神／弁膜症／先天性心疾患（心房中隔欠損症、卵円孔開存、動脈管開存など）／大動脈疾患（大動脈炎症候群・大動脈解離など）／高コレステロール血症／遺伝性心疾患

3 検査

12誘導心電図検査（安静時、マスター運動負荷）／心エコー検査／経食／道心エコー図（TEE）／心肺運動負荷試験／心臓CT／心筋シンチ／心臓MRI／遺伝子検査／心臓カテーテル検査／カテーテルアブレーション／心房中隔欠損症治療／閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的中隔心筋焼灼術／灼術／弁膜症に対するカテーテル治療／慢性肺血栓塞栓症に対するカテーテル／心臓電気生理学的検査／ペースメーカー／植込み型除細動器（ICD）／携帯型心電図記録伝送装置および伝送心電図ネットワーク

4 実績（2024年）

病床数	55	心肺運動負荷試験	320
医師数	54	心臓MRI	198
年間入院患者数	1,909	経皮的冠動脈形成術	173
平均入院日数	8.2	経カテーテル大動脈弁留置術	234
トレッドミル負荷試験	103	経皮的中隔心筋焼灼術	8
心電図、負荷心電図	56,564	ペースメーカー手術	105
ホルター心電図	2,159	植込み型除細動器手術	29
経胸壁心エコー	12,566	心臓再同期療法手術	17
経食道心エコー	328	カテーテルアブレーション	273
冠動脈造影検査	589	経カテーテル的心房中隔欠損閉鎖術（動脈管開存閉鎖術、卵円孔開存閉鎖術を含む）	65
心筋血流シンチ	521	Mitraclip	34
肺血流シンチ	71		
冠動脈CT	1,868		

消化器内科

1 概要

消化器内科では食道、胃、十二指腸、小腸、大腸などの消化管や、肝臓、胆道、膵臓におきる消化器疾患を対象に一般・消化器外科、腫瘍センター、内視鏡センター、免疫統括医療センター、アレルギーセンター、放射線診断科、病理診断科などとともに消化器クラスターとして総合的に診断と治療を行っております。

消化管、肝臓、膵臓疾患などのそれぞれの分野でも腫瘍、免疫、機能、内分泌、炎症などの多岐にわたる病態をカバーするそれぞれの専門医がおり、高いレベルの医療を提供しています。また横のつながりも強く、複数の消化器疾患を有する患者さんに対しても、速やかに診療をおこなえるようにしています。

2 対象疾患

<食道疾患>

逆流性食道炎／食道癌／好酸球性食道炎（EoE）／食道アカシア／食道けいれん／機能性胸焼け

<胃・十二指腸疾患>

ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎／急性胃粘膜病変（AGML）／胃潰瘍／胃腺腫／胃癌／胃粘膜下腫瘍／機能性ディスペプシア（FD）／好酸／球性胃腸症／十二指腸潰瘍／十二指腸腺腫／十二指腸癌／十二指腸／乳頭部腫瘍／オッディ括約筋弛緩不全／消化管粘膜下腫瘍／特発性胃不全麻痺／蛋白漏出性胃腸症

<小腸・大腸疾患>

大腸ポリープ／大腸腺腫／大腸癌／大腸ポリポシス／潰瘍性大腸炎（UC）／クローン病／腸管ベッチェット／好酸球性胃腸症／過敏性腸症候群（IBS）／腸閉塞（イレウス）／小腸癌／非特異性多発性小腸潰瘍／腸結核／出血性大腸炎／虚血性腸炎／大腸憩室炎／便秘症

<肝疾患>

肝機能障害／ウイルス性肝炎／非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）／肝硬変／肝細胞癌／薬剤性肝障害／自己免疫性肝炎（AIH）／原発性硬化性胆管炎（PSC）／原発性胆汁性肝硬変（PBC）／肝膿瘍／肝移植

<胆膵疾患>

総胆管結石／胆管炎／胆管癌／IgG4 関連胆管炎／原発性硬化性胆管炎／胆嚢ポリープ／胆石症／胆嚢腺筋症／胆嚢腫瘍／急性膵炎（重症膵炎含めて）／慢性膵炎／膵癌／膵内分泌腫瘍／膵嚢胞性疾患（IPMN、MCN、SCN）／自己免疫性膵炎

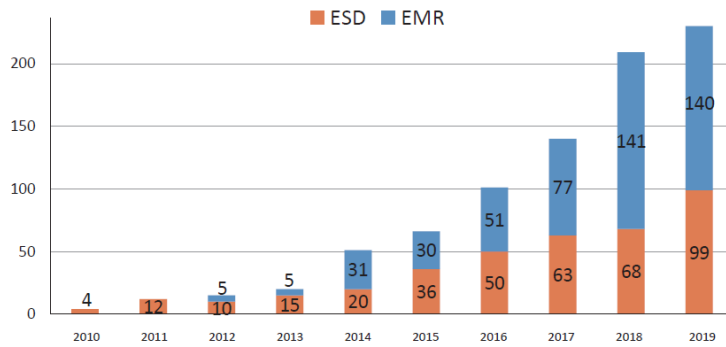
<その他腫瘍性疾患>

消化管間葉系腫瘍（GIST）／消化管悪性リンパ腫／MALT リンパ腫／粘膜下腫瘍／原発不明癌／軟部組織肉腫肝細胞癌／膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）／神経内分泌腫瘍（NET・NEC）

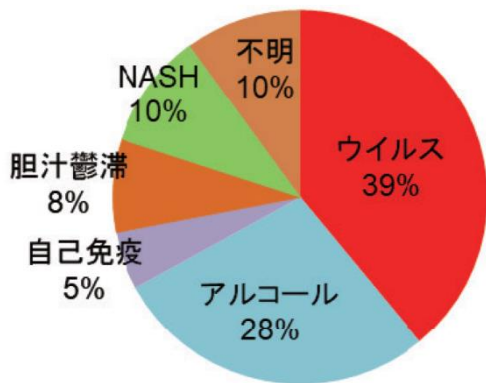
3 検査

上部消化管内視鏡／下部消化管内視鏡（大腸内視鏡）／膵胆道内視鏡（ERCP）／小腸内視鏡（バルーン小腸内視鏡、カプセル内視鏡）／超音波内視鏡（EUS）／EUS を用いた消化管外臓器腫瘍の針生検（EUS-FNA）／腹部超音波／腹部 CT／腹部 MRI／CT コロノグラフィー／MR エンテログラフィー／上部消化管 X 線造影 注腸造影検査／小腸造影／尿素呼気試験／食道 pH インピーダンスモニタリング／食道内圧測定／肝生検

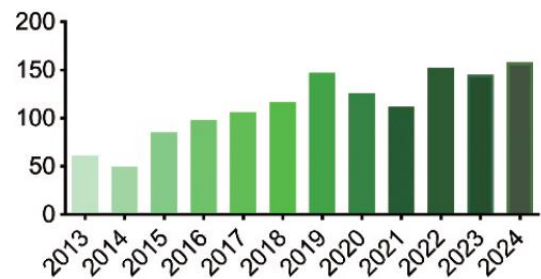
4 実績



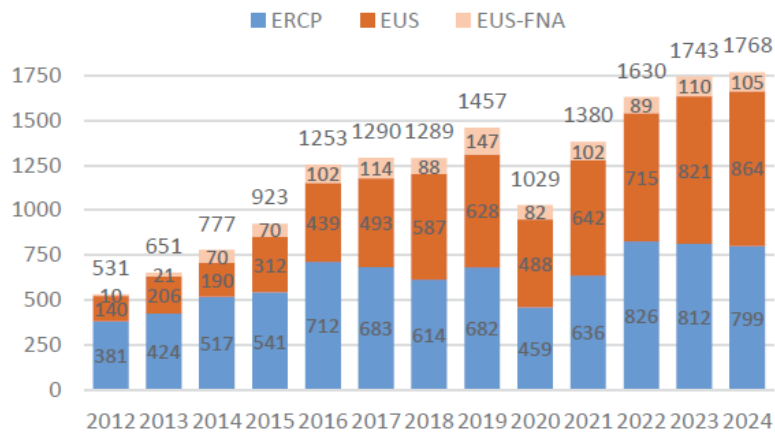
十二指腸内視鏡治療件数の推移



慶應義塾大学病院における肝硬変成因



年度別 肝癌局所療法件数



慶應義塾大学病院における胆膵内視鏡検査の推移

腎臓・内分泌・代謝内科

1 概要

慶應義塾大学病院の腎臓・内分泌・代謝内科は、腎臓部門、内分泌代謝部門という大きく2つの領域を包括する内科です。糖尿病、脂質異常、肥満、ホルモン異常などの内分泌代謝疾患と、高血圧、腎臓病は、病態の関連性が非常に強く、私達は連携して診療にあたることにより、病態のより深い理解と専門性の高い医療を目指しております。これらの疾患は、慢性的に進行する性質を持つものが多く、長期にわたるケアを要するものであることから、それぞれの患者さんの背景や人生に寄り添った最善の医療を目指して参ります。

2 対象疾患

<腎臓部門>

急性腎障害（AKI）／慢性腎臓病（CKD）／腎炎症候群／ネフローゼ／症候群／蛋白尿／血尿／電解質異常／酸塩基平衡異常／高血圧／遺伝性腎疾患（多発性嚢胞腎、アルポート症候群、ファブリー病、ミトコンドリア病など）／腎不全（腎代替療法を含む）／シャント不全

<代謝部門>

1型糖尿病／2型糖尿病／妊娠糖尿病／高尿酸血症／脂質異常症

<内分泌部門>

副腎疾患（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、バラガングリオーマなど）／下垂体疾患（下垂体腫瘍、下垂体機能低下症など）／甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍など）／原発性副甲状腺機能亢進症／膵内分泌腫瘍（インスリノーマ、ガストリノーマ、グルカゴノーマなど）

3 検査

<腎臓部門>

腎生検／シャントエコー／腎ドップラーエコー／下肢静脈エコー／ABPM（24時間自由行動下血圧測定）／DEXA（体組成計測）／PET（腹膜平衡機能検査）／CT・MR（I 腎容積測定を含む）

<代謝部門>

75g ブドウ糖負荷試験／持続血糖モニタリング／RR 間隔検査（心拍数変動検査）○AB（I Ankle Brachial Pressure Index）検査／PWV（Pulse Wave Velocity, 脈波伝播速度）／頸動脈エコー／グルコースクランプ検査／CGM（Continuous Glucose Monitoring デックスコム G7）

<内分泌部門>

ホルモン検査／副腎静脈サンプリング（AVS）／甲状腺穿刺吸引細胞診／選択的動脈内 Ca 刺激下サンプリング検査（SACI）

4 実績

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
腎生検	53 症例	39 症例	40 症例	80 症例

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
バルーン拡張	215 症例	199 症例	216 症例	222 症例
長期留置型 カテーテル	10 症例	13 症例	9 症例	8 症例

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
甲状腺穿刺吸引細胞診	183 症例	168 症例	140 症例	148 症例

神経内科

1 概要

神経内科では、中枢神経（大脳・小脳・脊髄）、末梢神経（運動・感覚・自律神経）、筋肉を障害する様々な疾患を診療します。体の動きや感覚の異常、認知機能障害などが疑われる際には神経内科疾患の可能性があります。気分の変化や精神的な問題との鑑別が重要になりますが、当科では“神経診察”によって神経系の器質的疾患の有無を確認後、精密検査、内科的治療の方針を決定します。

2 対象疾患

脳血管障害（脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、くも膜下出血、ウィリス動脈輪閉塞症、頸動脈狭窄、頭蓋内動脈狭窄）／パーキンソン病／進行性核上性麻痺／多系統萎縮症（脊髄小脳変性症）／その他の運動障害／晩発性小脳皮質萎縮症／遺伝性小脳失調症（SCA1, SCA2, SCA3, SCA6）／アルツハイマー病／レビー小体型認知症／前頭側頭葉型認知症／クロイツフェルト・ヤコブ病／その他の認知症／重症筋無力症／多発筋炎／進行性筋ジストロフィー／筋強直性ジストロフィー／その他の筋疾患／多発ニューロパチー／ギラン・バレー症候群／フィッシャー症候群／シャルコー・マリー・トゥース病／緊張型頭痛／片頭痛／群発頭痛／髄膜炎／脳炎／肥厚性硬膜炎／その他の神経感染症／多発性硬化症／急性散在性脳脊髄炎／進行性多巣性白質脳症／副腎白質ジストロフィー／てんかん／筋萎縮性側索硬化症／痙攣性対麻痺／脊髄性進行性筋萎縮症／ハンチントン病／ウィルソン病／ミトコンドリア脳筋症／その他の遺伝性神経疾患／顔面神経麻痺／動眼神経麻痺／滑車神経麻痺／外転神経麻痺／その他の脳神経麻痺／顔面痙攣／眼瞼痙攣／痙攣性斜頸／書痙／本態性振戦／周期性四肢麻痺／脊髄空洞症／平山病／三叉神経痛

3 検査

脳・脊髄 MRI／頭部 CT／頸動脈エコー／骨格筋 CT・MRI／脳波／脳血流 SPECT／脳血管造影／MIBG 心筋シンチ／DAT スキャン／PET／腰椎穿刺（脳脊髄液検査）／筋電図／筋生検

血液内科

1 概要

血液内科では、健康診断で指摘された白血球・赤血球・血小板数の異常値や異常細胞の出現、リンパ節の腫脹、血液凝固の異常などから血液疾患が疑われた方だけでなく、かかりつけの医療機関で血液疾患（鉄欠乏性貧血、特発性血小板減少性紫斑病などの良性疾患や、白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器腫瘍）と診断された方を対象として幅広く診療を行っています。また、造血幹細胞移植の累計は約 1,600 件となり、国内有数の移植施設となっています。

2 対象疾患

急性骨髄性白血病／急性リンパ性白血病／慢性骨髄性白血病／慢性リンパ性白血病／骨髄異形成症候群／真性赤血球増加症／本態性血小板血症／骨髄線維症／悪性リンパ腫／多発性骨髄腫／キャッスルマン病／再生不良性貧血／発作性夜間ヘモグロビン尿症／鉄欠乏性貧血／特発性血小板減少性紫斑病／POEMS 症候群／成人 T 細胞白血病リンパ腫／骨髄増殖性腫瘍／自己免疫性溶血性貧血／血友病／凝固因子欠乏症／血球貪食症候群

<次のような症状を扱っております>

白血球が多い・少ない、赤血球が多い・少ない、血小板が多い・少ない、リンパ節の腫大、脾臓の腫大、出血しやすい、血が止まりにくい、連日著明な寝汗をかく、造血幹細胞移植や CAR-T 細胞療法が必要と言われた

3 検査

骨髄検査／HLA タイピング／リンパ節生検／CT・エコーガイド下生検

4 実績

当科では、造血器悪性腫瘍に対する化学療法はもちろんのこと、適応症例には造血幹細胞移植を積極的に行っています。特に 1984 年から開始した同種造血幹細胞移植は、累計で 900 件を超えており、良好な治療成績をあげています。また、当科では血液疾患もしくはその疑いのある方について幅広くご紹介を受けつけており、1 年間にご紹介いただく初診患者さんはおおよそ 300 名にのぼります。

	2022年	2023年	2024年	累計
同種造血幹細胞移植件数	35	40	41	977
自家造血幹細胞移植件数	18	23	16	624
CAR-T細胞療法件数	31	43	70	
入院化学療法件数	約1,927件/年			
外来化学療法件数	約3,682件/年			

リウマチ・膠原病内科

1 概要

リウマチ・膠原病内科は、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、強皮症、血管炎、シェーグレン症候群などのリウマチ・膠原病全般を主な診療対象としています。20名の経験豊かな日本リウマチ学会認定リウマチ専門医が診療に従事しております。エビデンスに基づいて、個々の患者さんの症状、合併症、社会的背景に応じて治療方針をたてています。患者さんへの思いやり、礼と誠意を重んじ、患者さんを病気としてではなく、病気や障害を抱えながら家庭や社会とのかかわりの中に生きる人間(ひと)としてとらえる全人的な医療を心がけ、日々診療に当たっております。

2 対象疾患

関節リウマチ／全身性エリテマトーデス／全身性強皮症／多発性筋炎／皮膚筋炎／混合性結合組織病／シェーグレン症候群／顕微鏡的多発血管炎／結節性多発動脈炎／高安動脈炎／巨細胞性動脈炎／リウマチ性多発筋痛症（PMR; polymyalgia rheumatica）／成人発症スティール病（AOSD； adult-onset Still's disease）／乾癬性関節炎／強直性脊椎炎／ベーチェット病／IgG4関連疾患／痛風／偽痛風／若年性特発性関節炎（若年性関節リウマチ）／再発性多発軟骨炎／RS3PE 症候群／回帰性リウマチ／サルコイドーシス／抗リン脂質抗体症候群／悪性関節リウマチ／多発血管炎性肉芽腫症（旧名 ウェゲナー肉芽腫症）／好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（旧名 チャーグ・シュトラウス症候群）／アレルギー性肉芽腫性血管炎／IgA 血管炎（旧名 ヘノッホ-シェーンライン紫斑病）／クリオグロブリン血管炎／過敏性血管炎／コーガン症候群／反応性関節炎／炎症性腸疾患に伴う関節炎／SAPHO 症候群／自己炎症性疾患／びまん性筋膜炎（好酸球性筋膜炎）／フェルティ症候群／カプラン症候群／リウマチ熱／骨粗鬆症／アミロイドーシス

3 検査

関節超音波検査／関節穿刺検査／関節 MRI／骨シンチグラフィー／ガリウムシンチグラフィー／腎生検／レーザー血流計・サーモグラフィ／筋生検／キャピラロスコピー

近年は関節リウマチなどの関節疾患において、関節超音波検査を使用することが多くなってまいりました。当科では最新の関節超音波機器を用いて、担当医師が診断や治療効果判定を行っております。

週 4 日の関節エコー検査日を設定し、必要な患者に速やかにエコー検査が行える体制を整えております。

4 実績

2021 年度の診療実績として外来患者数は約 7,000 名、入院 224 名であり単科のリウマチ科としては国内随一の臨床規模となっています。

2017 年より APLAR CoE（アジア太平洋リウマチ学会認定リウマチ診療研究施設）に認定されました（国内で 2 施設目）。

小児科

1 概要

私たちはすべての子どもたちの健康で幸せな人生のために、周産期・小児医療センターの一員として、全人的な医療を提供します。内科の各専門に対応する分野（神経・内分泌・代謝・腎臓・循環器・血液腫瘍・呼吸器・感染・免疫アレルギー・精神保健・総合診療・集中治療）に加え、小児に特有な分野（新生児・思春期医学・臨床遺伝）の診療を行っています。これらの専門チームが、周産期・小児医療センターに属する他の診療科と密に連携して、お子さんが病気を克服し、社会人として幸せな人生を手に入れることができるよう、成育医療の理念のもと、診療にあたっております。

2 対象疾患

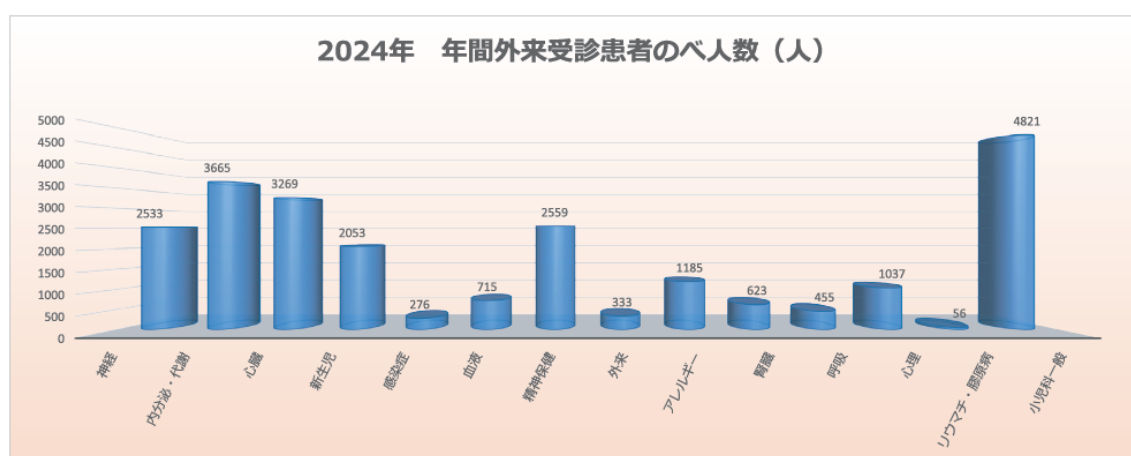
- 神経：けいれん、てんかん、発達遅滞、頭痛、神経痛、中枢神経系の感染症、脳血管障害、末梢神経疾患、筋疾患、発達障害（神経発達症）、母斑症を含む遺伝性神経疾患
- 内分泌・代謝：低身長、高身長、性分化疾患、原発性無月経、小陰茎、停留精巣、尿道下裂、ターナー症候群、クラインフェルター症候群、先天性骨疾患、先天性代謝異常、小児生活習慣病
- 遺伝性疾患：先天異常症候群、未診断疾患
- 精神保健：神経性食欲不振症、神経症、心身症、小児期うつ病、統合失調症、虐待・育児不安・心的外傷後ストレス障害
- 腎臓：学校検尿異常（血尿、蛋白尿）、腎炎、ネフローゼ、腎不全、先天性腎尿路異常、尿路感染症、尿細管疾患、水腎症、嚢胞性腎疾患、高血圧、夜尿症、全身性エリテマトーデス
- 新生児：早産児、低出生体重児、合併症のある新生児
- 心臓：先天性心疾患、後天性心疾患、不整脈、肺動脈性肺高血圧症、川崎病
- 血液：白血病、リンパ腫、神経芽腫、骨肉腫、横紋筋肉腫、ユーイング肉腫、肝芽腫、再生不良性貧血、血小板減少性紫斑病、血友病 A/血友病 B、脳腫瘍
- 呼吸：長引く咳嗽、反復性肺炎、気管支喘息、先天性喘鳴、閉塞性睡眠時無呼吸、気管狭窄・軟化症、先天性嚢胞性肺疾患、間質性肺疾患、特発性肺ヘモジデローシス、慢性呼吸不全
- 感染：不明熱・重症感染症や COVID-19 感染症を含めた感染症コンサルト、肝移植前後のワクチン接種、各種感染症対策
- 外来総合：便秘、夜尿等の日常的な健康問題、思春期の健康問題、予防接種・成長・発達・育児・集団生活等に関する相談
- アレルギー：食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー疾患全般
- リウマチ・膠原病：若年性特発性関節炎、若年性皮膚筋炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病、血管炎、周期性発熱症候群
- 急性期集中治療：呼吸・循環・神経等主要臓器の機能不全がある、または起こる可能性が高い患者（原因疾患を問わず）

3 検査・治療

- 神経チーム：長時間ビデオ脳波、頭部画像検査
- 内分泌・代謝チーム：性の決定・分化に関与する疾患および小児副腎疾患を含む小児期発症内分泌疾患の遺伝子解析および各種内分泌負荷試験
- 遺伝チーム：エクソーム解析・全ゲノム解析・RNA 解析を含む各種遺伝学的検査

- 精神保健チーム：発達検査、知能検査
- 腎臓チーム：腎生検、核医学検査、透析、血漿交換
- 心臓チーム：心エコー検査（出生前を含む）、心臓カテーテル検査（年間検査約 100 件、うち治療約 20 件）、心臓電気生理学検査、運動負荷試験、心臓 MRI 検査、心臓核医学検査
- 呼吸チーム：胸部の X 線・CT・超音波検査、喉頭・気管支内視鏡検査、気管支肺胞洗浄、肺機能検査、睡眠時無呼吸検査、肺換気血流シンチグラフィ
- アレルギーチーム：食物負荷試験、皮膚検査
- 集中治療チーム：超音波検査、CT 検査、MRI 検査、喉頭・気管支内視鏡検査、ビデオ脳波検査など（他チームと連携して実施）

4 実績



精神・神経科

1 概要

精神神経科では、気分障害・統合失調症・不安障害・摂食障害・睡眠障害・認知症・脳器質疾患・てんかん・発達障害、など全ての精神・神経疾患の診断・治療を行っています。診断のため、血液検査・画像検査だけでなく、さまざまな心理検査・神経心理学的検査を受けることも可能です。実績に示したとおり気分障害・神経症の初診患者さんが多いですが、全ての領域の精神疾患患者さんが来院されています。また電気けいれん療法や精神疾患に伴う身体合併症の管理・治療のための入院を目的として外来受診される方もおられます。

2 対象疾患

気分障害（うつ病、双極性障害）／統合失調症／不安障害（社会恐怖や特定の恐怖症などの恐怖症、全般性不安障害、パニック障害、強迫性障害、外傷後ストレス障害（PTSD）、急性ストレス障害／発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症など）／心身症・身体表現性障害・自律神経失調症／摂食障害（神経性やせ症、神経性過食症）／睡眠障害（不眠症、過眠症、睡眠・覚醒リズム障害など）／身体疾患に伴う精神的問題／てんかん／物質関連障害／思春期・青年期精神障害／認知症／せん妄／老年期精神障害／器質性精神障害／家庭・学校・職場のメンタルへ

ルス／高次脳機能障害／頭部外傷後遺症／脳器質疾患

3 検査

一般血液検査／心理検査／神経心理学的検査（認知機能検査）／頭部 MRI、頭部 CT 検査／脳波検査／光トポグラフィー検査／脳血流シンチ検査

4 実績

外来初診件数	1,422件
外来再診件数	35,207件

(2024年1月1日から12月31日まで)

一般・消化器外科

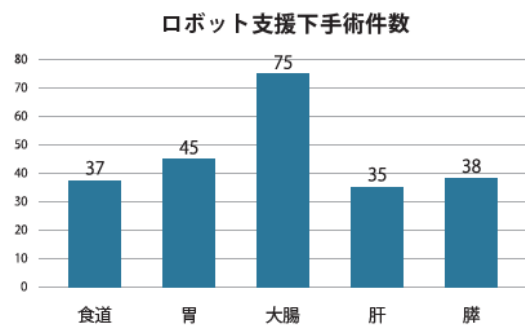
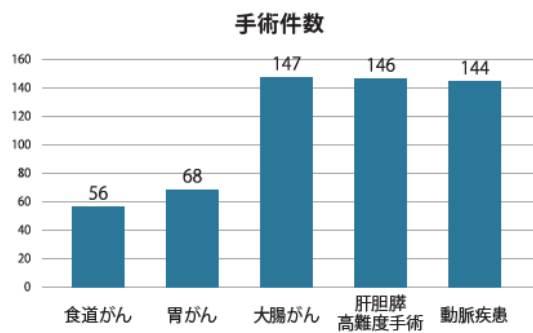
1 概要

一般・消化器外科では、食道、胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓、乳腺、血管に対する外科治療を中心にを行います。良性疾患から悪性疾患まで一般・消化器外科領域全ての疾患に対応しています。ロボット支援を含めた、腹腔鏡や胸腔鏡を用いた低侵襲治療やセンチネルナビゲーションサージェリーなどの先進技術を用いた治療を積極的に取り入れています。同じ教室内にそれぞれ臓器のスペシャリストがいるため、多臓器に関わる疾患に対しても疾患ごとにチームを組んで患者さんに合わせた偏りのないオールラウンドな対応が可能な組織であることが特徴です。

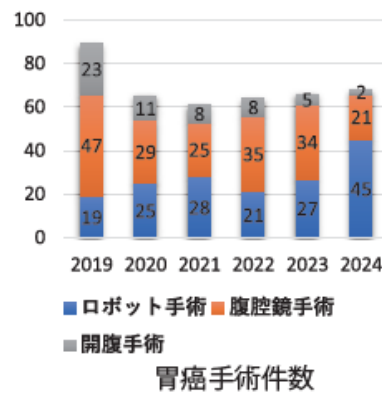
2 対象疾患

- 上部消化管班：胃癌、食道癌、逆流性食道炎、食道アカラシア、胃悪性リンパ腫、胃 GIST、その他の胃粘膜下腫瘍、難治胃・十二指腸潰瘍など
- 大腸班：大腸癌（結腸、直腸、肛門の癌）、大腸ポリープ、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病など）、肛門疾患（痔核、痔瘻、裂肛）など
- 肝胆膵・移植班：肝癌（肝細胞癌、転移性肝癌）、胆道癌（肝門部胆管癌、胆嚢癌、遠位胆管癌、乳頭部癌）、膵癌（浸潤性膵管癌、膵内分泌腫瘍(PNET)、膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)、粘液性嚢胞腫瘍(MCN))、肝移植対象疾患（急性肝不全、肝癌、肝硬変、PBC、PSC、胆道閉鎖症など）、良性疾患（胆石症、総胆管結石、胆嚢炎、肝嚢胞、急性膵炎、慢性膵炎など）
- 血管班：下肢閉塞性動脈硬化症、腹部大動脈瘤、腹部内臓動脈瘤（脾動脈瘤、腎動脈瘤など）、糖尿病性足病変、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症など

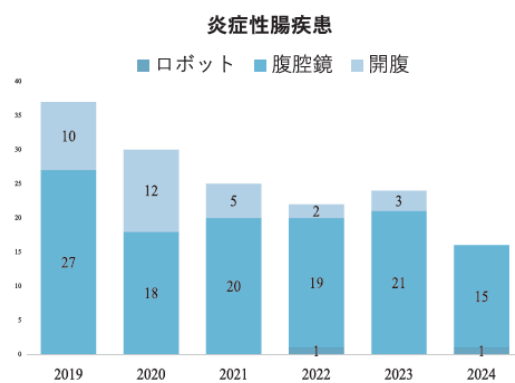
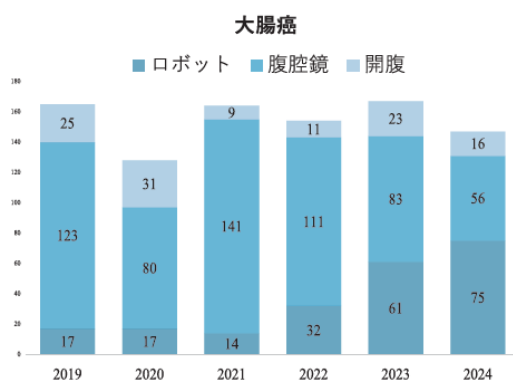
3 実績 (2024 年)



○上部消化管班

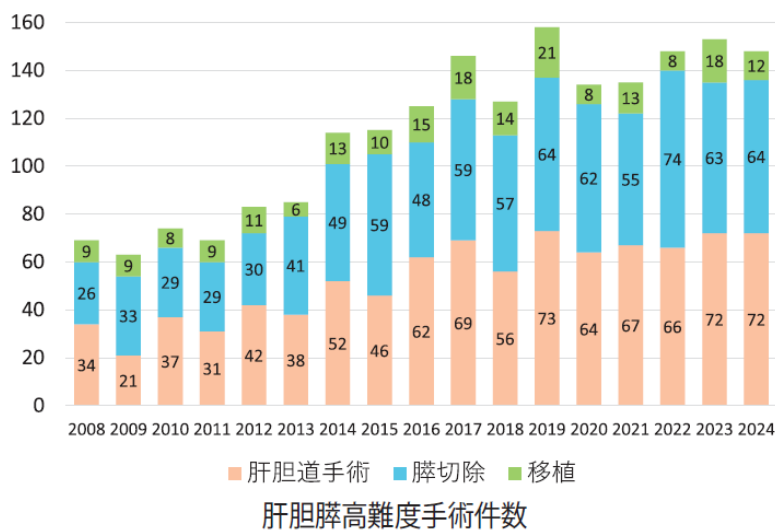


○大腸班

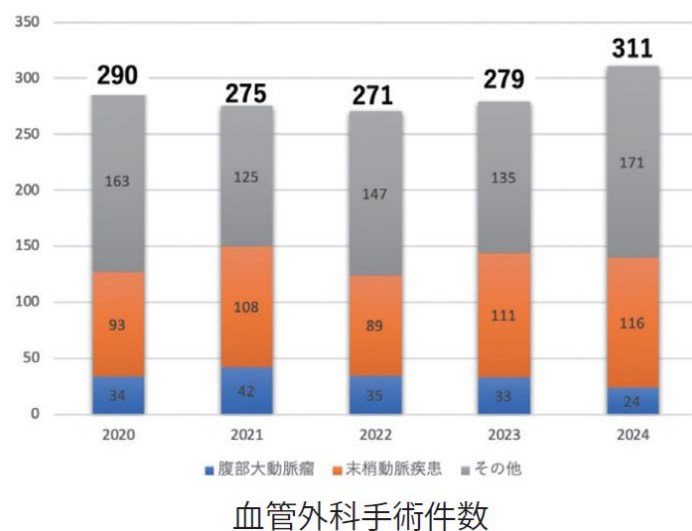


診療実績

○肝胆膵・移植班



○血管班



呼吸器外科

1 概要

「安全」で「確実」な手術を提供すること、それが慶應義塾大学病院呼吸器外科のモットーです。当科では他院で手術不能とされたような高難度の呼吸器外科手術を数多く手がけていますが、標準手術である肺葉切除は通常、胸腔鏡（内視鏡）の併用、あるいはロボット支援下に体に負担の少ない低侵襲手術を行っています。

2 対象疾患

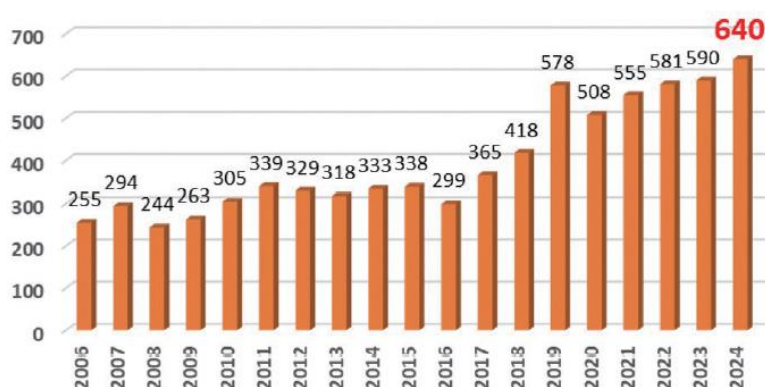
肺癌／転移性肺腫瘍／縦隔腫瘍／自然気胸（嚢胞性肺疾患）／漏斗胸／胸膜中皮腫／良性肺腫瘍

／甲状腺腫瘍／重症筋無力症／肺結核／肺非定型抗酸菌症／膿胸／胸部外傷／胸壁腫瘍／横隔膜疾患／その他のあらゆる呼吸器外科疾患

3 実績

慶應義塾大学病院呼吸器外科では、2000 年以降、年間 300 前後という多数の呼吸器外科手術を行ってきました。さらに近年、医療連携強化の結果、手術件数が大幅な増加傾向にあります。

手術件数の推移



心臓血管外科

1 概要

心臓血管外科では大動脈疾患、後天性疾患(冠動脈疾患、心臓弁膜症、不整脈)、先天性心疾患等を対象に外科的治療を行なっています。3 分野をバランス良く発展してきた伝統のある教室です。最近では低侵襲心臓手術(MICS)、大動脈ステントグラフト、ハイブリッド手術など低侵襲先進医療の分野においても世界トップレベルの手術数と治療成績を誇り、心臓血管外科治療のパラダイムシフトを牽引しています。心臓血管外科専門医認定機構が認定した心臓血管外科専門医が 6 名常勤し 24 時間体制で緊急手術にも対応しています。

2 対象疾患

胸部大動脈瘤／腹部大動脈瘤／急性大動脈解離／解離性大動脈瘤／大動脈弁輪拡張症／狭心症／心筋梗塞／心筋梗塞後合併症(左室破裂、心室中隔穿孔、乳頭筋断裂など)／大動脈弁狭窄症／大動脈弁閉鎖不全症／僧帽弁狭窄症／僧帽弁閉鎖不全症／三尖弁閉鎖不全症／肺動脈性肺高血圧症／心臓腫瘍／心房中隔欠損症／心室中隔欠損症／動脈管開存症／大動脈縮窄症、など代表的疾患のみ記載

3 実績

実績(2024年)	件数
大動脈手術	156件
弁膜症手術	86件
TAVI	234件
虚血性心疾患手術	26件
先天性心疾患手術	81件
その他	25件

小児外科

1 概要

小児外科では、鼠径ヘルニアなどのよく見られる疾患から高度な処置や手術が必要な稀な疾患まで多岐に渡り、また小児患者を中心として出生前診断された胎児や新生児から、疾患によっては成人まで幅広く診療しています。

私達慶應小児外科チームは日本の小児外科の先駆けとして発足して以来、常に最先端の医学知識と技術を追求し小児外科医療をリードしてきました。患者さんの安心と安全をもたらす日常診療に還元することが重要ですが、私達は特に治療が難しくお困りの患者さんについて最先端の医療を誇る各診療科とも連携し何か解決策を見つけるべくチャレンジすることをモットーとしています。そして、ただ病気を治すだけでなく、治療後の生活や、そして遠い将来のことまで深く考慮した治療を心がけ、皆様が十分ご納得しご満足いただけることを目標に、誇りをもって日々の診療に力を注いでおります。

2 対象疾患

小児の脳神経・心臓・骨以外全ての部位臓器を対象とします。

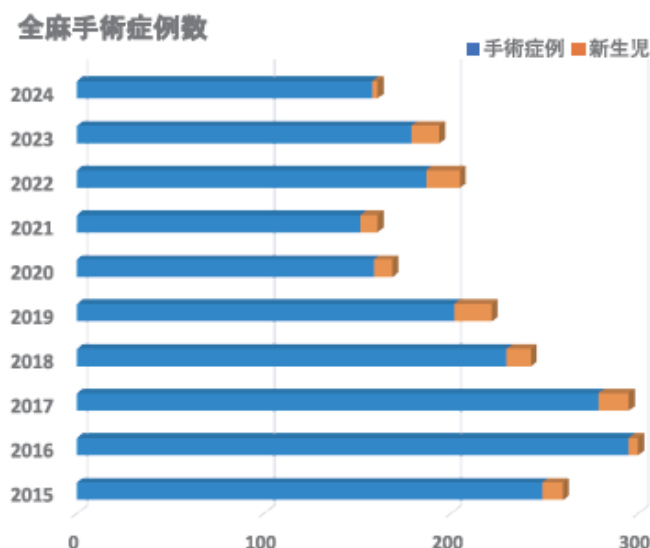
先天性食道閉鎖症／食道アカラシア／胃食道逆流症／肥厚性幽門狭窄症／十二指腸閉鎖・狭窄症／腸閉鎖症／腸回転異常症（中腸軸捻転症）／重複腸管／メッケル憩室／臍腸管遺残／ヒルシュスプルング病／ヒルシュスプルング病類縁疾患／鎖肛（直腸肛門奇形）／総排泄腔遺残症／急性虫垂炎／腸重積症／便秘症／腸管不全（短腸症候群など）／胆道閉鎖症／（先天性）胆道拡張症（総胆管拡張症／総胆管嚢腫）／門脈大循環シャント／肝臓移植・小腸移植／先天性肺気道奇形（CCAM、CPAM）／気胸／先天性横隔膜ヘルニア／鼠径ヘルニア／臍ヘルニア／臍帯ヘルニア・腹壁破裂／陰嚢水腫／停留精巣／尿管遺残／包茎／漏斗胸／血管腫・血管奇形／リンパ管疾患（リンパ管腫〈リンパ管奇形〉、リンパ管腫症、クリッペルトレノエー症候群など）／小児悪性固形腫瘍（神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、横紋筋肉腫、胚細胞腫瘍など）／その他小児固形腫瘍（卵巣嚢腫、脂肪腫など）／小児の顔面・頸部疾患（正中頸嚢胞・側頸瘻、梨状窩瘻など）／異物誤飲 など

3 検査

直腸肛門反射／食道 pH モニタリング／胃排出時間検査（アセトアミノフェンテスト）／食道内圧検査／上部消化管内圧検査／下部消化管内圧検査（肛門管内圧検査、HAPC 測定）／直腸粘膜

生検／上部消化管（食道・胃・十二指腸）内視鏡／小腸内視鏡／大腸内視鏡／消化管造影検査／瘻孔・膿瘍造影検査／超音波検査／CT／MRI／シンチグラフィ（胆道・肝・リンパ管・肺など）／リンパ管腫（リンパ管奇形）の検査

4 実績



脳神経外科

1 概要

脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷・機能的疾患・先天性脳疾患など、脳や脊髄の疾患を対象に関連診療科とも連携しながら、外科的治療を中心に、診断・予防にいたる幅広い診療を行っています。他院では難治性だと診断された複雑な病変や、高難度の疾患であっても、最新の画像機器や術中モニターを併用しながら、従来の開頭手術のみならず内視鏡頭蓋底外科や血管内治療などの先駆的な技術を用いて安全で確実な治療を行っています。悪性脳腫瘍に対しては、機能を温存しながら最大限の摘出を行ったうえで、化学療法、放射線療法を含めた集学的な治療を行い、症例に応じて免疫療法なども施行しております。また、小児特有の疾患にも豊富な診療経験を持った専門医が対応しております。加えて、大学病院の使命であるさらなる医療水準の向上を目指し、基礎ならびに臨床研究および優れた後進の育成に従事し、脳神経外科学の発展をもって国内外に向けた世界的貢献を目指します。

2 対象疾患

<脳腫瘍>

髄膜腫／神経鞘腫／神経膠腫（グリオーマ）／下垂体腺腫／転移性脳腫瘍／脳原発悪性リンパ腫／血管芽腫／血管周皮腫／脊索腫／軟骨肉腫／類上皮腫／類皮腫／髄芽腫／上衣腫／胚細胞腫瘍／頭蓋咽頭腫／頭蓋骨腫瘍

<脳血管障害>

脳動脈瘤／脳動静脈奇形／硬膜動静脈瘻／海綿状血管腫／もやもや病／頸動脈狭窄／脳動脈狭

窄・閉塞症／頭頸部脊髄血管奇形／くも膜下出血／脳出血／脳梗塞
 <機能的疾患>
 三叉神経痛／顔面けいれん／パーキンソン病／本態性振戦／ジストニア／正常圧水頭症
 <先天性疾患>
 キアリ奇形／水頭症／二分脊椎／二分頭蓋／くも膜のう胞／脊髄髄膜瘤／脊髄脂肪腫／脊髄空洞症／脊髄係留症候群／頭蓋骨縫合早期癒合症
 <頭部外傷>
 慢性硬膜下血腫／急性硬膜下血腫／急性硬膜外血腫
 <遺伝性疾患>
 神経線維腫症／Von Hippel-Lindau 病／遺伝性出血性末梢血管拡張症

3 検査

頭部レントゲン／CT／MRI／MRA／機能的 MRI／脳・脊髄血管撮影／CT アンギオ／頸動脈エコー／脳血流検査／SPECT／PET／脳波検査／誘発電位検査／血液検査／ホルモン検査／神経膠腫の遺伝子解析

4 実績

2024年 手術実績	件数
脳神経外科 手術総数	493
脳腫瘍摘出術（髄膜腫、神経膠腫、下垂体腫瘍等） 総数	177
（広範囲頭蓋底腫瘍摘出術）	10
（経鼻内視鏡手術）	45
脳血管障害 開頭手術（クリッピング、バイパス、頸動脈内膜剥離術等）	18
脳血管障害 脳血管内手術	104
機能的手術	17
小児脳神経外科手術（15歳以下、脳脊髄腫瘍、二分脊椎等）	59

整形外科

1 概要

整形外科では「骨・関節・靱帯・筋肉さらには脊椎・脊髄・末梢神経を含む、運動器官」に関する治療を行っています。世界的に類を見ない高齢化が進んでいる我が国において、運動器疾患の治療は社会的にも重要性を増しています。当院の整形外科は、4つの臨床グループ（脊椎・脊髄、上肢、下肢、腫瘍）からなり、一般のクリニック・病院では治療が難しい疾患・腫瘍や手術症例などを中心に診療し、特定機能病院の一翼を担っています。

2 対象疾患

○脊椎脊髄外科：脊髄腫瘍、脊椎腫瘍、脊椎後弯症、側弯症、椎間板ヘルニア（頸椎・胸椎・腰

椎）、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、後縦靱帯骨化症（OPLL）、頸椎症性脊髄症、脊椎炎など

- 肩関節：反復性肩関節脱臼、腱板損傷、変形性肩関節症、野球肩、上肢の脱臼・骨折など
- 手肘の外科：上肢スポーツ障害、関節リウマチ、変形性肘関節症、末梢神経障害、胸郭出口症候群、テニス肘、ゴルフ肘、野球肘、上肢の脱臼・骨折、腱損傷と靱帯損傷、手の先天性奇形など
- 股関節：変形性股関節症、急速破壊型股関節症、股関節唇損傷、骨盤骨折、大腿骨近位部骨折、関節リウマチなど
- 膝関節：変形性膝関節症、膝靱帯・半月板損傷、骨壊死、反復性膝蓋骨脱臼、下肢骨折、関節リウマチなど
- 腫瘍：骨軟部腫瘍（悪性・良性）（原発性・転移性）など

3 検査

骨塩定量検査（BMD；Bone Mineral Density）／椎間板造影・椎間板ブロック／神経根造影・神経根ブロック／関節造影検査／脊髄造影／CT／MRI／PET/CT

4 実績

2024年	
脊椎脊髄	837件
上肢(肩、肘、手)	525件
下肢(股関節、膝関節)	598件
腫瘍(骨腫瘍、軟部腫瘍)	316件
合計	2,276件

形成外科

1 概要

形成外科は、主に外から見える形態の異常を、手術で正常に近づける治療を行っています。体表の先天異常、悪性腫瘍切除後の組織欠損、外傷による変形や欠損などを治療しています。また、傷をきれいに治す、治り難い傷を治す治療も行っています。最新の皮弁やマイクロサージャリーによる再建、口唇・口蓋裂や頭蓋顎顔面の骨変形に対するチームアプローチ、人工物を用いた乳房や顔面骨の再建、巨大色素性母斑に対する治療、血管奇形の硬化療法、ケロイドや傷あとを目立たなくする治療、眼瞼下垂、リンパ浮腫に対する集学的治療など、幅広い疾患に対して一流の治療を提供しています。

2 対象疾患

きずあと・ケロイド・瘢痕拘縮／褥瘡・難治性潰瘍／顎顔面の変形／口唇口蓋裂／頭蓋縫合早期癒合症／眼瞼下垂／耳介の形態異常／外鼻変形／顔面の外傷や骨折／顔面神経麻痺／頭頸部再建／腫瘍切除後再建／乳房再建／巨大色素性母斑／血管腫・血管奇形／リンパ浮腫／多指症・合指症

3 実績

領域1	手術件数
外傷	43件
先天性疾患	217件
腫瘍	463件
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	85件
難治性潰瘍	45件
炎症・変性疾患	65件
その他	72件

産科

1 概要

産科では、生理でお困りの方、お子さんが欲しいカップルの方、妊娠中の方、お母様やおなかの中のお子様は何らかのご病気をお持ちの方に対して、ご家族に寄り添った形で最良の治療を提供しており、現在・未来の妊娠出産に向けてのトータルサポートを実践しています。周産期分野では、“Fetus as a Patient”として胎児中心の新しい診断・治療を進めております。生殖分野ではリプロダクションセンターにおいて“がん生殖”に加えて、プレコンセプションケアなど新たな分野にチャレンジしております。産科麻酔の専門の医師も加入し、無痛分娩のサポートにも力を入れています。新病院棟での診療開始にともない、妊娠をご希望され、さらに出産を希望されるより多くの皆様にご満足頂ける環境が整いました。患者さんとご家族の「笑顔」のためにスタッフ一同、全力でサポートいたします。

2 対象疾患

月経異常、不妊症、不育症、着床前診断、出生前診断、分娩、そして将来妊娠を考えている方に対する子宮内膜症や子宮筋腫等の治療まで、幅広い分野を対象としております。産科麻酔の専門の医師も加入し、無痛分娩のサポートにも力を入れています。

地域周産期母子医療センターではありますが、内科・外科合併症を有する方のみならず、健康な方の妊娠分娩管理も積極的に受け入れております。

3 検査

不妊症・不育症関連検査／内分泌検査／子宮鏡・子宮卵管造影／超音波・CT/MRI 検査（胎児含む）／出生前診断（NIPT、羊水検査）

4 実績

周産期分野では、ハイリスク妊娠の分娩管理とともに、合併症や危険因子を有しない、いわゆるローリスク妊娠、無痛・和痛分娩にも対応しています。また、NIPT や羊水検査による出生前診断も行っております。生殖分野では人工授精、採卵・体外受精・胚移植、内視鏡手術を中心に不妊症診療を行っております。

2024年実績	
分娩数	821件(うち経膈分娩452件、無痛分娩224件)
セミオープンシステム	81件
母体搬送受け入れ	14件
NIPT	440件
内視鏡手術	70件

婦人科

1 概要

産婦人科は、初潮から妊娠・出産そして老年期の諸疾患にいたるまで、「女性のライフサイクル」におけるあらゆるイベントに関わる診療科です。その中で、婦人科腫瘍や更年期医学などを主に「婦人科」で扱っています。当科では、良性、悪性を問わず治療において、妊孕性温存や腹腔鏡やレーザーといった低侵襲手術を念頭に、治療後の妊娠出産およびQOLの向上を可能とする治療を心がけています。また臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院として最先端の医療の実践も行っています。

2 対象疾患

<婦人科悪性腫瘍>子宮頸がん／子宮体がん／卵巣がん／卵管がん／腹膜がん／絨毛がん／外陰がん／膣がん／その他の悪性腫瘍

<婦人科良性腫瘍>子宮筋腫／卵巣嚢腫

<その他>不正子宮出血／月経困難症／更年期障害／各種感染症／骨盤腹膜炎／クラミジア感染症／子宮内膜症／子宮脱／子宮奇形

3 検査

コルポスコプ診／細胞診／組織診／子宮鏡検査／超音波検査／HPV タイピング／ホルモン検査

4 実績

主な実績	2022年	2023年	2024年
子宮頸部悪性腫瘍(治療件数)	101件	126件	115件
子宮体部悪性腫瘍(治療件数)	124件	123件	134件
卵巣悪性腫瘍(治療件数)	75件	80件	97件
良性疾患(手術件数)	531件	636件	694件

眼科

1 概要

眼科では、ほぼすべての眼疾患に対応できる診療体制を整えております。外来は眼科一般診療、特殊外来を行っています。手術、薬治など必要に応じて入院が行なわれています。病診連携を主軸とし、手術加療後は紹介元の先生と連携を取りながら、患者さんの外来通院負担をできるだけ軽減し、適切な治療をご継続いただいています。また網膜剥離、角膜穿孔、緑内障発作などの緊急疾患には専門医が即時対応するよう心がけております。緊急対応が必要な患者さんのご紹介時には、当科外来宛にまずご一報いただけますと幸いです。

2 対象疾患

屈折異常／白内障／ドライアイ／緑内障／水疱性角膜症／円錐角膜／涙道閉塞症／網膜剥離／糖尿病網膜症／黄斑疾患／流行性角結膜炎／近視（進行抑制）／眼瞼下垂／眼瞼腫瘍／眼窩腫瘍／加齢黄斑変性／アレルギー性結膜炎／眼感染症全般／斜視／弱視／小児先天性疾患

3 検査

視野検査（ハンフリー視野計、ゴールドマン視野計）／OCT（光干渉断層計）検査（前眼部、後眼部）／蛍光眼底造影検査（FAG、ICG）／眼圧検査（非接触型、接触型、アイケア手持眼圧計）／広角眼底写真検査（オプトス社製カリフォルニア）／電気生理検査（VEP、ERG）

4 実績

2024年 外来実績		2024年 手術実績	
初診患者数	3,370人	総件数	3,884件
再診患者数	53,006人		

2024年 分野別手術	
白内障手術	2,134件
眼形成眼窩手術	295件
網膜硝子体手術(硝子体切除術 576件、バックリング 16件)	592件
緑内障手術 (線維柱帯切除術 212件、線維柱帯切開術 47件、 チューブシャント 51件、その他 74件)	608件
角結膜手術(角膜移植 85件、その他 93件)	178件
屈折矯正手術	34件
その他	43件

硝子体注射数	1,769件
--------	--------

皮膚科

1 概要

皮膚科では、皮膚、爪、毛などにあるすべての疾患に対応できるような診療体制を整えております。皮膚科スタッフ一同が協力体制をとり、正確な診断と治療を通じて、最先端の医療を提供できるように努力しております。必要に応じて他科の医師にも相談するなど、連携し医療を提供します。

初診、再診の外来に加えて、専門外来も開設しております。その他、皮膚生検やパッチテスト、日帰りの手術にも対応できるようになっています。重症例に対する入院治療や、悪性腫瘍に対する全身麻酔下の手術療法、天疱瘡・類天疱瘡の初期治療や血漿交換療法、大量ガンマグロブリン静注療法なども行っております。

2 対象疾患

天疱瘡・類天疱瘡・後天性表皮水疱症など／皮膚悪性腫瘍（悪性黒色腫、乳房外パジェット病、有棘細胞癌、メルケル細胞癌、血管肉腫、菌状息肉症、皮膚リンパ腫など）／薬疹／脱毛症／アトピー性皮膚炎／乾癬／皮膚膠原病（皮膚エリテマトーデス、シェーグレン症候群、皮膚筋炎、皮膚血管炎など）／遺伝性皮膚疾患／爪の異常／しみ・あざ／発汗異常

3 検査

皮膚生検／プリックテスト／皮内テスト／パッチテスト／薬剤内服チャレンジテスト／ダーモスコピー検査／光線過敏試験／超音波検査／発汗試験／センチネルリンパ節生検（SPECT）／遺伝学的検査（様々な遺伝性疾患、腫瘍）

4 実績

- 外来患者数（2023 年度）：初診 1,646 人、再診 42,720 人
- 入院患者数（2023 年度）：新入院患者数 419 人
- 手術件数：全身麻酔 69 件、局所麻酔 501 件
- 皮膚悪性腫瘍新規患者数（2020 年度）：
 - 悪性黒色腫 21 名
 - 乳房外パジェット病 19 名
 - 有棘細胞癌 14 名
 - 血管肉腫 8 名
 - 隆起性皮膚線維肉腫 4 名
 - メルケル細胞癌 3 名
- その他：
 - 基底細胞癌
 - ボーエン病
 - 悪性軟骨様汗管腫
 - 菌状息肉症
 - 未分化大細胞性リンパ腫

泌尿器科

1 概要

泌尿器科では、腎癌、尿路上皮癌（腎盂癌、尿管癌、膀胱癌）、前立腺癌、精巣癌などの悪性腫瘍をはじめ、良性疾患として、副腎腫瘍、腎不全（人工透析、腎移植）、尿路感染症、尿路結石、前立腺肥大症、尿失禁、骨盤臓器脱、男性不妊症、男性機能障害、さらに小児の泌尿器疾患や救急疾患（精巣捻転症、外傷）などの診断と治療を行っています。

特に、治療に関しては、患者さんに優しい低侵襲治療として、経尿道的内視鏡手術、腹腔鏡下手術、ロボット支援手術などを積極的に取り入れて、治療成績も良好です。また、転移をともなう癌に対する分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬など新たな薬物療法の実績も国内随一です。

2 対象疾患

腎癌／腎盂癌／尿管癌／膀胱癌／前立腺癌／精巣癌／副腎腫瘍／腎不全（含・腎移植）／尿路感染症／尿路結石／神経因性膀胱／前立腺肥大症／尿失禁／骨盤臓器脱／不妊症／勃起不全／男性更年期障害／先天性水腎症／膀胱尿管逆流／尿道下裂／停留精巣／性分化疾患／総排泄腔遺残／総排泄腔外反／精巣捻転症／尿道外傷 など

3 検査

静脈性尿路造影検査／逆行性腎盂尿管造影検査／排尿時膀胱尿道造影検査／逆行性尿道造影検査／尿流動態検査／膀胱尿道鏡検査／前立腺超音波検査／前立腺針生検

4 実績

主要な手術治療	2022年	2023年	2024年
副腎摘除術(内・ロボット支援手術)	26	28	21(4)
根治的腎摘除術(内・ロボット支援手術)	28	23(3)	26(13)
腎部分切除術(内・ロボット支援手術)	49(46)	51(49)	56(55)
腎移植術	3	8	4
腎盂形成術(内・ロボット支援手術)	20(14)	19(17)	30(23)
尿管膀胱新吻合術	11	17	12
腎尿管全摘除膀胱部分切除術(内・ロボット支援手術)	16	16(6)	12(11)
膀胱全摘除術(内・ロボット支援手術)	7(5)	13(11)	20(15)
経尿道的膀胱腫瘍切除術	150	159	181
前立腺全摘除術(内・ロボット支援手術)	125(125)	108(108)	92(92)
前立腺小線源療法	48	32	31
経尿道的前立腺手術(CVP, WAVE, TURP)	77	100	124
尿失禁防止術(TVI, TOT, 人工括約筋, SNM, ボトックス注入)	13	16	21
骨盤臓器脱手術(内・ロボット支援手術)	5	7(7)	9(9)
尿道形成術	41	55	52
女児外陰形成術	7	3	2
精巣固定術	33	29	21
精巣摘除術	8	4	8
尿路結石手術(ESWL, PNL, TUL)	93	75	50

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

1 概要

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は耳や鼻、のどを中心に、首から上の範囲をカバーする領域科です。脳と脊髄（神経内科や脳神経外科が担当）、眼球（眼科が担当）を除いた頭部および頸部の広い領域を担当します。担当する領域が広いだけでなく、風邪や花粉症、鼻出血、中耳炎、めまいなど、誰もが一度は経験するような疾患の診療（プライマリケア）から、聴力改善手術や頭頸部がんの治療などの専門性の高い診療まで広範な診療内容の特徴としています。

2 対象疾患

中耳炎／耳硬化症／側頭骨腫瘍／聴神経腫瘍／頭頸部がん／唾液腺腫瘍／声帯の病気／めまい／副鼻腔炎／アレルギー性鼻炎／小児耳前瘻孔／小児の顔面・頸部疾患（正中頸嚢胞・側頸嚢、梨状窩瘻）／外耳炎／耳小骨奇形／外耳道閉鎖症／先天性耳瘻孔／耳管狭窄症／耳管開放症／耳鳴症／聴覚過敏／突発性難聴／低音障害型感音難聴／メニエール病／騒音性難聴／機能的難聴／遺伝性難聴／先天性難聴／ムンプス難聴／聴器癌／鼻出血／鼻中隔彎曲症／肥厚性鼻炎／術後性頬嚢嚢胞／嗅覚障害／鼻副鼻腔腫瘍／アデノイド増殖症／扁桃肥大／急性咽頭炎／急性扁桃炎／扁桃周囲炎／習慣性扁桃炎／扁桃周囲膿瘍／急性声帯炎／急性喉頭蓋炎／喉頭浮腫／喉頭蓋嚢胞／喉頭肉芽腫／反回神経麻痺／吃音／痙攣性発声障害／喉頭癌／喉頭白板症／喉頭血管腫／喉頭奇形／喉頭狭窄／喉頭異物／喉頭外傷／嚥下障害／咽喉頭異常感症／上顎癌／舌癌／口腔底癌／上咽頭癌／中咽頭癌／下咽頭癌／原発不明癌頸部転移／甲状腺癌／耳下腺癌／顎下腺癌／頭頸部悪性リンパ腫／副咽頭間隙腫瘍／頸動脈小体腫瘍／頸部神経鞘腫／ガマ腫／外リンパ瘻／前庭神経炎／ベル麻痺／ラムゼイ・ハント症候群／睡眠時無呼吸症候群／喉頭乳頭腫

3 検査

聴覚機能検査／補聴器適合検査／平衡機能検査／電気眼振検査／VEMP／新生児聴覚スクリーニングとその後の精密検査／耳鳴検査／喉頭内視鏡検査と発声機能検査／ABLB テスト／SISI テスト／Beckesy 検査／プロモントリーテスト／心理テスト／補聴器装用テスト／側頭骨 3D-CT／内耳・内耳道 MRI／中耳 MR（I プロペラ法含む）／ENoG／難聴の遺伝子診断／言語発達検査／下咽頭ファイバースコープ／超音波検査／CT／シンチグラム（ガリウム・甲状腺・唾液腺・骨）／穿刺吸引細胞診(cFNA)／頭頸部 MRI・MRA／心理検査／RAST／鼻腔通気度検査

4 実績

2024年度実績(専門医制度の手術区群による分類)	件数
耳科手術	281件
鼻科手術	149件
口腔咽頭喉頭手術	281件
頭頸部手術	336件

歯科・口腔外科

1 概要

歯科・口腔外科では、顎口腔腫瘍・口腔がん・顎変形症・顎骨骨髓炎・薬剤関連顎骨壊死・顎骨再建・顎口腔インプラントなどの口腔外科手術全般、および臨床各科との密接な連携のもと、基礎疾患を有する患者さんの一般歯科治療を行っています。また、歯周病、口腔粘膜疾患、補綴（入れ歯）、顎関節症外来などの特殊外来を設け、それぞれの専門医が診療しています。さらに、慶應病院各科でがん治療、高侵襲手術を受ける方の口腔関連合併症予防対策として、看護部と協働した口腔機能ケアを行っています。

特に、より低侵襲で精度の高い治療として、コンピュータ支援下手術、サージカルガイド下手術、口腔がんの全周迅速診断などを取り入れ、治療成績は良好です。

2 対象疾患

顎口腔腫瘍・口腔がん／顎変形症／顎口腔インプラント／小児口腔外科疾患／口腔粘膜疾患／顎骨骨髓炎／薬剤関連顎骨壊死／顎骨嚢胞／顎口腔外傷／歯周病／顎補綴／歯性感染症／埋伏歯／う蝕／歯列不正／顎関節症／口腔機能ケア

3 検査

SPECT/CT（口腔がん、薬剤関連顎骨壊死、顎骨骨髓炎）／超音波検査／唾液腺造影法／唾液分泌機能検査（唾液腺シンチグラフィ）／唾液量検査（ガム試験）／味覚検査／口腔腫瘍検査／咬合異常検査／歯周病検査／う蝕検査／歯列不正検査／口腔内細菌検査／歯科金属補綴物分析検査／口臭検査／咀嚼機能検査／精密触覚機能検査／咬合力検査

4 実績

初診患者数	2022年度	2023年度	2024年度
歯科	832	800	866
口腔外科	2,384	2,285	2,498
口腔機能ケア	1,761	1,976	1,785
合計	4,977	5,061	5,149

症例数	2022年度	2023年度	2024年度
悪性腫瘍	45	48	58
良性腫瘍	4	4	71
顎変形症	50	47	36
インプラント埋入手術	167	197	195
顎骨再建術	9	9	30
顎骨骨折	20	12	41
顎骨嚢胞	51	51	67
歯性感染症	86	86	98

放射線診断科

1 概要

当科は院内各科からの依頼にもとづき、消化管造影、超音波、コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴画像検査（MRI）、核医学検査（SPECT、PET）、血管造影などの画像診断を行っています。あらゆる臓器、疾患を対象とし、画像から得られる情報を臨床各科に報告することで、各科の治療方針の決定に貢献しています。また、我々は立位/座位/臥位のいずれでも撮影できるCT装置（マルチポジションCT）を企業と共同開発し、その1号機が当院に導入されています。健康長寿の延伸のために重要な機能性障害の早期発見を目指しています。

更に、画像診断を活用しながら行う低侵襲なカテーテル・穿刺治療（IVR：インターベンショナル・ラジオロジー）を積極的に行っています。

2 対象疾患

画像診断は、各診療科から依頼のあるあらゆる疾患に対して対応しています。腫瘍、感染症、血管性疾患、変性・加齢性疾患、運動器疾患・免疫異常・生活習慣病・外傷などが主な病態です。マルチポジションCTは、立位で症状が増悪する病態（腰痛、呼吸困難など）、骨盤底の弛緩や骨盤脱の早期診断、変形性関節症の早期診断、姿勢の評価、などに有用です。

IVRは、各種腫瘍の焼灼術（針により腫瘍を壊死させる治療法）・凍結療法、各種内臓動脈瘤、血管腫・血管奇形、術後出血やリンパ漏などに対応しています。

3 検査

消化管X線造影／超音波／MRI／CT／血管内治療／PET／SPECT

4 実績

名称	件数(2024年度)
CT(健診含まず)	56,488件
MRI(健診含まず)	25,736件
超音波(健診含まず)	21,161件
核医学(PET+SPECT)	12,820件=8,798件+4,022件
IVR(画像下治療+血管造影)	1,639件

放射線治療科

1 概要

放射線治療科は、主のがん（悪性腫瘍）に対する放射線治療を専門に行う部門です。

放射線治療は、手術・抗がん剤に並ぶがん治療の柱の一つです。他の臨床各科との連携のもとに各種の悪性腫瘍の放射線による治療を行っています。当科ではリニアックを用いた外部放射線治療のほかに、前立腺がん組織内照射や子宮がん腔内照射といった小線源治療や放射線を放出する物質（アイソトープ）を注射などで投与するアイソトープ内用療法を実施しています。

2 対象疾患

- 悪性腫瘍一般（脳・脊髄腫瘍、口腔がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、縦隔腫瘍、食道がん、胃がん、肝臓がん、胆道がん、膵臓がん、直腸がん、子宮頸がん、前立腺がん、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、各種悪性肉腫、小児がん、転移性腫瘍など）
- 良性脳腫瘍（髄膜腫、下垂体腺腫など）
- 一部の良性疾患（ケロイドなど）

3 実績

名称	件数	備考
放射線治療患者実人数（新患＋再患）	1,045件	2024年
強度変調放射線治療（IMRT）	321件	2024年
定位放射線治療（脳＋体幹部）	192件	2024年
腔内照射	46件	2024年
ヨウ素125密封小線源永久挿入療法	23件	2024年
緩和的放射線治療	243件	2024年

リハビリテーション科

1 概要

リハビリテーション科は、主に神経・筋・骨格系の異常にもとづく運動機能障害者を対象として、医学的治療や治療的訓練を実施する診療科です。

疾患により生じた移動・身の回りの動作・コミュニケーションなどの障害に対して、失われた機能の回復を促すとともに、残存能力を最大限に高めるための治療を行い、患者さんが家庭や社会に復帰できるように援助しています。

治療手段には、薬物療法、神経ブロック、運動療法および温熱・電気刺激などの物理療法（理学療法）、作業療法、言語聴覚療法、装具療法、義肢作製などがあります。患者さんの状態にあわせてこれらの治療法を組み合わせ実施します。

2 対象疾患

脳卒中／脊髄損傷／神経・筋疾患／悪性腫瘍（がん）／リンパ浮腫／小児疾患／切断／骨関節疾患／心疾患／慢性閉塞性肺疾患／嚥下障害／高次脳機能障害／外傷性脳損傷／関節リウマチ

3 検査

神経伝導検査、針筋電図／運動誘発電位（MEP）、体性感覚誘発電位（SEP）／ビデオ嚥下造影検査（VF）、ビデオ嚥下内視鏡検査（VE）／蛍光リンパ造影検査

4 実績

実績件数（年集計概数）	実施件数（年集計概数）
筋電図検査	270件
ビデオ嚥下造影検査	120件
嚥下内視鏡	30件
ボツリヌス注射	500件

麻酔科

1 概要

麻酔科は手術・外傷・感染・痛みなどの生体に加わる様々なストレスから患者さんを守ることが専門とした診療科です。手術室センターでは、さまざまな内容の手術に対して、それぞれの患者さんの背景に対応した全身麻酔管理を年間約 9,000 例実施しています。痛み診療センターでは、難治性の慢性痛を多角的に評価し、複数診療科の専門医が連携して、学際的痛み治療を行います。集中治療センターでは、急性期の重症患者さんの治療を行っています。緩和ケアセンターでは、病気の治療の全経過を通して認められる身体や心のさまざまな苦痛を和らげる医療を提供しています。無痛分娩チームでは、持続硬膜外鎮痛による分娩時鎮痛を提供しています。

2 対象疾患

＜手術センター＞

全身麻酔・監視下鎮静を必要とする手術・処置・検査全般

＜痛み診療センター＞

腰痛症／坐骨神経痛／腰部脊柱管狭窄症／腰椎椎間板ヘルニア／腰椎椎間板症／圧迫骨折／頸椎症／頸椎症性神経根症／頸椎ヘルニア／慢性腹痛／緊張性頭痛／非定型顔面痛／三叉神経痛／帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛／複合性局所疼痛症候群（CRPS）／閉塞性動脈硬化症／バージャー病／顔面神経麻痺

＜集中治療センター＞

集中的治療を必要とする重症病態のすべて

＜緩和ケアセンター＞

緩和ケアを必要とする苦痛

3 検査

血液検査／レントゲン検査／CT・MRI 検査／仙骨硬膜外造影検査／サーモグラフィ検査

4 実績

手術麻酔	2024年度
全身麻酔	9,279件
術後PCA管理	3,744件
無痛分娩	2024年度
症例数	221例

救急科

1 概要

救急科は幅広い領域の急病や外傷について適切な初期対応と必要に応じた入院加療を含む継

続医療を提供することで地域医療に貢献すると共に、医学教育と研究活動を通じて、救急医療の向上に努めています。救急外来には 24 時間 365 日体制で救急科専門医が常駐し、重症度に関わらず救急車で来院する患者さんを中心に適切な医療を提供いたします。

各診療科の専門的治療が必要な場合には、迅速に協働して治療を行います。また、当院は東京都災害拠点病院に指定されており、有事の際には災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣を行っております。このような活動を通じて、“災害に強い都市型地域医療の推進”に貢献いたします。

2 対象疾患

以下を中心として、内因性、外因性を問わず対応しております。

院外心肺停止／ショック／意識障害／外傷／熱傷／敗血症／一過性意識障害（失神など）／体温異常（熱中症または偶発性低体温症）／急性冠症候群／脳血管障害／大動脈疾患／急性中毒／急性腹症／上気道閉塞／吐下血／咯血／めまい／不整脈／呼吸困難／消化管異物／尿閉／高血圧緊急症／軟部組織感染症／鼻出血／電撃傷／化学損傷／溺水

3 検査

必要な検査については 365 日 24 時間体制で行なっております。

（夜間や休日は可能な検査が制限されます）。

4 実績

2024年統計(救急科担当のみ)	
救急車搬入件数	7,071 件(3次救急:474 件)
救急車応需率	2次:63.8% 3次:68.0%
入院患者数	351 件 非外傷 :190 件 体幹部外傷 :44 件 頭部外傷: 72 件 骨盤四肢外傷:45 件
手術件数	106 件(上半期) 急性期外科:52 件、整形外科:19 件、その他:35 件

総合診療科

1 概要

総合診療科では、受診科が判りづらい各種症状の診療や、複数の健康問題をお持ちの患者さんの総合的な診療を行い、必要に応じて専門各科や地域の医療機関につなぐ役割を担っています。どの診療科を受診すればよいかわからない場合は、まず当科を受診ください。また医療機関から当院をご紹介頂く場合でも、診療科の選定が困難な患者さんは当科宛にご紹介をお願い致します。当科では、個々の患者さんに最適な医療を、専門各科・予防医療センター・医療連携推進部（医療ソーシャルワーカー）などと連携しながら提供いたします。

2 対象疾患

原因不明の発熱、体重減少、全身倦怠感、原因の特定が難しい各種症状

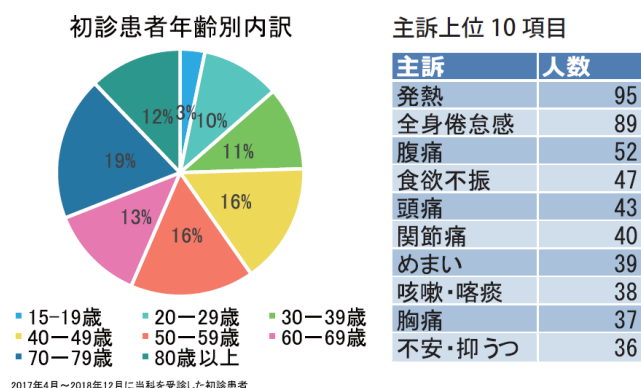
受診すべき診療科の特定が難しい諸症状、救急車で受診するほどではない体調不良

(※当科では救急車は対応しておりません。)

3 検査

各種採血検査／尿検査／心電図検査／X線検査／超音波検査／CT/MRI 検査／各種生理機能検査

4 実績



臨床検査科

1 概要

臨床検査科は病院の診療科部門の一つであり、臨床検査(検体検査と生体機能検査)を専門に行う部署です。大学病院の理念のもと、患者さんに優しく信頼される臨床検査、迅速で質の高い検査と情報の提供、大学病院の専門性を生かした診療・研究・教育の支援、を柱とし、皆様への健康サポートを行うことを業務理念としております。そして、(1)医療サービス向上、(2)安全管理の徹底、(3)経済効率の向上、(4)医療の進歩に対応できる検査体制の構築、(5)十分なコミュニケーションを具体的目標として日夜努力を続けております。

臨床検査は診療の基本であると同時に、治験や臨床研究と密接に関係します。診療科との連携を重視し、医療の変化に柔軟に対応できる検査科を目指しています。さらに教育研究機能の充実が明日の医療に極めて重要であり、臨床検査の立場から医学部や病院をサポートするとともに、検査における病院間連携にも尽力しております。

当検査科は質の高いサービスを患者と診療各科に提供する為に、臨床検査室の国際基準である ISO 15189 の要求事項に基づいた品質マネジメントシステムを構築、運用し、下に記載される品質方針を掲げております。

スタッフは医師、臨床検査技師、看護師、事務員で構成されています。部門は外来採血、一般検査、化学・免疫、血液、微生物、生体検査・健診(心機能、肺機能・神経機能、血管検査)、臨床試験病棟、ゲノム検査室、システム管理に分かれています。

2 対象疾患

臨床検査科ではすべての診療科から依頼される臨床検査を集中して行います。がんを含む悪

性腫瘍、脂質異常症、高血圧、糖尿病といった生活習慣病から、各種感染症、膠原病などの自己免疫疾患、心血管病、血液疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病や膵臓病を含む消化器病、神経筋疾患、運動器疾患のほか、先天性や後天性の代謝異常症や内分泌疾患、手術に関係する検査、妊娠出産に関係する検査、薬物検査などを行います。

これらの検査は血液、尿、便、体液などを分析する検体検査と、心機能、肺機能・神経機能、血管検査などの生理機能検査に分けられます。特に基本的な検体検査は、24 時間年中無休で対応しております。

3 検査

検体検査（血液・尿・便・喀痰・その他）／生理機能検査（心・肺・神経・代謝・血管）／画像検査（心臓および血管超音波）

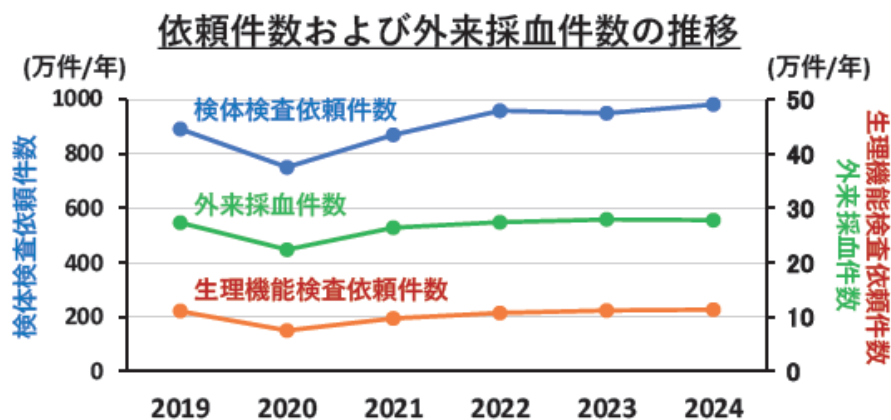
院外で行われる外部委託検査も受付けており、ほぼ全ての保険診療検査に対応可能です。探索的、先端的な研究検査にも力を入れており、遺伝学的検査、腫瘍関連遺伝子検査、感染症遺伝子検査にも対応しております。

ただちに対応しなければ生命に危険を与える異常値（超緊急連絡値）について、これまでのいわゆる「パニック値」とは別に、医師に必ず電話連絡するとともに電子カルテ上に担当医とのやり取りを残すこととし、検査結果を確実に担当医に伝える体制を確立しています。

臨床研究中核病院として精力的に行われている臨床試験や治験において、臨床検査科として採血や検体検査および生理機能検査の支援を行っています。臨床試験病棟には検査室が設置されております。全病棟・外来に設置されている血糖測定器は臨床検査科が精度管理とメンテナンスなど一括管理しております。糖尿病教室にも積極的に協力しています。

4 実績

年間依頼項目件数（2024 年実績）は検体検査が約 980 万件、生理機能検査が約 11 万件です。コロナ禍の影響で 2020 年に一時減少したものの、再度増加しています。このほか、全診療科の外来採血 1 日約 1,000 名の採血を担当しております。診察前検査が多く、外来採血の約 8 割を占めています。現在では、採血や採尿だけではなく、心電図や肺機能検査の結果も診察前に報告しております。なお、検査結果報告所要時間に遅延が生じないようにするために、報告の遅延件数を品質指標の一つに定めております。



病理診断科

1 概要

病理診断科では慶應義塾大学病院の各診療科から提出される検体から標本を作製し、肉眼や顕微鏡で形態的に観察し最終診断を行っています。診断対象は全臓器にわたり、生検組織や手術で摘出された臓器の組織診断、体から剥離した細胞や吸引された細胞を診断する細胞診の診断結果に基づいて臨床各科の治療方針が決定されます。ご紹介いただいた患者さんの標本を取り寄せて診断させていただくこともあります。

2 実績

	組織診	細胞診	病理解剖
2019年	23,881件 (術中迅速組織診1,510件を含む)	23,016件	48件
2020年	18,944件 (術中迅速組織診1,223件を含む)	19,764件	35件
2021年	21,644件 (術中迅速組織診1,366件を含む)	22,778件	31件
2022年	24,021件 (術中迅速組織診1,379件を含む)	23,564件	31件
2023年	24,785件 (術中迅速組織診1,420件を含む)	24,016件	25件
2024年	24,106件 (術中迅速組織診1,471件を含む)	23,752件	36件

内視鏡センター

1 概要

慶應義塾大学病院内視鏡センターでは、6人の専任医師の他、関連各診療科より1週間に延べ100名を超す医師の協力体制のもと、それぞれ専門の立場から診断・治療を担当し、年間約20,000件の内視鏡検査を実施しております。上部・下部内視鏡のスクリーニング検査や炎症性腸疾患の内視鏡診断は連日行われ、食道、胃、大腸、十二指腸の悪性腫瘍に対する内視鏡治療も積極的に行っております。また胆膵疾患の内視鏡診断・治療や小腸内視鏡検査（バルーン内視鏡、カプセル内視鏡）、気管支鏡検査などX線透視下での検査・治療も精力的に行っています。さらに近年、胃粘膜下腫瘍、アカラシア、逆流性食道炎に対する内視鏡治療も行っています。

2 対象疾患

○食道がん ○胃がん ○十二指腸がん ○大腸がん ○胃粘膜下腫瘍 ○逆流性食道炎 ○アカラシア ○食道静脈瘤 ○胃潰瘍と十二指腸潰瘍 ○小腸腫瘍、小腸出血 ○炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病など） ○膵腫瘍 ○胆道腫瘍 ○胆道結石 ○小児の消化管病変（全身麻酔下での内視鏡検査を当センターで施行） ○中下咽頭腫瘍 ○肺がん ○肺炎、肺結核

3 検査

上部内視鏡検査、下部内視鏡検査、膵・胆道内視鏡、小腸内視鏡検査（バルーン内視鏡）、小腸内視鏡検査（カプセル内視鏡）、気管支鏡検査、小児内視鏡検査（全身麻酔下での内視鏡検査を当センターで施行）。気管支鏡。内視鏡的止血術、食道静脈瘤結紮術、食道静脈瘤硬化療法、内視鏡的胃瘻造設術、食道・胃・十二指腸・大腸粘膜下層剥離術（ESD）。内視鏡的全層切除術（EFTR）。経口内視鏡的筋層切開術（POEM）。内視鏡的逆流防止粘膜切除術（ARMS）。内視鏡的狭窄拡張術、内視鏡的胃瘻造設術、バルーン小腸内視鏡による止血術、ポリープ切除術。術後腸管に対するバルーン小腸内視鏡を使用した載石術。

4 実績

		2024年度
上部内視鏡		11,007
	うち食道ESD	169
	うち胃ESD	179
	うち十二指腸ESD	129
下部内視鏡		6,573
	うち下部ESD	156
カプセル小腸内視鏡		44
バルーン小腸内視鏡		203

腫瘍センター

1 概要

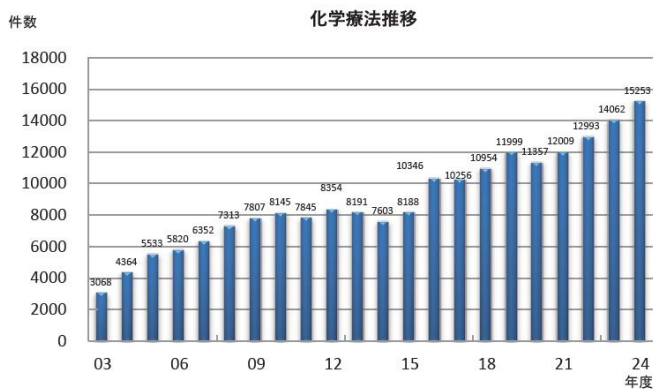
社会の高齢化に伴い、がんは我が国における最も深刻な疾病となりつつあります。がん医療に対する社会的要望の高まりに応え、2009年4月に包括的がん医療を提供する、診療科の枠を超えた横断的組織として、腫瘍センターは発足いたしました。現在、慶應義塾大学病院は、地域がん診療連携拠点病院および、がんゲノム医療中核拠点病院に指定されており腫瘍センターは、その中枢を担っております。今後もスタッフ同一丸となり、我が国におけるがん医療の新しい形を模索し実現してまいります。

2 対象疾患

○消化器がん ○肺がん ○乳がん ○原発不明がん ○その他診断や治療が困難ながん ○がんゲノム診断 ○希少がん

3 実績

腫瘍センターでは、年間約 10,000 件の外来化学療法と、約 500 人の包括的がん患者初診を行っています。



がんゲノム医療センター

1 概要

がんゲノム医療センターでは、2017年から「がん遺伝子パネル検査」を導入し、2019年3月よりほぼ全ての遺伝子を解析するPleSSision-Exome検査を開始しており、我が国のがんゲノム医療をけん引してきました。2018年2月に厚生労働省から「がんゲノム医療中核拠点病院」に認定され、当院のがんゲノム連携病院15施設（2025年8月現在）と共に、がんゲノム医療を推進しています。

現在、当院で行っている保険診療のがん遺伝子パネル検査は5種類、自費診療のがん遺伝子パネル検査は4種類あります。

当センターでは最新のがん遺伝子パネル解析を活用し、的確な薬剤選択や臨床試験参加をご提案して、多職種連携による集学的治療を支援します。さらに、診断初期から実施可能な院内完結型のがん遺伝子パネル検査「Rapid-Neo」を活用し、腫瘍の特性を分子レベルで明らかにして主診療科の治療方針決定をサポートし、患者さん一人ひとりに合わせたプレジジョン・メディシンをお届けします。

2 対象疾患

○病理組織学的検査によって悪性腫瘍（がん）と診断された方
 ○標準薬物治療が終了になった、もしくは終了見込みの方
 ○原発不明がん、希少がんの方 ○血液がん（造血器腫瘍）以外の方
 ※自費検査は上記要件に関わらず、がん（血液がんは除く）と診断された方は検査が可能です。
 自費診療でのがん遺伝子パネル検査費用は、自費診療対応保険でカバーされる場合があります。
 当院はメディコム提携病院です。

3 実績

(保険診療) 1,252例(2025/3現在)

●NCCオンコパネル:156例 ●FoundationOne CDx:908例
 ●GenMineTOP:38例 ●FoundationOneLiquid CDx:145例
 ●Guardant360 CDx:5例

(自費診療) 709例(2025/3現在)

●PleSSision-Exome:234例 ●PleSSision-Panel:338例
 ●Guardant360:134例 ●Guardant Reveal:3例

血液浄化・透析センター

1 概要

血液浄化・透析センターでは、急性腎不全・慢性腎不全の患者さんに対して、血液透析や血液ろ過透析を行っています。血液透析の導入や、合併症のために当院の様々な診療科に入院した慢性維持透析患者さんの入院中の透析療法を行っています。また、重症筋無力症、天疱瘡、炎症性腸疾患といった種々の疾患に対して、当院の各診療科と連携して血漿交換療法や免疫吸着療法、白血球除去療法など様々な血液浄化療法を行っています。血液浄化・透析療法を受ける患者さんが安心して治療を受けられるように、医師・看護師・臨床工学技士が協力してチーム医療を行っています。

2 対象疾患

○急性腎不全 ○慢性腎不全 ○重症筋無力症 ○ギラン・バレー症候群 ○天疱瘡 ○炎症性腸疾患
○難治性ネフローゼ症候群 ○閉塞性動脈硬化症

3 実績

名称	件数	備考
入院患者さんの血液透析	323例 441例 523例 448例 495例	2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度
血液透析導入	69例 71例 74例 53例 69例	2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度
血漿交換	34例 32例 28例 37例 39例	2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度
直接血液吸着灌流・血漿吸着	8例 8例 9例 14例 21例	2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度
白血球除去	6例 7例 2例 3例 0例	2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

輸血・細胞療法センター

1 概要

輸血・細胞療法センターは、輸血と細胞療法の業務を担う中央診療部門で、院内のすべての輸血用血液製剤と血漿分画製剤、そして再生医療等製品と臨床試験に用いる特定細胞加工物を一

括管理しています。輸血については、輸血に関連する血液型や交差適合試験などの検査、輸血用血液製剤の管理、手術前の自己血の採取・管理などを行っています。細胞療法については、造血幹細胞移植や CAR-T 療法を初めとする免疫細胞療法用の細胞採取・処理・凍結保存、造血細胞数の測定、そして、再生医療の細胞調整・管理保存等を行っています。また、臨床研究推進センターと連携して、病院 1 号館 5 階の細胞プロセッシングセンター「KHCP」を利用して、学内外の治験や臨床研究を、原料細胞の採取・製造調整から臨床試験までシームレスに支援しています。

2 実績

輸血・細胞療法業務実績(2024年度)	
輸血使用量	
赤血球製剤	16,457単位
新鮮凍結血漿	7,221単位
血小板製剤	30,835単位
自己血製剤(貯血式)	1,260単位
アルブミン製剤	31,490単位
自己血採血	
貯血式自己血採血	244件
成分採血	
末梢血造血幹細胞採取	26件
ドナーリンパ球採取	1件
CAR-Tリンパ球採取	61件
臨床試験関連	8件

再生医療関連の製品管理等実績(2018～2024年)	
再生医療等製品	
テムセル	349件
キムリア	87件
プレヤンジ	33件
アベクマ	10件
イエスカルタ	16件
コラテジェン	9件
ゾルゲンスマ	5件
アロフィセル	5件
特定細胞加工物管理	
NKT細胞療法	3件
間葉系幹細胞(ARDS)	1件
間葉系幹細胞(脳梗塞)	1件
末梢血造血幹細胞(慢性虚血肢症)	1件
CD19-CAR-T	5件
iPS神経細胞	4件
iPS角膜	1件
脂肪由来血小板(皮膚損傷)	12件
子宮頸癌TIL療法	2件
自家濃縮骨髓液(特発性大腿骨頭壊死)	1件
PRP療法(自由診療)	43件

スポーツ医学総合センター

1 概要

スポーツ医学総合センターの診療はスポーツ選手や愛好家を対象としたアスリート外来と、一般の方に対する運動療法を目的とした運動療法外来とに分かれています。アスリート外来ではスポーツ選手や愛好家のケガや病気に対して、常にスポーツ復帰を念頭に置いた治療を行い

ます。従って、スポーツ活動の中断に伴う体力低下、全身の筋力低下や心機能や肺機能の低下、さらにはパフォーマンス能力の低下などが生じないように、治療中も様々なトレーニング、栄養指導や併用療法を行います。これによって、単にケガや病気を治療するだけでなく、早期のスポーツ復帰を目指したアスリートに特化した治療が可能になります。運動療法外来では様々な病気に対して、運動療法により、その予防や治療を行います。すなわち生活習慣病といわれるメタボリック症候群、糖尿病、高血圧などの内科疾患、心不全、心筋梗塞などの循環器疾患、また骨粗鬆症、変形性脊椎症、変形性膝関節症などの運動器疾患、更には小児科領域の疾患などが対象となります。特に運動療法が必要であるにもかかわらず、膝が痛い、腰が痛いなどの症状のために十分な運動ができない方に対しては、内科的・整形外科的両側面から総合的に診断し、個人にとって最も適切な運動療法を行えるように致します。生活習慣病で運動療法が必要な方や、どのように運動をすればよいかわからない方、ランニング愛好家からプロのランナーの方まで、運動や歩行、ランニングのお悩みをお持ちの全ての方に、総合的な医学的評価に基づいて、運動や食事の指導を行っております。

2 対象疾患

<アスリート外来>

- ・スポーツに伴う怪我や障害全般
- ・スポーツ復帰を目的とする治療が必要な怪我や病気
- ・膝靱帯・半月板損傷
- ・腱損傷と靱帯損傷
- ・変形性膝関節症

<運動療法外来>

- ・生活習慣病（メタボリック症候群、糖尿病、高血圧など）の内科疾患
- ・心不全、心筋梗塞などの循環器疾患
- ・小児科領域の疾患、小児慢性疾患

3 実績

<アスリート外来>

- ・プロ野球 4 球団のチームドクター、選手の障害治療（手術を含む）
- ・大学体育会、高校運動部のチームドクター
- ・各種スポーツ団体の帯同、各種スポーツイベントの救急対応

<運動療法外来>

・ご通院・ご入院中の患者さん、運動を始めたい方・やり方がわからない方に対する安全かつ効果的な個別の運動処方（年間約 400 件の心肺運動負荷検査を実施）。具体的な運動指導、運動支援は、3 号館で進めているスポーツ&メディカルフィットネスセンターと連携して取り組んでいます。

漢方医学センター

1 概要

一般的な処方に対応が難しい時には漢方医学的な視点で考えると解決することが多々あります。漢方医学センターでは、「虚」「実」「寒」「熱」「六病位」「気血水」といった伝統的な漢方の

診断にこだわり、体質や個人差を重視した治療を行っております。受診患者さんは幅広く、病名に関わらず、どの領域であっても漢方治療が症状改善に導くきっかけになることがあります。使用する漢方薬もエキス製剤のみならず、必要に応じて煎じ薬で細かい調整をしながら処方します。多成分の漢方薬は一剤でも複数の効果が期待でき、結果として患者さんの負担が減ることもあります。がん治療中の副反応や、治療後の不定愁訴に対するがんサポート外来も行っています。

2 対象疾患

■ 症状に関わらず全人的な治療を行っていますが、下記のような疾患を持つ方が多く受診されます。

<消化器系>

○胃腸障害（胃炎・胃痛・吐き気など） ○逆流性食道炎 ○過敏性腸症候群○便秘・下痢症など

<皮膚系>

○アトピー性皮膚炎 ○じんま疹 ○皮膚そう痒症 ○にきび ○尋常性乾癬など

<婦人科系>

○月経困難症 ○月経不順 ○続発性無月経 ○不妊症 ○更年期障害など

<整形外科系>

○腰痛 ○肩こり ○下肢のしびれ・痛み ○関節痛など

<生活習慣病>

○高血圧 ○糖尿病 ○肥満・脂質異常症など

<精神疾患系>

○不眠症 ○パニック障害 ○不安神経症 ○うつ病など

<小児科系>

○虚弱体質 ○夜泣き ○痼癰 ○おねしょ ○腹痛など

<その他>

○頭痛 ○易疲労 ○癌術後の免疫療法 ○花粉症 ○気管支喘息 ○冷え症○前立腺肥大症 ○膠原病 ○認知症に伴う症状など

※上記以外でも、種々の疾患を対象としています。ただし疾患の種類や程度によっては、現代医学的な治療をお勧めする場合や、現代医学的な治療を併用する場合があります。

各種健康保険の範囲内で外来で治療を行います。必要に応じて他科に入院されている患者さんに対して漢方的なアドバイスをを行うことも可能です。

3 実績

頻度の多い患者さんからの訴え	
疲れやすい・だるい・体が重い	イライラする
眠れない	耳鳴り
身体の冷え	月経不順
しびれ	気分が憂鬱になる
のぼせや顔のほてり	アレルギー性鼻炎・花粉症
頭痛	お腹がはる・ガスがよく出る
足腰膝など下半身の痛み	食欲不振・胃もたれ
皮膚がかゆい	便秘
下痢	足がつる
関節痛	

臨床遺伝学センター

1 概要

遺伝性疾患の患者さんご家族の診断・診療のニーズに幅広く、応えるため、2011年に開設されました。国内外の臨床遺伝専門医資格を有する20名以上の各科医師が国際水準の医療を提供するよう力をあわせております。診療チームには遺伝カウンセラーも加わり、様々な立場におられる患者さんやご家族の心持ちを伺うように努めております。倫理的問題について十分に配慮した上で、必要のある場合に遺伝子検査を行っています。必要に応じて、公的研究助成を受けた遺伝子解析研究、検査会社が提供する遺伝学的検査（一部のみ保険適応）を提供しています。

2 対象疾患

- 先天性疾患：遺伝性疾患全般（5,000以上の疾患について遺伝学的検査が可能）。染色体異常症、先天異常症候群、診断不明等
- 出生前診断、着床前診断：染色体異常症、単一遺伝子疾患（Duchenne型筋ジストロフィー、筋強直型筋ジストロフィー、福山型筋ジストロフィー、先天性水頭症、オルニチントランスカルボミラーゼ欠損症等）、習慣流産、ミトコンドリア病、不妊症、男性の乏精子症、無精子症、性分化異常、不育症等
- 遺伝性腫瘍：遺伝性乳がん・卵巣がん、リンチ症候群、マイクロサテライト不安定性陽性腫瘍、家族性大腸腺腫症、リ・フラウメニ症候群、ポイツ・ジェガース症候群、遺伝的素因が疑われるがんおよび遺伝性腫瘍等
- 皮膚疾患：遺伝性皮膚疾患全般。表皮水疱症、レックリングハウゼン病、白皮症、結節性硬化症、基底細胞母斑症候群等
- 耳鼻科疾患：先天性難聴等
- 神経筋疾患：筋強直性筋ジストロフィー、ハンチントン病等
- 循環器疾患：不整脈、心筋症、肺高血圧症等

3 検査

遺伝性疾患の遺伝学的検査（遺伝子検査）

4 実績

診断のつかない患者さんに対して、多数の遺伝子を同時に解析することで診断をつけようとする国のプロジェクト「未診断疾患イニシアチブ」の拠点施設となっています。全国で4,000名以上が参加し、1/3の患者さんの診断ができました。全体の4割程度を当院が担当しました。

がんゲノム医療中核拠点病院として遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリングに取り組んでいます。

2024年度実績		
先天性疾患		845件
遺伝性腫瘍		537件
出生前診断・着床前診断		493件
遺伝性難聴		49件
皮膚疾患		28件
内科系疾患		83件
〈遺伝学的検査〉		
保険	腫瘍	105件
	難病	207件
自費	腫瘍	94件
	難病	15件
出生前検査		456件

免疫統括医療センター

1 概要

免疫統括医療センターは、診療科の垣根を超えて、免疫疾患に対する生物学的製剤治療を専門に行うセンターです。TV モニターを備えた点滴治療専用チェア（腫瘍センターと共用）を設置し、患者さんに快適に治療を受けていただく環境を整えています。診察室と治療室が近接しており、患者さんにとってよりよい環境を作れるよう配慮しています。

また、血液検査と治療、外来受診を待ち時間なくご案内できるシステムとなっており、患者さんの負担の少ないスムーズな診療を心がけております。

2 対象疾患

○関節リウマチ ○クローン病 ○潰瘍性大腸炎 ○ベーチェット病 ○乾癬 ○強直性脊椎炎 ○キャッスルマン病 ○発作性夜間ヘモグロビン尿症 ○全身性エリテマトーデス ○スティル病 ○乾癬性関節炎 ○掌蹠嚢胞症 ○多発血管炎性肉芽腫症 ○顕微鏡的多発血管炎 ○難治性ネフローゼ症候群 ○慢性特発性血小板減少性紫斑病 ○全身性強皮症

3 実績

2023年度の実績	
免疫統括医療センター外来患者総数	527人
センター治療室 治療実績総数	16,391人

* 専門科外来での生物学的製剤治療もセンター治療室が一括して実施しています。

緩和ケアセンター

1 概要

緩和ケアは、病気の治療の全経過を通して認められる身体や心のさまざまな苦痛を和らげ、患者の皆様やご家族にとって可能な限り良好な生活の質（Quality of Life）を実現させるための医療です。

日本ではまだ誤解されることもありますが、「緩和ケア」＝「終末期ケア」ではなく、病状のあらゆる時期において行われる医療であり、緩和ケアセンターでは、患者の皆様それぞれが症状をコントロールしながら、ご自身の生活に合わせた治療を選択し、ご自身らしく生きるためのお手伝いをします。

2 対象疾患

緩和ケアセンターでは、病気や治療に伴う痛み・しびれ・息苦しさなどのからだの症状や、不眠、不安、抑うつなどの精神症状に対する診療を行っています。投薬治療やカウンセリングを通して、ご病気のあらゆる段階において、病気とうまくつきあい、ご自身らしく過ごすためのお手

伝いをします。

また、在宅療養支援、公的サービス、緩和ケア病棟、ホスピスの紹介についても、専門の看護師がサポートさせていただきます。

主にがん患者さんを対象としていますが、心不全や呼吸不全などの重症慢性疾患への対応も行っています。

家族外来では、がん患者さんのご家族・ご遺族のカウンセリングを行っています。

3 実績

名称	年度	件数
緩和ケアチーム依頼数	2020年度	448件
	2021年度	422件
	2022年度	434件
	2023年度	437件
	2024年度	472件
外来初診件数	2020年度	62件
	2021年度	79件
	2022年度	69件
	2023年度	60件
	2024年度	50件

手術・血管造影センター

1 概要

手術・血管造影センターは、入院患者さんと外来患者さんの定期・緊急手術、血管造影・IVR（カテーテル治療）が行われる施設です。手術室は25室、血管造影・IVR室が5室あり、それぞれが少しずつ異なった機能を持っています。手技が多種多様で、必要とする部屋の機能が様々であるためです。2024年の実績では、手術は17,000件、IVRは4,000件を超え、それぞれ全国でトップクラスの実績を上げています。当センターでは、医師（外科系、麻酔科、内科系、放射線科）、看護師、薬剤師に加え、臨床工学技士、放射線技師、その他滅菌・清掃技術員・物流業者などのメディカルスタッフが協力し、センターを利用する患者さんにより安全で質の高い治療、看護を提供できるよう体制を整えております。

2 実績

	手術実績(2024年)	血管造影実績(2024年)
全身麻酔	9,045件	234件
その他(局所麻酔等)	8,088件	3,873件

集中治療センター

1 概要

集中治療センター(General Intensive Care Unit:GICU)は1988年5月に急性期重症患者を収容する病棟として開設されました。1995年日本集中治療医学会研修施設認定を受け、2000年には内4床を特定集中治療室に改修、運営も麻酔科診療部長が兼務するGICU部長と特定集中治療に精通した専従医師の下に統括され、2011年2月特定集中治療室10床とハイケアユニット10床からなる20床の新GICUとして、院外発生の重症患者をはじめ術後を含む院内発生の急性期重症患者の集学的な治療に幅広く対応してきています。2020年8月から最重症患者に特化するために、特定集中治療室12床とハイケアユニット26床を合わせて集中治療センターとし、主科あるいは専門科医師、重症集中ケア認定者を含む看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士等との密な連携により、急性期重症患者治療に当たっています。更に本年2022年4月からは特定集中治療室を16床に増床したうえで、人工呼吸をはじめ持続的血液濾過透析や血漿交換、各種吸着療法、大動脈内バルーンポンピングや体外式膜型人工肺などの体外循環補助装置等の高度生命維持装置の導入が常時可能な体制を整え、重症患者治療に当たっています。最近では積極的な早期リハビリテーションの導入を図り、短期のみならず長期的な予後改善に向けて取り組んでいます。GICU専従医は、スタッフ4~5名、レジデント1~2名の計6~7名が24時間体制で治療に当たっています。

2 対象疾患

集中治療センターは、「疾患あるいは外傷等により単一あるいは複数重要臓器機能が低下あるいは低下の危険性にある状態が継続している患者を収容し、迅速かつ持続的に観察並びに治療することにより健康を回復し合併症の発症を防ぐこと」が主たる目的です。そのため治療対象の疾患群は多岐に及び、具体的には意識障害または昏睡、急性呼吸不全または慢性呼吸不全の急性増悪、急性心不全(心筋塞を含む)、急性薬物中毒、ショック、重篤な代謝障害、大手術後、心肺蘇生後、その他外傷、破傷風等で重篤なものとなり、日々様々な事由により生命危機の危険性のある患者治療に当たっています。

3 実績

2023年度	ICU	HCU
入室患者数(人)	1,660	2,539
平均在室日数(日)	3.5	4.9

救急センター

1 概要

2017年5月に主に救急患者の外来診療を行う診療施設部門である「救急センター」が発足しました。救急科医師、初期臨床研修医および専属看護師が24時間365日体制で常駐し、チーム医療による常に安全で質の高い救急医療を提供しています。また、常時全ての診療科の協力支援体制を整え、初療後の適切な連携により専門処置や専門診療科への入院が滞りなく行われます。

また、東京都災害拠点病院として、災害時には医療救護活動の拠点となるとともに、災害派遣医療チーム DMAT を編成し、日本全国の災害地へも迅速に医療支援を行う体制を整えています。

2 対象疾患

通常診療時間内は、救急科が救急搬送される中等症（二次救急）および重症患者（救命救急センターの適応となる三次救急）に対して初期対応を行っています。通常診療時間外である休診日・夜間は全科当直体制を原則としており、自力受診可能な軽症患者（一次救急）を各診療科が、救急搬送患者（二次・三次救急）は救急科が中心となり診療を担当します。

このように、当院救急センターは主に三次救急患者の診療を行う「救命救急センター」と異なり、重症度の区別なく全ての救急患者の診療を行う「全次型救急」を基本方針とする北米型 ER スタイルを導入しています。

3 検査

各種検体検査に加え、画像診断（レントゲン、CT スキャン、急性期脳梗塞や脊髄損傷に対する MRI）は常時可能な体制となっています。緊急消化管内視鏡や緊急心臓カテーテルも常時対応可能です。

4 実績

2024年救急センター実績	人数
自力受診患者数	4,816人
救急車搬送患者数	7,750人
救急センター経由入院患者数	3,168人

救急センター経由	件数
緊急手術	127件
緊急心臓カテーテル	48件
緊急消化管内視鏡	45件
血管造影	51件

臨床感染症センター（感染症外来）

1 概要

臨床感染症センターでは、一般感染症、難治性感染症、性感染症など、診断や抗菌薬の選択が難しい感染症も含めて、あらゆる感染症の診療を行っています。特に非結核性抗酸菌症は日本有数の診療施設となっています。また、東京都のエイズ中核拠点病院に指定されており、チームで HIV 診療を行っています。入院患者さんについては、全ての診療科から、感染症に関するあらゆるコンサルテーションを受けて診療しております。また、感染症は治療することも重要ですが、同様に感染拡大防止や予防も重要です。海外渡航前や、臓器移植前、脾臓摘出後、など様々な状況での予防接種の相談に対応しています。

2 対象疾患

○一般感染症 ○難治性感染症 ○HIV 感染症 ○抗酸菌感染症 ○性感染症○海外渡航関連感染症

○予防接種（渡航前、移植前、脾臓摘出後など）

3 実績

おもな実績 2024年度	
HIV感染症総数	641件 (延べ件数)
その他の感染症	1,263件 (延べ件数)
予防接種総数	112件 (延べ件数)
感染症診療コンサルテーション(入院)	1,560人 (患者延べ人数)

予防医療センター

1 概要

当センターではハード面、ソフト面ともに、最先端の診断技術による精度の高い健診・検診を提供しております。また、専門性が高くきめ細かな結果説明と、健康指導によるフォローアップ体制を用意しています。もちろん、発見された病気の治療に当たっては、慶應義塾大学病院における高度医療、先進医療へのスムーズな橋渡しを実現しています。予防医学は北里柴三郎先生を祖と仰ぐ慶應医学の原点であり、基礎医学、臨床医学と並ぶ大きな柱の一つです。各診療科の専門医と一致協力して、包括的な健康サポートを提供して参ります。

2 実績

2024年度実績	
受診者数	6,868人
一日あたり受診者数	25人（休診日を除いた営業日で算出）
上部消化管内視鏡件数	5,920件（保険診療等含む）
下部消化管内視鏡件数	1,132件（保険診療等含む）
MRI実施件数	6,272件（保険診療等含む）
CT実施件数	7,959件（保険診療等含む）
超音波実施件数	13,244件（保険診療等含む）
PET-CT実施件数	764件（人間ドックのみ）
各診療科へのコンサルテーション件数	3,601件

看護部

1 概要

看護部は、病院の理念に則り、「患者を尊重し、患者の QOL を高める看護実践」を通して、

大学病院の社会的役割遂行に協働する。

■ 基本方針

- (1) 私たちは、チーム医療の中で切れ目のない患者中心の看護を提供します
- (2) 私たちは、高い倫理観を持ち自ら考える看護師を育成します
- (3) 私たちは、お互いの看護観を認め共に成長できる環境を築きます

2 業務内容

- (1) 保健師助産師看護師法等法令に基づき、安全・安心を担保した質の高い看護の提供
- (2) 安全管理体制の確保・推進
- (3) 各部門・診療科との連携を通じたチーム医療の推進および患者サービスの提供
- (4) 診療報酬制度を踏まえた看護提供、病床稼働向上等による病院経営への貢献
- (5) 専門性を有する人材育成
- (6) 大学病院の使命としての臨地実習生教育ならびに学会・研究活動
- (7) 地域医療施設および外部機関等との適切かつ良好な関係維持・向上
- (8) 専門性を活かし対外的な情報発信と社会貢献
- (9) その他、診療目的の達成に必要な業務

3 活動実績・取り組み

■ 病院機能向上にむけた看護部の取り組みの推進・定着

- 1) 救急救命センター構想にむけ課題の抽出と体制づくりの促進
 - 2) 救急外来、手術・血管造影センター、HCU、ICU の連携強化
 - 3) 入退院支援加算 1 算定に伴う退院支援体制の強化
 - 4) 2 次救急病院や地域との連携の強化による効果的且つ適正な病床運用の推進
 - 5) 予防医療センターからの要人フロー、及び 3 号館 3 階外来での患者対応の実施
 - 6) 各部署での災害対策訓練の実施（主任会、災害対策 WG）
 - 7) 診療報酬改定内容を反映した戦略の実践
 - 8) 節電・資材コストの削減
- ・上記、取り組みの結果、医療安全を担保しつつ、病床回転率を 3.06 から 3.18 まで上げることが出来た。
- ・入院基本料においても、充実加算の研修受講と稼働率の向上により増収につながった。
- ・診療報酬の看護関連の算定では、算定漏れの取り組みや指導体制の工夫により経営的側面にも貢献できた。資材の見直しも行い、コストカットに繋がった。

■ 患者ニーズに即した看護の更なる強みの確立

- 1) 手指衛生が抜けやすい各現場の課題を捉えた手指衛生遵守率の恒常的改善
- 2) IC への参画、意思決定支援、ACP の推進
- 3) せん妄・認知症ケアの質の向上
(身体拘束最小化・認知症ケアリンクナース育成・ユマニチュードの実践)

4) 安全で安心な療養環境の提供

(転倒事故防止策・心電図モニターアラーム対応)

5) 医療上必要な面会の促進

6) タスクシェアに関する検討の継続と実践

7) 医療個人情報管理の徹底

・手指衛生遵守率向上のためにプラクティショナー140名受講し、現職934名(71.5%)が取得した。手指衛生遵守率は、患者前90.8%(前年度より9.8%UP)まで向上した。

・意思決定支援には継続的に取り組み、病棟、外来共にICノートへの記録件数が増加している。

・高齢者ケアの充実を継続するため、認知症・せん妄ケアリンクナースの育成を継続し、認知症ケア加算の算定は、1から2へ切り替えた。ユマニチュード®のケア技法を習得した実践者の育成も継続し、実践ナース27名、リーダー8名を育成し、ケアの普及につながっている。

■ 働きやすく、一人ひとりの力が最大限発揮できる職場環境づくり

1) 看護師・クラーク・ナースアシスタント間での心理的安全性が高いチーム機能の推進

2) 多職種連携によるタスクシェアの推進

3) 看護周辺業務を担う業務委託職との効果的な連携の検討

4) 短期研修等を活用したジョブ・ローテーションの推進

5) 看護スタッフの意見を反映させたカイゼン活動の実践

6) Staffing Forecast を活用した応援支援体制の構築

7) 医療DXによる業務負担軽減及び包括的看護の充実

8) 多様な働き方、魅力ある職場づくりの検討・実践

9) 入職3年未満の退職マネジメント、育成の推進

・応援支援体制を構築するなどにより、看護師一人当たりの残業時間は削減できた。

(全体 前年度 8:50⇒8:21/月 病棟 前年度 11:03⇒10:47/月)

・退職者は100名となり、退職率は9.5%から8.1%まで低減できた。

■ キャリアパスを活用し未来につながる能力開発の推進

1) 特定機能病院に必要な領域の実践力を強みにもつジェネラリスト・ナースの育成 (緩和ケアリンクナース/CRC/退院支援看護師など)

2) 進学支援金等を活用した戦略的な看護専門領域看護師の計画的育成

3) ナースアシスタント・クラークの育成体制の評価、戦略的採用計画の実践

4) 看護医療学部との人事交流による看護実践力・教育力の向上・研究活動の活性化

5) 看護管理者の育成研修の実施とキャリアパスの活用

6) 看護データを活用したマネジメントの実践

7) 特定行為実施研修修了者の活用、及びNP導入に向けた準備

8) 複雑な事例への実践、リソース機能の活用、研修等を通し、高い倫理観をもつ看護師の育成

・特定行為研修制度を活用した特定行為看護師2名が誕生した。

- ・看護医療学部との人事交流事業 Keio Academic-Practice Partnership in Nursing (KAPPN) が開始でき、研究支援を促進できた。
- ・自己研鑽での師長研修、主任・副主任研修は多職種合同に拡大でき、病院全体のマネジメント能力の拡大につながられた。

薬剤部

1 概要

薬剤部は、調剤、服薬指導、医薬品情報の収集・評価と提供、医薬品管理、院内製剤、注射薬混合調製等、薬剤に関する様々な業務を展開し、院内外の他の医療スタッフと連携しながら、患者さんに信頼される質の高い安全で安心な医療を提供することを目的としている。また、薬学部と連携し、実務実習生の受け入れを通じ、医療の高度化に対応した薬剤師の育成にも力を注いでいる。

2 業務内容

- (1) 処方せん調剤業務
- (2) 注射薬混合調製業務
- (3) 薬品管理業務
- (4) 医薬品情報業務
- (5) 治験業務
- (6) 薬剤管理指導業務
- (7) 病棟薬剤業務
- (8) 入院前持参薬鑑別業務
- (9) 薬事委員会事務局業務
- (10) 製剤業務
- (11) 診断用放射性医薬品の検定業務
- (12) 学校薬剤師業務

3 活動実績・取り組み

■ 活動実績

- (1) 処方せん調剤業務
 - 1 外来患者
院内処方/調剤:413,983 枚/ 1,217,139 件
 - 2 入院患者
処方/調剤:381,178 枚/ 658,537 件
- (2) 注射薬混合調製業務
 - 1 外来患者
腫瘍センター: 17,097 枚/ 35,107 件
(一般薬 9,680 件、抗がん剤 25,427 件)
免疫統括医療センター: 12,776 枚 / 17,147 件
 - 2 入院患者 156,909 枚/ 104,081 件
(一般薬 93,247 件、抗がん剤 10,834 件)
- (3) 医薬品情報業務

- 問い合わせ件数: 1,372 件
TDM 解析件数: 2,261 件
- (4) 治験業務
174 治験 2,241 件
(内服 1,391 件、注射 850 件)
- (5) 薬剤管理指導業務
1 入院
薬剤管理指導料 1+2: 32,214 件
2 外来
外来腫瘍化学療法診察料 1(イ): 11,168 件
連携充実加算: 781 件
外来化学療法加算 1(B): 9,624 件
- (6) 入院前持参薬鑑別業務 ○ 件
- (7) 院内製剤業務 10,727 件
- (8) 診断用放射性医薬品の検定業務 8,789 件

■取り組み

- ・2024 年 4 月、病棟薬剤業務実施加算 2 (ICU、HCU) の算定を開始した。
- ・2024 年 6 月、がん薬物療法体制充実加算の算定を開始した。
- ・2024 年 6 月、救命救急センターにおける薬品管理業務を開始した。
- ・2024 年 7 月、新型コロナウイルス感染症の影響により中断していた薬学部教員の OJT (On-the-Job Training) 受け入れを再開した。
- ・2024 年 10 月、麻薬管理システムを導入した。
- ・2024 年 10 月、薬剤部職員 1 名が独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) へ出向した。
- ・2024 年 11 月、産前産後休暇および育児休業取得職員の代替要員として、派遣薬剤師の雇用を開始した。

滅菌管理部

1 概要

院内の診療および手術に必要な医療器材に対し、適切な洗浄・消毒・滅菌を行い、感染源にならないよう完全滅菌による感染防止に努め、安全性が確保された滅菌器材を安定的に供給する。

2 業務内容

(1) 管理業務

ア 委託業務の管理・監督

イ 器材の購入、修理、代替器手配に関すること

ウ 借用器械の受付、払い出しに関すること

エ 持ち込み器械の受付、払い出しに関すること

オ 貸出し器材(院内・院外)の受付、払い出しに関すること

カ インプラント資材、特殊資材(高額資材)の発注、資材票記入に関すること

キ 消耗品管理

(2) 委託業務

ア 委託業務・委託スタッフの管理・監督に関すること

- イ 手術器材の洗浄、組立、滅菌処理に関すること
- ウ 手術器材の供給、回収に関すること
- エ 病棟、外来使用の器材洗浄、滅菌処理に関すること
- オ 手術器材の定数管理に関すること
- カ 病棟、外来器材の供給搬送・回収搬送に関すること
- キ 院外滅菌処置器材の検品に関すること

3 活動実績・取り組み

- ・手術センター部門におけるトレーサビリティシステムラベルの運用を開始し、刻印情報の読み込みによるデータ蓄積を継続した。
- ・da Vinci Surgical System (ダビンチ・サージカルシステム) の増設に伴い、洗浄ラインを新設した。
- ・病棟・外来部門では、トレーサビリティシステムの運用に係る新定数を提案し、関係部署との調整を行い、定数器材および依頼器材のシステム登録や定数器材への刻印を実施した。
- ・レーザー刻印機および関連機器を導入し、運用環境を整備した。
- ・委託業務管理において、要求水準を満たす安定した業務水準を維持した。

食養管理室

1 概要

治療の一環として、入院患者の病態に適した食事提供を行い、栄養状態の維持改善を目指すと共に、栄養食事指導の実施やチーム医療の一員として多職種と連携した栄養管理を実践する。

2 業務内容

- (1) 給食管理業務
 - ア 入院患者の食事提供
 - イ 委託会社の管理監督
- (2) 栄養管理業務
 - ア 入院患者の栄養管理
 - イ 個人栄養食事指導
 - ウ 集団栄養食事指導
 - エ 食物アレルギー情報の管理

3 活動実績・取り組み

■活動実績

- (1) 入院患者の食事提供数
 - 一般治療食 406,397 食
 - 特殊治療食 292,109 食
- (2) 栄養食事指導件数
 - 個人指導
 - 入院 1,666 件
 - 外来 2,458 件
 - うち情報通信機器使用(MeDaCa)24 件
 - 糖尿病透析予防指導 154 件

慢性腎臓透析予防指導 22 件

集団指導

糖尿病教室は対面で 1 回実施、腎臓病教室は対面で 2 回実施した。

(3) 栄養サポートチーム介入件数

回診件数 597 件

算定件数 453 件

歯科医師連携加算算定件数 439 件

(4) 早期栄養介入管理件数

ICU

介入件数 1,663 件、算定件数(経口・経腸栄養)のべ 551 件、(静脈栄養)のべ 1,465 件

HCU 救急科

介入件数 137 件、算定件数(経口・経腸栄養)のべ 77 件、(静脈栄養)のべ 96 件

■取り組み

(1)給食管理業務

- ア 患者サービスの向上や定期的な質の向上を目的として、特別食の業務委託コンペを実施し、2025 年度も(株)グリーンヘルスケアサービスへの業務委託が継続となった。
- イ 2025 年 3 月放射線内用療法の特別措置病室への食事提供として、 Disposable 食器の使用を開始した。

(2)栄養管理業務

ア 入院患者の栄養管理

令和 6 年度診療報酬改定における「栄養管理体制の基準の明確化」では、入院患者全例に標準的な栄養スクリーニングの実施、栄養アセスメント、栄養管理計画の実施が求められた。GLIM 基準を用いた低栄養診断が推奨され、6 月から運用を開始した。

イ 栄養食事指導(栄養相談)

- ・ 外来肥満症患者に対する肥満症治療薬導入目的の依頼が増加し、特に外来栄養指導件数が増加した。前年度比、外来は 293 件、入院は 159 件増加した。肥満症治療プログラムは腎臓病内分泌代謝内科の他、2025 年 2 月からは消化器内科にも対象を拡大した。
- ・ 令和 6 年度診療報酬改定の新規項目である、「慢性腎臓病透析予防指導管理料」の算定を 8 月より開始した。

ウ 栄養サポートチーム(NST)

専任管理栄養士を中心に多職種によるチームにて、入院患者の栄養状態の改善や栄養管理に取り組んだ。

エ 早期栄養介入管理

令和 4 年度診療報酬改定においてハイケアユニットも対象となり、管理栄養士の要件が整ったため、8 月より HCU 病棟の救急科に限定して算定を開始した。

ICU、および HCU 救急科を対象とした集中治療室入室患者に介入を行い、多職種連携のもと入室後の早期栄養管理を実施した。

医用工学室

1 概要

医用工学に係る専門知識と医療技術に基づき、病院内に設置されている医療機器の適切かつ安全な運用に寄与するとともに、効率的な運用を目指すことを目的とする。

2 業務内容

- (1)手術センター業務・心臓血管外科の人工心肺業務
- (2)心臓カテーテル業務
- (3)不整脈業務
- (4)血液浄化透析センター業務
- (5)集中治療・人工呼吸器管理業務
- (6)医療機器管理室業務

3 活動実績・取り組み

- ・手術支援ロボットのダビンチを追加購入し、3台体制となる
- ・手術室にてオリンパス、ストライカー、ストルツの運用を開始
- ・術後搬送用 SpO2 モニター運用開始
- ・病棟における共有超音波診断装置の運用開始
- ・TAVI 枠の増加（木・土曜日稼働）
- ・VAD 外来の開始

<実績>

- (1) 手術センター業務・心臓血管外科の人工心肺業務
 - 術中誘発電位検査 1000 件
 - 人工心肺件数 244 件
 - ロボット支援手術業務 685 件
- (2) 心臓カテーテル
 - 心臓カテーテル検査 764 件
 - 心臓カテーテル治療 389 件
- (3) 不整脈業務
 - 不整脈治療 277 件
 - ペースメーカー、ICD 等（新規・交換） 205 件
 - 遠隔モニター確認患者数 7017 件
- (4) 血液浄化透析センター業務
 - 血液透析件数 4317 件
- (5) 集中治療・人工呼吸器管理業務
 - 人工呼吸器点検台数 1257 台

PCPS (ECMO 含む)	18 件
(6) 医療機器管理室業務	
医療機器点検件数	75359 件

放射線技術室

1 概要

放射線技術室は、画像検査および放射線治療業務の適切な管理、運営、環境整備等を行い、患者等に質の高い医療サービスを提供する。また、大学病院の経営効率化および医療安全の確保に資することを目的とする。

2 業務内容

- (1) 安全・安心を担保し、精度の高い画像検査・放射線治療技術の提供
- (2) 法令に基づく放射線診療における医療被ばくの線量評価と適正化の実施
- (3) 法令に基づく医療用放射線関連機器の安全な取り扱いと保守管理
- (4) 診療ニーズを考慮した画像検査・放射線治療の実践と病院経営への貢献
- (5) 各部門・部署との連携を通じたチーム医療の推進および質の高い患者サービスの提供
- (6) 日々進歩する先進的な高度医療技術の実践に必要な業務
- (7) 専門性を有する人材の育成
- (8) 大学病院の使命としての臨地実習生教育ならびに学会・研究活動
- (9) 他施設に対する専門性を活かした情報発信と教育指導・社会貢献
- (10) その他、診療目的の達成に必要な業務

3 活動実績・取り組み

<検査実績>

単純撮影	174,393 件
一般造影	7,795 件
骨密度	8,868 件
乳腺	4,710 件
超音波	39,590 件
MRI	37,761 件
CT	66,083 件
血管造影	4,526 件
PET	8,789 件
SPECT	4,476 件
放射線治療	15,498 件

<取り組み>

- ・CT 検査室、血管造影センターにおける CPM(Clinical Performance Management)を利用した業務改善。
- ・マルチポジション CT 世界 1 号機が稼働、臨床研究、診療が開始。
- ・神経内分泌腫瘍（NET）を対象としたペプチド受容体放射性核種療法（PRRT）の開始

臨床検査技術室

1 概要

臨床検査技術室は臨床検査科、輸血・細胞療法センター、病理診断科、産科（胚培養士が関わる業務）、また、感染制御部および医療安全管理部に臨床検査技師、胚培養士等を配属し、円滑な業務を遂行する。

2 業務内容

- (1)臨床検査および輸血製剤・細胞療法等にかかわる業務の確実かつ安全な実施
- (2)診療ニーズを考慮した臨床検査業務の実践と病院経営への貢献
- (3)各部門・部署との連携を通じたチーム医療の推進および患者サービスの提供
- (4)日々進歩する先進的な医療展開に必要な業務の実施
- (5)専門性を有する人材の育成
- (6)臨地実習生教育と学会・研究活動
- (7)他施設に対する専門性を活かした情報発信と教育指導・社会貢献
- (8)その他、診療目的の達成に必要な業務

3 活動実績・取り組み

1) 取り組み

- (1) パニック値報告において RPA を導入し該当医師へのクジラメールの配信を開始した。
- (2) 生体検査 神経検査システム導入による脳波検査のオンライン化を実現した。
- (3) 検体検査機器更新の準備を開始した。
- (4) 輸血適正使用加算の取得した。
- (5) スポーツ医学総合センター自己多血小板（PRP）療法導入にあたり PRP の管理を開始した。

2) 実績

検体検査	院内検査	9,883,644 件
	微生物検査	140,516 件
	外部委託検査	218,655 件
生理機能検査	心機能	72,285 件
	小児心機能	5,209 件

	肺機能	24,547 件
	神経機能	7,277 件
	血管	3,776 件
病理検査	組織診断	25,771 件
	細胞診	23,657 件
輸血検査		82,734 件
外来患者採血者数		277,805 件
不妊治療外来業務	採卵	369 件
	融解胚移植	344 件
	人工授精	329 件
院内検査、外部委託検査は予防医療センター含む		

臨床研究推進センター

1 概要

当センターの社会的使命 (Mission) は「社会のニーズに応じた最適な医療が提供できるよう、より優れた医療技術を常に探求し、人類の健康増進に寄与する」であり、それを実現するための体制 (Vision) を「専門的スキルを磨き続ける構成員が一体となって、新たな医療技術を創出するために理想的な拠点を形成する」としている。

2 業務内容

医薬品・医療機器・診断薬・再生医療など、様々な分野の研究開発をサポートする。

- ・アカデミア・企業を問わず、基礎・非臨床・研究のどのステージも受け入れる。
- ・最適な知財戦略、産学官連携、非臨床試験および臨床試験計画のデザイン、規制当局対応などの支援パッケージを提案、基礎研究の成果を戦略的に臨床試験まで橋渡しする。
- ・早期・探索段階も含む ICH-JCP 対応の医師主導治験および企業試験の実施を支援する。
- ・早い段階で積極的に企業へ導出し 1 日も早い実用化を目指す。

3 活動実績・取り組み

■橋渡し研究支援

2021 年 12 月年慶應義塾は、大学等の優れた基礎研究の成果を革新的な医薬品、医療機器等としての実用化を目指す橋渡し研究を支援する「橋渡し研究支援機関」として文部科学大臣から認定を受けた。臨床応用を目指すアカデミア等の医療シーズ（医薬品・医療機器・再生医療等製品・体外診断用医薬品）に対して臨床研究推進センター（慶應義塾拠点）が研究開発の支援を行っている。

研究シーズ段階毎のシーズ開発支援状況（2025 年 3 月 31 日現在）

シーズ A：関連特許出願を目指す基礎研究課題	60 件
シーズ B：非臨床 POC（概念実証：Proof of Concept）取得および治験届出を目指す課題	53 件

シーズ C：治験又は高度医療等を実施し、臨床 POC を目指す課題	17 件
シーズ H：医学・歯学・薬学系以外の異分野領域からの医療応用に向けた研究開発課題	28 件
橋渡し研究支援による主要な研究領域	
がん	66 件
神経疾患	17 件
再生医療	27 件

■治験・臨床研究

- 1 治験審査委員会で承認された治験契約件数

企業治験	40 件
医師主導治験	7 件
- 2 当院で許可した新規研究課題件数 387 件

うち臨床研究（特定、非特定）	13 件
再生医療等提供計画	1 件
倫理指針研究	372 件
その他（医療計画、疫学研究他）	1 件

当センターでは基礎研究から臨床研究・治験、さらに実用化まで各研究開発プロセスを一貫して支援する体制により日本発の革新的な医薬品・医療機器・再生医療等製品・体外診断用医薬品・医療技術の開発につながるよう上記の主要な研究領域を含め幅広く研究課題の支援を実施している。

■特色ある取り組み

【Decentralized Clinical Trial 導入に向けた体制整備】

慶應義塾大学病院では、臨床研究中核病院として、国際水準の質の高い臨床研究や医師主導治験の中心的役割を担う病院としての責務を果たすべく、各種体制整備と事業への参画を進めている。中でも COVID-19 のパンデミックを契機に注目を集めている仕組みの一つとして、治験へのアクセス向上を目指し、遠隔地からも治験への参加を可能とする Decentralized Clinical Trial (DCT)がある。治験に参加する被験者の安全を担保し、実際に来院するのと同等のデータの信頼性を確保しながら、より多くの患者が治験に参加できる可能性を担保するための取り組みであり、Patient Centricity の概念からも多くの製薬企業・研究者が注目している手法である。当院でも質の担保された DCT を提供できるよう、体制整備を進めている。

臨床研究監理センター

1 概要

臨床研究監理センターは、当院の理念および臨床研究実施方針に基づく臨床研究・治験の適正な実施を確保するため、病院長の責務として適用規制（法令および倫理指針等）に規定された業務の実施を補佐することを目的として、2019年8月に設置された。

2 業務内容

- (1) 臨床研究に係る倫理等の教育研修計画の策定および教育・研修の実施
- (2) 臨床研究の信頼性保証に係る監査等の実施
- (3) 臨床研究に係る有害事象・疾病等の安全性情報への対応
- (4) 臨床研究に係る法令および倫理指針等への適合に必要な業務
- (5) その他、病院長の指示する業務

3 活動実績・取り組み

- (1) 臨床研究に係る倫理等の教育研修計画の策定および教育・研修の実施

6月、全教職員対象教育研修（E-ラーニング）として「基本研修：臨床研究と治験」を制作し、年度末までに対象者全員が受講を完了した。

また、5月と12月、臨床研究推進センターと共同で開催した臨床研究講習会において、「臨床研究倫理・実践編」として、内外の参加者98名を対象に教育研修を実施した。

- (2) 臨床研究の信頼性保証に係る監査等の実施

当院内外の研究者より委託を受け実施する個別試験監査、およびその他の信頼性保証関連業務を行った。

また臨床研究中核病院として、臨床研究・治験の基盤的機能を担う部門を対象とするシステム監査を、2部門（再生医療等製品管理部門（輸血・細胞療法センター他）・臨床研究推進センター臨床研究支援部門 スタディマネジメントユニット）を対象に実施した。

通年実施した「法・倫理指針適合性監査」により、計24課題を対象に適用規制への適合状況に関する調査を行い、認められた所見計36件（Critical8件、Major12件、Minor8件）について、CAPA対応（是正措置、再発予防措置）に関するフォローアップを行った。

- (3) 臨床研究に係る有害事象・疾病等の安全性情報への対応

倫理指針（生命・医学系指針、人医学系指針、ゲノム指針）、臨床研究法、再生医療等安全性確保法に基づく各種臨床系研究において認められた重篤有害事象（SAE）・疾病等報告298件について評価を行い、病院長による対応を支援した。

- (4) 臨床研究に係る法令および倫理指針等への適合に必要な業務

各種臨床系研究において提出された定期報告1290件、終了・中止報告295件、中断・再開報告14件、逸脱・不適合報告90件について評価を行い、また、臨床研究（特定・非特定）の実施許可申請256件（新規14件、変更242件）に関して病院長による対応を支援した。

(5) その他、病院長の指示する業務

「臨床研究ライセンス制度」の運用を担当し、慶應義塾大学医学部の方針、及び慶應義塾大学病院の理念ならびに臨床研究実施方針に沿った臨床研究の積極的推進のため、医学部・病院教職員への教育研修および資格認証を、延べ 2878 名（SP ライセンス 118 名、S ライセンス 244 名、A ライセンス 657 名、B ライセンス 1859 名）（2025 年 3 月時点）を対象に行った。

また医学部・病院臨床研究委員会（CMoC）の事務局を担当し、運営会議（月次：年 12 回）および全体会議（年 2 回：6 月、2 月）の開催、CMoC ニュースレター（月 1 回および臨時）の配信を通じて、各種臨床系研究の研究対象者保護、科学的妥当性と信頼性の確保、及び法令・諸規則の遵守に関する研究者等の適正な資質の涵養、医学部の方針ならびに病院の理念及び臨床研究実施方針に沿った臨床研究の積極的な実施を図った。

- ・厚生労働省臨床研究総合促進事業「CRB 質向上プログラム」の実施（横浜市立大学 CRB 対象）
- ・厚生労働省臨床研究総合促進事業「臨床研究・治験従事者等に対する研修プログラム（委員研修）」の実施、および同プログラム（監査担当者研修）への参画。
- ・AMED Risk-based approach (RBA)研究開発事業（取りまとめ機関：千葉大学）への参画
- ・臨床研究ライセンス制度システムの一部改修
- ・慶應義塾大学病院臨床研究監理センター内規に関する申し合わせ（L1-CREASOP-002）の改正
- ・ARO 協議会第 11 回学術集会（9 月 20 日、21 日）にてポスター演題発表。（2 題）
- ・当院臨床研究・治験の「重大な不適合」に関する web ページ情報を公開。
- ・臨床研究中核病院に関する当院の広報強化を提案、実施（病院 web サイト）。
- ・医療法に基づく臨床研究中核病院立入検査（2024 年 10 月 23 日）の実施に関する対応。
- ・臨床研究中核病院連携協議会「不適正事案等の取り扱いに関する WG」による申し合わせに従った対応の開始。

卒後臨床研修センター

1 概要

卒後臨床研修センターは、慶應義塾大学病院卒後臨床研修制度(研修医課程)に関する内規に基づく臨床研修体制を整備・管理し、臨床研修に関連する業務を円滑に遂行することを目的とする。

2 業務内容

- (1) 各関係機関との調整により研修プログラムを企画・立案すること
- (2) 研修医を募集・選考すること
- (3) 研修医の在籍状況を管理すること
- (4) 慶應義塾大学病院初期臨床研修管理委員会(以下「研修管理委員会」という。)と協力の上で、臨床研修が滞りなく実施されるよう研修実務全般に関わる調整を行うこと
- (5) 研修指導医を養成すること
- (6) 各研修施設における研修内容を評価すること

- (7) 病院長の指示に基づいて、研修業務の運営のために必要な事項を企画・立案すること
- (8) その他研修業務を円滑に実施するために必要な事項について検討し実施すること

3 活動実績・取り組み

- (1) 次年度研修プログラムを企画・立案、東京都へ年次報告、プログラム変更届を提出
- (2) リクルート活動として各コースのプログラム説明会を3回開催、医科研修医採用試験を3回実施

基礎研究医試験 2024年5月29日

第1回試験 2024年7月27日

第2回試験 2024年9月14日

- (3) 研修医の出退勤をシステムにより管理
- (4) 会議体の開催
 - ア. 研修管理委員会をメール審議含め4回開催、研修医の修了認定、中断・休止、採用等を審議
 - イ. 卒後臨床研修センター会議をメール審議含め11回開催、主な議題は、研修プログラム・入職者オリエン研修診療科ローテーション・指導医ワークショップ運営・リクルートに関する行事企画・採用・医療安全・感染対策・研修医の労務管理に関する事項等
- (5) 臨床研修協議会主催のプログラム責任者養成講習会へセンター員2名を派遣
- (6) 研修を安全・円滑に実施するために、研修開始前スタンダードプリコーション（感染防御手技）試験合格を必須とし、合格後に研修開始の方針は2024年度も継続

医療安全管理部

1 概要

医療安全管理部は「質の高い医療の提供」を目指し、組織横断的に院内各部署・各職種と連携して医療に係る安全の向上に取り組み、支援していくことを目的とする。

2 業務内容

- (1) 医療安全管理体制の構築
- (2) 医療安全に関する職員への教育・研修
- (3) 医療事故を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック、評価
- (4) 院内ラウンドを行い現場環境、医療安全管理マニュアルの遵守状況及び策定した改善対策の実施状況の確認及び指導
- (5) 医療事故発生時の対応

3 活動実績・取り組み

- (1) 医療安全管理委員会（年間12回）
- (2) セーフティマネジャー会議（年間6回）
- (3) インフォームドコンセント委員会（年間4回）

- (4)薬剤に関する医療安全検討委員会(年間10回)
- (5)特定機能病院監査委員会(年間2回)
- (6)医療安全相互ラウンド
- (7)必須研修の実施(e-learning)(年間2回)
- (8)医療安全ラウンド
- (9)医療安全に関するマニュアルの改訂
- (10)インシデント・アクシデント報告の対策立案
- (11)医療法に基づく医療事故調査委員会
- (12)臨床倫理委員会
- (13)虐待防止委員会
- (14)教職員ポケットハンドブックの作成
- (15)画像等未読防止対策
- (16)未承認等新規医薬品・医療機器評価委員会
- (17)各種委員会傘下のワーキンググループ活動

☆インシデント・アクシデント報告件数

2024 年度報告件数 6,982 件

<内訳>

看護系職員 3,721 件

医師 881 件

(うち研修医 169 件)

その他職員 2,380 件

感染制御部

1 概要

感染制御部は、病院感染対策の整備・充実をはじめ広く医学部・大学病院の危機管理に貢献するとともに、感染症に関わる診療・研究・教育体制を推進する事を目的とする。

2 業務内容

感染制御部内規に基づく業務

3 活動実績・取り組み

(1) 教育

(ア) 感染制御(基本)継続勤務者確認テスト

(イ) 感染対策講習会(1)必須研修:

低蔓延円国になっても注意せよ！結核患者の対応と現場に潜む結核について

(ウ) 感染対策講習会 (2) 必須研修：

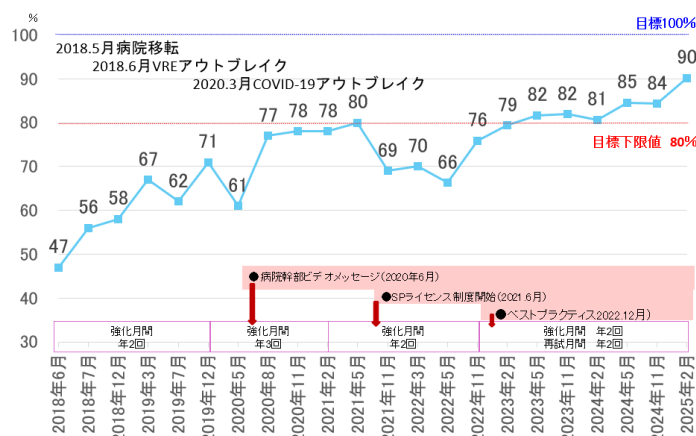
SSI 各種ガイドラインと最新知見・周手術期抗菌薬・術前～術後

(エ) スタンダードプリコーションライセンス制度

(2) サーベイランス

薬剤耐性菌、血液培養陽性検出菌、医療器関連感染、抗酸菌、アスペルギルス、血液曝露、手指衛生遵守率 (図 1)、手術部位感染、症候群、その他の感染症

図 1 手指衛生遵守率調査結果



(3) ラウンド

ラウンド名	ラウンド参加者	ラウンド実績
ICT/AST ラウンド (診療コンサルテーション・抗菌薬・血液培養陽性・薬剤耐性菌)	ICD・ICN・薬剤師・臨床検査技師	診療人数 ICT：1992 人 274 回 AST：1725 人 238 回
網羅的ラウンド	ICD・ICN・薬剤師・臨床検査技師・他	23 クール
施設環境ラウンド	ICD・ICN・薬剤師・事務員・ハウスキーパー・管財課・保健管理センター	毎週木曜日 年 40 回 80 部署
発生ラウンド	ICD・ICN・薬剤師・臨床検査技師	適宜
医療器具関連感染ラウンド	ICN・他	部署 週 1～月 1 計 387 回
感染予防策関連ラウンド	ICN・他	年 3 回
ターゲットラウンド	ICD・ICN・臨床検査技師・他	不定期に実施 19 部署

(4) 他施設連携

(ア) 加算 2 施設との年 4 回のカンファレンス 4/13、7/11、10/3(訓練)、1/16

(イ) 加算 1 施設との相互ラウンド：日本医科大学付属病院、国際医療福祉大学成田病院

病院情報システム部

1 概要

病院情報システム部は、電子カルテを中心に診療に必要な様々なシステムを、セキュリティを担保したかたちで提供し、大学病院としての高度な医療・運営を支援することを目的とする。

2 業務内容

- (1)医療情報システムの構築・設計に関すること
- (2)医療情報システムの稼動、運用に関すること
- (3)大学病院内の部門システムの運用支援に関すること
- (4)医療情報システムのセキュリティに関すること。
- (5)所掌する外部委託業務従事者の指導に関すること。

3 活動実績・取り組み

- (1) ファイルサーバの更改
- (2) セキュリティ強化
 - (ア) 次世代ウィルス対策の導入
 - (イ) ネットワーク挙動監視
 - (ウ) SOC (Security Operation Center) の導入
- (3) 電子カルテ更新の準備

患者総合相談部

1 概要

患者総合相談部は、当院の理念に則した、患者さんとの信頼関係の維持向上と安心で安全な医の提供を組織横断的に推進するために、患者またはその家族からの相談を受け、対応すべき専門部署との連携を図り、患者等を支援する体制の充実に務める。

2 業務内容

- (1) 相談業務 (ア 対面相談 イ 電話相談 ウ web 相談 エ 投書(用紙・web))
 - (2) 相談の 1 次対応並びに必要な応じた 2 次対応に関する支援部門との連携・協働
 - (3) 相談ならびに対応記録作成
 - (4) 患者の声または患者視点での病院改善に向けた取組
- ア カンファレンス (週 1 回)

- イ 患者サポート運営委員会（月初 1 回）
- ウ 支援部門と連携・協働した改善行動
- エ 患者やその家族への情報周知
（おたより・知って得するシリーズ・病院 HP・デジタルサイネージ・院内掲示を利用した調査結果・Q&A 等の広報）
- オ 病院教職員への情報周知（患者さんからのご意見 BOX）
- (5) 調査・統計
- ア 相談記録統計
- イ 患者調査・統計
- ウ 個別調査 笑顔で声かけ（患者・教職員）

3 活動実績・取り組み

(1) 活動実績

患者相談件数	合計	7,332 件
内訳	相談	2,419 件
	問い合わせ	2,783 件
	苦情	917 件
	意見	371 件
	要望	433 件
	感謝・礼状	165 件
	その他	244 件
対応方法	窓口	1,425 件
	電話	3,716 件
	投書	791 件
	Web 投書	219 件
	Web 相談	1,146 件
	コロナ専用ダイヤル	3 件
	その他	32 件

(2) 取り組み

- ア おたより発行（5 月,9 月,1 月）
- イ ラウンジだより発行（奇数月発行）
- ウ Q&A 院内掲示（6 月,7 月,10 月,11 月,2 月）
- エ 患者調査実施 入院患者・外来患者（9 月 25 日~10 月 31 日）
・外来患者は、初診と再診を分類して別調査
笑顔で声かけ個別調査（患者・教職員）（5 月,12 月）
- オ 患者の声からの改善取組 9 事例（※支援部門と協働して取り組んだ事案）
- カ サポートが必要な患者さん対応

- ・移送介助
- キ 笑顔で声かけ運動の実施
(前期：5 月 14 日~5 月 19 日、後期：12 月 10 日~12 月 25 日)
- ク 患者さん目線で見回り隊の実施 (4 月,6 月,9 月,10 月,11 月,1 月)
- ケ 教職員全体への相談情報周知
・患者さんからのご意見 BOX (9 月,3 月)
- コ 月間行動標語電子カルテトップページ掲載 (年間)
- サ 総合相談窓口運用の見直し
- シ 病院機能改革アドバイザー会議 (年 1 回) (2 月 13 日)
- ス 教職員を対象とする教育・研修教材修正「接遇・マナー」「ダイバーシティ」

医療連携推進部

1 概要

医療連携推進部は、地域医療機関との良好な関係を維持し、効果的な連携を図ることで、新規外来患者の紹介数の増加・入院患者数の増加を図ると共に、病床の効率的かつ効果的運用により全体最適化を図ることで当院の経営に貢献する。

2 業務内容

■医療連携室

- (1)医療機関との関係強化、協定に係る業務
- (2)医療機関からの患者の円滑な受け入れ（前方連携）体制の構築
- (3)医療機関からの新規外来患者紹介の増加策対応
- (4)上記項目(1)(2)の業務を円滑に運用するために必要となる診療科等との調整・支援、ならびに事務管理
- (5)医療連携を目的としたセミナー等の企画・運営ならびに支援
- (6)がん相談支援センターの運営及び医療相談

■入退院管理室

- (1)病床の一元的管理による患者の円滑な入退院と効率的な病床運用の実現
- (2)患者の入院から退院までの一連の業務の全体最適化
- (3)上記各号の業務を円滑に実施するための病棟や関連部署との調整
- (4)転退院等に関する相談、ならびに調整（後方連携）

3 活動実績・取り組み

2024 年度は診療報酬改定に伴い、外来医療の機能分化・強化が推奨され、新規患者の獲得と共に逆紹介割合の大幅な上昇が増加に伴い、地域医療機関（かかりつけ医）との連携が大きな課題となった。また入院稼働率・回転率の向上を目指して医療連携室及び入退院支援室活動の実を図った。

■医療連携活動

2024年度は7月12日、10月11日、2月21日に計3回、医療連携推進フォーラムをハイブリッド形式にて開催し、当院の地域連携強化と医療の発展的な取り組みを紹介した。11月22日には「病院と地域との連携強化により患者の“生きる”をともにつくる 顔の見える連携を実践しよう～話しあう、伝え合う、わかりあう～」をテーマに第5回看護と介護の意見交換会を開催した。医療連携協定締結医療機関数(慶應メディカルパートナーシップ登録数)は5年更新手続きにより閉院処理や契約終了の影響もあったが、1,339施設(2023年度)から1,381施設(2024年度)へ計42施設増加した。

また地域医療機関から患者の円滑な受け入れ(前方連携強化)体制構築のため、季節のご挨拶や病院広報誌の送付を実施した。各医師会や後方連携医療機関へ訪問して顔の見える関係構築にも務めた。

■がん相談・医療療養相談

がん相談支援センターでは電話相談1,533件、対面相談3,013件を行い、患者サロンを4回開催した。またがん相談を含めた医療相談の相談患者延べ数は4,711件であった。

院内での対応件数が増えている虐待防止委員会、臨床倫理コンサルテーションチーム、自殺再企図防止のための継続支援(Action-J)に参画し、ソーシャルハイリスクケースへの対応も行った。

■病床管理活動

空床管理マップの活用により、退院許可入力状況が早期に把握できるようになり、退院同日の入院が促進された。また緊急入院の調整時間も短縮され約半数は60分以内に病床を決定でき患者さんの入院待機時間を減少できた。医療DXをHCU・ICUの退室管理にも活用するため企業と協働し患者情報の見える化を開始した。またHCU・ICUへの長期滞在患者を減少させるため一般病棟に後方床を設定する仕組みを構築した。病床稼働率は88.8%で前年度より0.8%上昇した。

■転退院支援

病床稼働率上昇に伴い、早期からの退院支援の重要性が増し、入院前からの患者への情報収集面談がさらに増加した。複数の課題をもつ症例が増え、看護師とソーシャルワーカーが協働して行う支援件数も増加した。また、退院支援のしくみや考え方について院内での周知活動を行った結果、積極的な医療者カンファレンスの開催や確実な退院支援にまつわる診療報酬の算定につながった。慶應メディカルパートナーシップについて、医療機関だけでなく、看護及び介護事業所との連携を推進するため今年度3件の訪問看護事業所の登録を行った。後方連携先の拡大にむけて、急性期転院フローの構築・運用のため、呼吸器内科と病院訪問に取り組んだ。訪問により各医療機関の強みを確認し、急性期転院にもつながった。

<活動実績データ> *括弧内は前年度比

入院前情報収集実施件数	16,064件 (+1,181件)
転退院支援件数	2,502件 (+597件)
入退院支援加算2	3,349件 (+704件)

退院時共同指導料 2 219 件 (+85 件)

介護連携等指導料 176 件 (+25 件)

<患者転帰>

自宅退院 95.1% (2023 年度 95.6%)

■専門領域看護師

病床稼働率が上昇する中で、高度急性期治療の継続を支えるため、入院前から退院後を見据えたシームレスな支援体制の強化と、専門ケアの拡大に取り組んだ。本年度より新たに摂食嚥下障害看護認定看護師が配置され、摂食機能療法の算定部署拡大や、入院時誤嚥対策フローの構築・トライアルを開始した。

スタッフ構成：皮膚・排泄ケア認定看護師 2 名、緩和ケア認定看護師 1 名、がん性疼痛看護認定看護師 1 名、摂食嚥下障害看護認定看護師 1 名、精神看護専門看護師 2 名、がん看護専門看護師 1 名、レシピエント移植コーディネーター 2 名

放射線安全管理室

1 概要

放射性同位元素 (RI) や放射線による事故の防止、および安全文化の熟成のため、第三者の立場から、放射線業務従事者等に対する安全教育、各種法令の遵守状況の確認、個人および RI 使用施設等の放射線防護上の安全確認、環境の放射線防護等を行い、公共の安全を確保する。

2 業務内容

放射線安全に関する全般的な業務を行う。

- (1) 放射線業務従事者の教育訓練
- (2) 放射線業務従事者の被ばく管理
- (3) 各種委員会の開催
- (4) 監督官庁への許認可申請等
- (5) 放射線使用施設の作業環境測定
- (6) 放射線使用施設(排気・排気設備を含む)の維持管理
- (7) 放射線の使用に関わる種々の業務等

3 活動実績・取り組み

- (1) 放射線業務従事者の教育訓練

ア 放射性同位元素等の規制に関する法律に基づく立ち入る前の研修：4 回

イ 放射性同位元素等の規制に関する法律に基づく立ち入った後の研修：2 回 (別途 Web 研修実施)

ウ 特定放射性同位元素の防護に関する教育訓練：1 回

- (2) 放射線業務従事者の被ばく管理

ア 放射線業務従事者数：676 人

- (3) 各種委員会の開催
 - ア 病院放射線障害予防委員会：1 回
 - イ 特定放射性同位元素防護委員会：1 回
- (4) 監督官庁への許認可申請
 - ア 原子力規制委員会：3 件
 - イ 東京都：17 件
 - ウ 労働基準監督署：6 件
 - エ 関東総合通信局：1 件
 - オ 消防署：1 件
- (5) 放射線測定器の校正
 - ア 電離箱式サーベイメータ：1 台
 - イ NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ：1 台
 - ウ 電子ポケット線量計：17 台
- (6) 放射線測定器の点検
 - ア 電離箱式サーベイメータ：3 台
 - イ NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ：2 台
 - ウ 電子ポケット線量計：11 台

医療保険指導部

1 概要

医療保険指導部は、健康保険法その他の保険医療各法、保険医療機関及び保険医療養担当規則に基づき、保険診療および診療報酬請求業務を円滑かつ適正に実施することにより、大学病院の運営に寄与することを目的とする。

2 業務内容

- ・各診療科の医師・研修医に対する保険診療に関する教育および指導
- ・社会保険診療報酬支払基金、国民健康保険団体連合会や官公庁との連携・調整
- ・診療報酬明細書の記載・点検および整備に関すること
- ・DPC（診断群分類）のコーディングに関すること
- ・その他、保険診療に関すること

3 活動実績・取り組み

(1) 保険委員会の開催

毎月1回（8月は休会）委員会を開催し、保険診療および保険請求の適正化や診療報酬請求業務の質向上を図る。

(2) DPC コーディング委員会の開催

年4回委員会を開催し、診断群分類において標準的な診断および治療方法の周知、適切なコーディングを図る。

(3) 個別指導対策 WG 開始

国際診療部

1 概要

国際診療部では、日本の公的医療保険に加入していない海外在住の外国人患者について、医療渡航支援業者と連携しながら受入れ調整や診療まわりの支援をしている。また、医療渡航支援業者と効果的な連携を図ることで、新規患者を増やし、当院の経営に貢献することを目的に活動している。

2 業務内容

- ・ 治療や医療相談を目的に来日する（医療インバウンド）患者の受診調整
- ・ 外国人患者が安心・安全に当院の医療サービスを受けるための院内環境整備
- ・ 海外の医療保険会社等との支払いにかかる業務
- ・ 外国人患者にかかる外部機関との連携・協力・業務提携等の推進

3 活動実績・取り組み

- ・ 5月7日 2号館2階にラウンジ（事務室）を設置
- ・ 5月31日 中国記者団、セントルシア中国本社社長来訪
- ・ 7月9日 MEJ インバウンド委員会出席
- ・ 8月22日 東京大学医学部附属病院国際診療部を訪問し意見交換
- ・ 12月 医療インバウンド向け医療費を改定（1点30円から1点50円へ）
受け入れ時に担当医へインセンティブ付与開始
- ・ 2月 医療通訳アプリ「MELON」の拡充（ライセンス無制限）
- ・ 2月14日 MEJ 共催・当院主催のMTF向け勉強会を日本橋で開催
- ・ 2月20日 第1回KOECA (Keio Outstanding English Communication Award)
13名を表彰

経営企画室

1 概要

経営企画室は、病院がその社会的な使命を果たすとともに、経営の健全性を確保・維持・向上させていくために、大学病院の高度な判断や意思決定を支援することを目的とする。

2 業務内容

病院内外の情報を戦略的・集中的に管理し、大学病院の経営業務に関連する企画、立案、事業計画、予算、調整に係る業務を行う。

- (1) 業務監督ボードに関する事
- (2) 病院執行部の判断や意思決定を支援すること
- (3) 大学病院の経営に関する企画、立案、事業計画、予算、調整に関する事
- (4) 組織編成に係る企画、調整、支援に関する事
- (5) 病院長選出手続きに関する事
- (6) 立入検査や病院開設許可に関する事
- (7) 室料差額等の料金設定に関する事

3 活動実績・取り組み

(1) 病院業務監督ボードの運営

ボード会議を 11 回（8 月を除く毎月）開催した。主な議題は、以下のとおり。

ア 2023 年度病院決算報告

イ 高額医療機器・備品等の購入に関する事項

ウ 医療安全に関する事項

エ 病床の適切な配分と運用に関する事項

オ 『大学病院改革プラン 2024～2029 年度版』の策定に関する事項

カ 診療報酬改定に伴う賃上げ対応に関する事項

キ 2025 年度病院事業計画・予算に関する事項

(2) 2023 年度病院決算

(3) 2023 年度病院事業計画の点検・評価

(4) 立入検査（特定機能病院・東京都）

2024 年 10 月 22 日、医療法第 25 条に基づく立入検査（特定機能病院・東京都）が実施され、書類作成や当日の運営等の対応を行った。

(5) 病院開設許可（届出）事項一部変更届に係る行政手続き

(6) 2025 年度病院事業計画策定・予算の編成

(7) 診療科ヒアリング

各診療科の診療実績の振り返り、次年度事業目標等の共有を主な目的として、病院長によるヒアリングを毎年実施している。秘書室と協働し、2024 年 11 月～2025 年 3 月にかけて全 29 回（診療科部門 29）のヒアリングを実施した。

医事統括室

1 概要

医事統括室は、総合案内にはじまり、受付、診療費の請求、会計、診療記録の管理等、患者さんに直接的・間接的に関わる多くの業務を行っている部門である。円滑な診療を患者さんに提供すると共に、健康保険法その他の保険医療各法、保険医療機関及び保険医療養担当規則に基づき、診療報酬請求業務を円滑かつ適正に実施することにより、大学病院の運営に寄与することを目的とする。

近年では、医師事務作業補助者（メディカルアシスタント：MA）の人員拡大や診療情報管理士業務の見直しにより、現場のスムーズな医療サービスの提供と診療情報の質向上に貢献している。

2 業務内容

- ・診療の受付・予約業務
- ・外来診察室等の管理・運用
- ・外来予約センター（コールセンター）の運営
- ・診療報酬等の計算・請求
- ・診療報酬等の会計・収納・債権管理
- ・保険診療の施設基準・保険外併用療養費等に関する業務
- ・診療記録等の登録・管理・監査・開示
- ・診療情報の管理・統計・分析に関する業務
- ・クオリティインディケーターに関する業務
- ・医師事務作業補助業務
- ・診療に関する各種診断書・証明書等の発行
- ・3号館3階外来の管理・運営
- ・腫瘍センターの運営
- ・医師等の当直・オンコール表作成業務
- ・所掌する外部委託業務従事者の指導
- ・その他、医療事務に関すること

3 活動実績・取り組み

- ・日本病院会 QI プロジェクト参加
- ・東京都難病診療連携拠点病院指定による事務支援
- ・3号館3階運営委員会発足（自由診療開始、GMO ウェブ予約（メディカル革命）導入）
- ・LINE：リッチメニュー追加
- ・個別指導対策 WG 始動
- ・特室入院患者に対する、エクスプレス会計のトライアル開始

秘書室

1 概要

秘書室は、大学病院担当常任理事、病院長、事務局長の秘書業務、予防医療センターの諸活動支援および病院との連携に関する業務などを行い、院内各組織とのコミュニケーション支援を行うことを目的とする。

2 業務内容

- (1) 大学病院担当常任理事、病院長、事務局長の秘書業務全般に関すること。
- (2) 大学病院担当常任理事、病院長、事務局長からの指示業務の支援に関すること。
- (3) 病院執行部会議、病院運営会議などの各種会議に関すること。
- (4) 寄付者の問い合わせや受付に関すること。
- (5) 事務局長当直日誌に関すること。
- (6) 大学病院で行う新規事業案件、各種調整事項、対外的対応に関すること。
- (7) 大学病院の財政への貢献に値する諸活動、関係各組織との連携に関すること。
- (8) 予防医療センターとの連携に関すること。

3 活動実績・取り組み

- (1) 秘書課と病院事務局（渉外）の組織統合

2024年11月1日付で、秘書課と病院事務局（渉外）が「秘書室」として組織統合した。

- (2) 病院経営層育成プロジェクト事務局

病院経営における基本的な経営力を身に付けるための取り組みの一環として、2020年度に続き本学経営管理研究科の特任教授によるコースを開講した。対象を病院執行部に加えメディカルスタッフ、事務職員管理職にも範囲を拡大し、全10回行った。

- (3) 各種会議の事務局業務

2024年度は、病院執行部会議を44回、病院運営会議を12回開催し、この事務局業務を行った。また、昨年度に引き続き、病院長院内ラウンド事務局や、石井緊急医療基金事務局業務を行った。

- (4) 医療環境整備資金にかかわる業務

医療環境整備資金への寄付のご相談やお礼状の発送、2023年度活動報告作成の調整などを対応した。

総務課

1 概要

総務課は、病院の業務が適正かつ円滑に執り行われることを目的とし、各種事務手続き、文書管理、電話交換などの業務を行う。また、法務・個人情報の担当として病院のリスクマネジメント

トを行うこと、広報担当として患者さんやそのご家族、社会全般に対して、病院の情報を正しく適切に発信することも目的とする。

2 業務内容

(1) 総務

文書の管理、院内周知文書の印刷配布、病院内での押印手続、郵便や配達物、調査、会議室管理、公式行事運営、弔事、会議運営、見学、実習、麻薬施用者免許届出

(2) 法務・個人情報関連

(3) 広報

(4) 電話交換業務

(5) 補助金・事業

(6) (一社) 慶應医師会の事務支援

3 活動実績・取り組み

(1) 信濃町キャンパス施設使用料等の改定

信濃町キャンパス教職員が所属する塾外団体への施設貸し出しについて、施設のリニューアル状況や冷暖房費等の高騰を踏まえ、2024 年 4 月より信濃町キャンパス内施設の使用料および維持費を改定した。あわせて、現在の施設状況に即した一覧となるよう、対象施設の追加・削除等の整理を行った。

(2) 病院 Web サイトおよび KOMPAS のリニューアル

慶應義塾大学病院の公式 Web サイトおよび医療・健康情報サイト「KOMPAS」について、2025 年 3 月にリニューアルを実施した。長期運用に伴う構成の複雑化やデザイン面の課題に対応するため、現行コンテンツを踏襲しつつ、情報の整理、動線の改善、スマートフォン等への対応を行った。両サイトは統一感のあるデザインとし、利用者が必要な情報にアクセスしやすい Web サイトとなるよう整備した。

人事課

1 概要

教職員の採用・任免・異動、出退勤・労務管理、研修、給与支払ならびに福利厚生等の事務を取り扱うことによって、教職員の就労環境を整えとともに、病院の運営に資することを目的とする。

2 業務内容

主に以下の事項を分掌する。

(1) 服務および勤務条件に関すること。

(2) 採用に関すること。

- (3)給与・報酬・賃金・旅費・災害補償等に関すること。
- (4)任免に関すること。
- (5)福利厚生に関すること。
- (6)人材育成や研修に関すること。
- (7)安全衛生管理に関すること。
- (8)労務管理に関すること。

3 活動実績・取り組み

診療報酬改定により新設されたベースアップ評価料を活用して、対象職種の教職員を中心に待遇改善を行った。

管財課

1 概要

管財課は、病院運営に必要な物品の調達や支払、敷地における施設・設備の整備、およびそれらの管理を行うとともに、防災防犯の体制確保・強化に努めることをもって病院の円滑な運営に資することを目的とする。

2 業務内容

- (1)経常費等による物品・役務の調達に関すること。
- (2)納品・検収に関すること。
- (3)財産の管理に関すること。
- (4)工事、委託、賃貸借、物品購入の契約事務に関すること。
- (5)防災・防犯に関すること。
- (6)施設・駐車場の整備・管理に関すること。
- (7)清掃・廃棄物処理に関すること。
- (8)所掌する外部委託業務従事者の指導に関すること

3 活動実績・取り組み

(1) 用度担当

- ア 経常費・各種外部資金・補助金等による機器備品購入・委託契約等の管理
- イ 支出予算管理・決算処理
- ウ 地域紛争等による原材料高騰、人件費増に起因する委託費の上昇圧力に対し、取引業者と継続的な交渉を通じて支出費用の圧縮に努めた。
- エ 手術支援ロボット「da Vinci」2台目の導入

(2) 環境担当

- ア エネルギー価格高騰対策として全館の設備運用を再検討し、節電・省エネルギーに取り組んだ。
- イ 下記の各工事に係る計画および工事実施に伴う管理を行った。

- ① 大学病院 1 号館 2 階耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来検査室（E-23）防音ブース設置に伴う内装改修工事
- ② 大学病院 3 号館南棟 6 階 612 および 613 室放射線内用療法に伴う特別措置室整備工事
- ③ 大学病院 3 号館南棟 3 階予防医療センター跡地外来診察室およびラウンジ整備工事
- ④ 大学病院 1 号館 2 階器材・資材室の一部を医師事務作業補助スペースに整備する工事
- ⑤ 大学病院 2 号館 10 階ほか がんゲノム医療センターなど整備工事
- ⑥ 大学病院予防医療センター（麻布台ヒルズ森 JP タワー5 階）胃カメラ用前処置室コーナーの一部を大腸用前処置室に改修する工事

(3) 防災防犯担当

ア 消防計画に基づく対応

- ① 自衛消防訓練（消防署届出のもの）を 19 件実施した。
- ② 防火防災・防犯管理委員会を 11 回実施した。

イ 院内 DMAT 隊員と協働し、災害時に医療を継続するための実働訓練を実施した。（BCP 関連）

ウ 防犯体制強化および安全管理の向上を目的として、防犯カメラを増設し、監視体制の充実を図った。

経理課

1 概要

経理課は、病院における会計諸取引を正確かつ迅速に処理し、財政に関する各種報告書（事業活動収支計算書、資金収支計算書）を作成し、もって病院の運営に資することを目的とする。

2 業務内容

- (1) 経理に関すること
- (2) 大学病院の予算総括ならびに決算に関すること
- (3) 監査に関すること
- (4) 税務申告に関すること
- (5) 金銭等の出納に関すること

3 活動実績・取り組み

- (1) 各種資金の受け入れ・管理

ア 緊急医療体制支援積立金

イ 慶應義塾大学病院医療支援資金

ウ 慶應義塾大学緊急医療体制支援特別事業

エ 石井緊急医療基金

オ 慶應義塾医療環境整備資金

- (2) 病院予算・決算
- (3) 監査対応（監事による病院監査、監査法人監査、業務監査室監査）
- (4) 北里柴三郎未来人材育成基金新規設定

キャリア開発室

1 概要

キャリア開発室は、メディカルスタッフの専門職キャリア開発活動を支援し、総合力を備えた専門性の高い医療人を育成することを目的とする。なお、職種ごとの専門能力の開発は、各部門の主体的な活動を尊重する。

2 業務内容

- (1) メディカルスタッフのキャリア支援に関すること
- (2) メディカルスタッフの教育・人材育成・研修に関すること
- (3) キャンパス系技術員のキャリア支援に関すること
- (4) 人事課と共同し、医師働き方改革に関すること
- (5) 経営企画室、医療安全管理部と共同し、病院機能評価に関すること

3 活動実績・取り組み

- (1) メディカルスタッフを対象に、チーム医療の中で役割発揮できるリーダーを育成することを目的とした「現場力向上ワークショップ」の企画運営を行なった。本年度第11期生5名が2年間の研修を修了、累計で研修修了生は11部門65名となった。
- (2) 研修運営委員とともに、各部門のキャリアラダーとその教育プログラム、評価システムの拡充に取り組んだ。
- (3) 慶應BLSプロバイダーコース事務局として、BLS受講管理を行なった。医師594名、看護師660名、事務・コメディカル476名、合計1700名（当年受講予定者の99.5%）に加え、委託スタッフやキャンパス系教職員35名が受講した。加えて、本年より予防医療センター（麻布台）に出張BLSを開始し、80名が受講した。
- (4) 医師働き方改革事務局を人事課と担い、下記の取り組みを行った。
 - ア 2024年4月医師の時間外労働上限規制が開始となり、整備した自己研鑽の定義やインターバル等のマニュアルに基づき労働時間を管理した。
 - イ 作成した医師の労働時間短縮計画に基づき、臨床現場からの意見の吸い上げと制度理解促進を目的とした若手医師との意見交換会、病院勤務医師を対象とした講習会、アンケート調査などの実施や労務管理担当マネージャーに対する管理者講習を実施した。
 - ウ 労務管理担当マネージャー会議の企画運営、夜間休日診療体制検討WG、タスクシェア/タスクシフティング検討WGの活動を支援した。
 - エ 医事統括室によるメディカルアシスタントの増員と業務拡大（陪席の開始など）、看護

師による処置範囲の拡大（化学療法ライセンス保有者の育成継続、経鼻胃管の抜去など）をはじめ、各職種の取り組みによってタスクシフトが促進された。

オ 「病院勤務医の負担軽減および処遇の改善に資する計画」の改正を行った。

カ 結果、2024 年度の外勤を含む休日・時間外労働時間が年間 960 時間超となった医師は 14 名（前年比▲5 名）であった。

(5) 次年度の医師業務マニュアルの作成および病棟責任医師の更新を行った。

(6) 病院機能評価 WG の事務局を経営企画室、医療安全管理部と共に担い、院内における質改善活動を支援した。

学術研究支援課

1 概要

病院学術研究支援課は、病院が実施する臨床研究や治験、学術研究事業の事務を行うとともに臨床研究推進センター、臨床研究監理センターの事務局として、臨床研究中核病院と橋渡し研究支援機関の事務支援を行う。また、治験事務局業務や臨床研究に関する各種委員会事務局を担当する。

2 業務内容

- (1) 臨床研究推進センター、臨床研究監理センター事務局
- (2) 臨床研究中核病院 事務局
- (3) 橋渡し研究支援機関 事務局
- (4) 病院学術研究事業の業務（AI ホスピタル事業や厚生労働省「中小企業イノベーション創出推進事業」など）
- (5) 治験事務局（治験審査委員会・医師主導治験審査委員会 事務局含む）
- (6) 臨床研究に関する各種委員会事務局

3 活動実績・取り組み

- (1) 臨床研究中核病院、橋渡し研究支援機関等の業務を行い、大学病院における臨床研究、治験、再生医療等の事務、患者申出療養ならびに先進医療の申請等の業務を行った。
- (2) 2024 年 10 月、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)が開始した「大学発医療系スタートアップ支援プログラム」の拠点の 1 つとして採択された。

調達会計課

1 概要

病院研究費等の管理、諸活動に必要な物品、役務の調達、予算執行および会計業務を統括する

ことによって、病院の円滑な運営に資することを目的とする。

2 業務内容

主に病院研究費等に関する以下の事項を分掌する

- (1)支出予算に関すること
- (2)会計業務に関すること
- (3)研究費の申請、受け入れ、報告等に関すること
- (4)業務委託契約の締結に関すること
- (5)備品（固定資産）等の発注に関すること
- (6)リース契約の締結に関すること

3 活動実績・取り組み

- (1)調達会計課発足後の運用状況を踏まえ、関連部門との業務分掌の定着および業務連携の強化を図った。
- (2)新会計システムの運用改善を継続的に推進し、会計業務の平準化・標準化および運用のさらなる安定化を図った。
- (3)電子帳簿保存法、インボイス制度等の各種法令に準拠した電子購買システムを内製化するとともに、その展開・定着を推進し、会計業務のDX化を進めた。
- (4)会計業務のアウトソーシング範囲を拡大し、効率性と品質を両立した新たな業務運営体制を構築した。
- (5)研究費等の迅速かつ適正な執行判断を支えるため、業務プロセスの見直しや効率化を進め、組織全体の業務品質の向上を図った。
- (6)精緻な予算編成および適正な決算業務を通じて、健全な財務運営の維持・向上を図った。

慶應義塾大学病院 病院年報

2024 年度

発行：慶應義塾大学病院